

# S A D O

## 佐渡市総合計画

### 資料編



# 目次

<b>第1章</b>	重点的・横断的な取組と分野別施策 .....	1
	第1節 重点的・横断的な取組と分野別施策との関連性...	2
	第2節 S D G s と分野別施策との関連性 .....	9
<b>第2章</b>	市民意見調査 .....	27
	第1節 市民アンケート調査結果 .....	28
	第2節 事業者アンケート調査結果 .....	45
	第3節 子育て世代アンケート調査結果 .....	55
	第4節 高校生アンケート調査結果 .....	72
	第5節 ワークショップ結果 .....	81
<b>第3章</b>	統計データ .....	89
	・人口推移 .....	90
	・経済・産業 .....	95



# 第1章

## 重点的・横断的な取組 と分野別施策

第1節 重点的・横断的な取組と分野別施策との関連性

第2節 S D G s と分野別施策との関連性





## 第1節

### 重点的・横断的な取組と分野別施策との関連性

市のまちづくりの基本理念である「歴史と文化が薫り 人と自然が共生できる持続可能な島 ～子どもからお年寄りまで 誰もがいきいきと輝ける島～」の実現に向け、本市の喫緊の課題である人口減少問題や、離島特有の課題に対し各施策を着実に実行していくために、グローバルな視点や教育の視点、情報通信技術の進展を踏まえつつ、特に重点的に取り組むべき施策を分野横断的に位置付けた5つの「重点的・横断的な取組」を設定しています。

本節では、5つの重点的・横断的な取組と35の施策について、佐渡市の過去の計画等をテキスト分析等の手法で精査し分析を進め次のようにとりまとめました。

(提供：公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES))

1. 重点的・横断的な取組 1：子育て支援・健康長寿の推進

本取組は、特に取組 2（産業）、取組 3（防災）及び取組 5（共生社会）に関連があり、また 35 の施策の多くと関連していることがわかりました（図 1 を参照）。

教育や啓発活動に関連している子育て支援は、佐渡市の災害からの立ち直り、防犯、交通安全、環境保全及び 3R の推進に関する施策の強化につながります。学校教育システムの改善及び文化・スポーツ振興に関する施策は、子どもの身体的・精神的な健康にとっても必要です。医療・健康管理にかかるサービスの向上、子どもを含めた市民の健康的な食生活・生活様式の推進、福祉、介護及び子育て支援の充実及び公共の緑地や施設が利用し易くなると、人々の健康とよりよい暮らしの実現につながります。

さらに、子育て支援・健康長寿の推進は、人口減少が続く中で大いに必要とされている移住定住を促すために欠かせない条件です。市民参加による地域づくり（まちづくり）の推進、人権の尊重、男女共同参画、適切なガバナンスと行政運営・財政運営といった活動もまた、佐渡市民の健康とよりよい暮らしを実現するために重要な活動です。

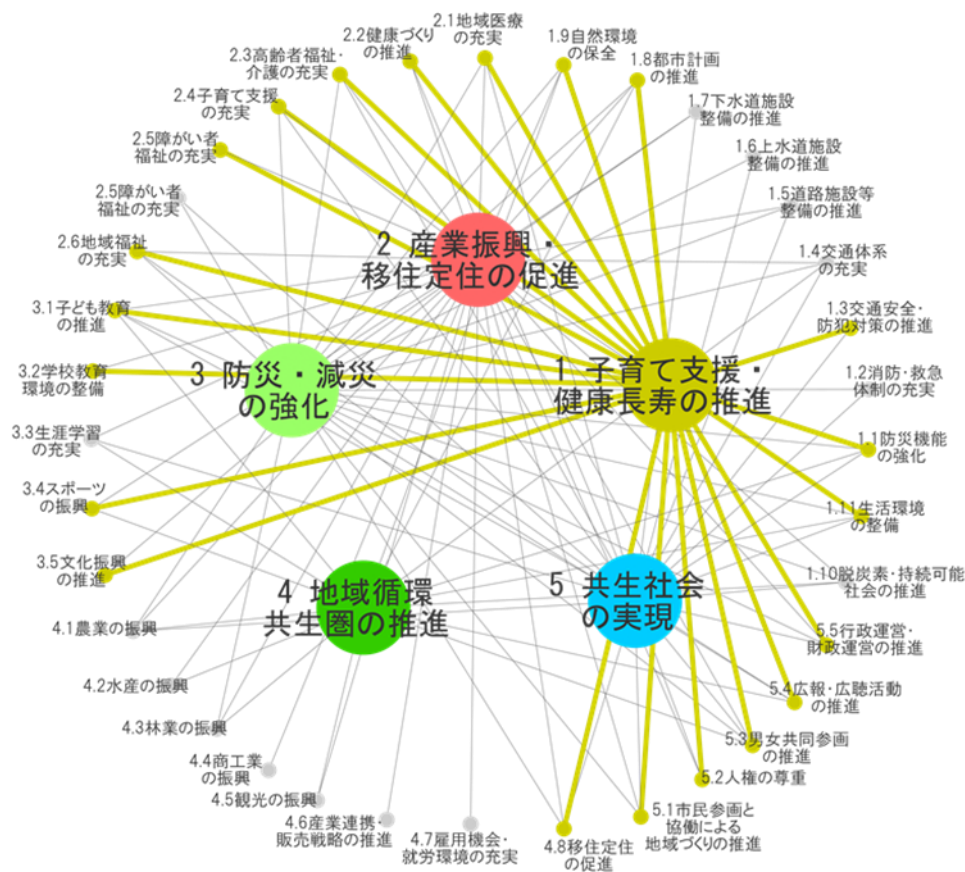


図 1：重点的・横断的な取組 1（子育て支援・健康長寿の推進）と各施策とのつながり

## 2. 重点的・横断的な取組 2：産業振興・移住定住の促進

本取組は、35 施策のほぼすべて関わっており、佐渡市の農業、観光及び 6 次産業といった経済セクターの活性化を目的とした産業振興戦略の基盤となります（図 2 を参照）。

本取組は、人口減少・高齢化を背景に、産業振興と就業機会及び移住定住の推進と密接に関わっている。道路その他のインフラの整備は、産業を振興し移住定住を進めるための必須条件です。自然環境と自然資源の持続可能な利用は、米や果樹生産、林業及び観光業といった佐渡市の中心セクターの活性化に必要です。特に耕作放棄地や空き家に関連した土地利用計画の策定することは、移住定住や再生可能エネルギー開発等に投資を誘致するために有効です。緑地を増やし老朽化した建物や住宅を改修する等、生活環境に改善をもたらすことで佐渡市のイメージが向上し、移住定住者の増加につながります。再生可能エネルギーの促進も、脱炭素社会の実現を進め、佐渡市に新たな雇用を生むでしょう。産業振興・移住定住の促進は、3R や廃棄物管理といった施策と並行して実施される必要があります。

現在及び将来の佐渡市の労働人口は、35 の施策の中でも特に学校教育と生涯学習、子育て支援、健康的な生活様式、中心セクター（農業、林業、水産業及び観光業）での就業機会の創造のような分野の施策と関連します。産業界は高齢者や障がいのある人々の福祉・介護の充実において社会的責任を担うことが求められるでしょう。主要経済セクターの振興と併せて、地域住民の協力の下、転入者が佐渡島に馴染めるようにする支援を進めることが有益です。また、男女共同参画の推進、人権の尊重及びまちづくり（地域づくり）への市民参加も欠かせません。

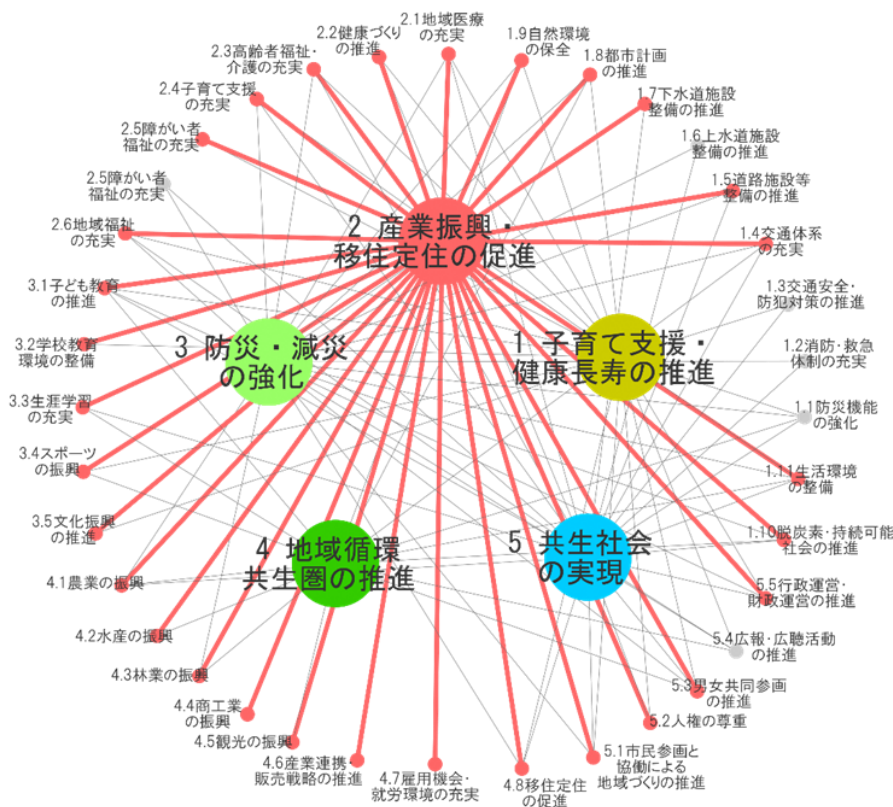


図 2：重点的・横断的な取組 2（産業振興・移住定住の促進）と各施策との関わり

### 3. 重点的・横断的な取組 3：防災・減災の強化

佐渡島は災害の影響を受けやすい土地であることから、災害の予防及びリスク軽減は佐渡市総合計画において極めて重要な取組として掲げられています。佐渡市総合計画中の基本目標1（防災・防犯、生活・環境）は本取組に直結します（図3を参照）。

防災にかかる体制や様々な主体間の協力関係を築くことは、佐渡市の防災戦略において重要です。種々のインフラ及び基礎サービス（交通、水）並びに救急サービス（消防・緊急時体制）により災害関連の人的被害と物的損害を軽減することができます。

治水や砂防のためには、都市計画の策定、生活環境の改善、緊急経路の建設、廃棄物管理、森林の保全と持続可能な利用等の自然主体型の解決策、そして持続可能な農業の推進といった施策が重要です。脱炭素化は気候変動関連の災害リスク軽減に大きな役割を果たし得ます。佐渡市の防災計画策定において、農業セクターの適応力の強化も重要です。

防災強化にはまた、女性、子ども、高齢者、障がいのある人々、特別支援を必要とする人々のニーズに配慮しつつ緊急時対応能力を強化するための医療・健康管理施設の拡充、防災教育・実習、地域住民の防災活動への関与や地域住民を対象とした研修も求められます。さらに、佐渡市の防災能力構築には、防災意識を高めるための広報活動の推進及び行政運営・財政運営の改善が極めて重要です。

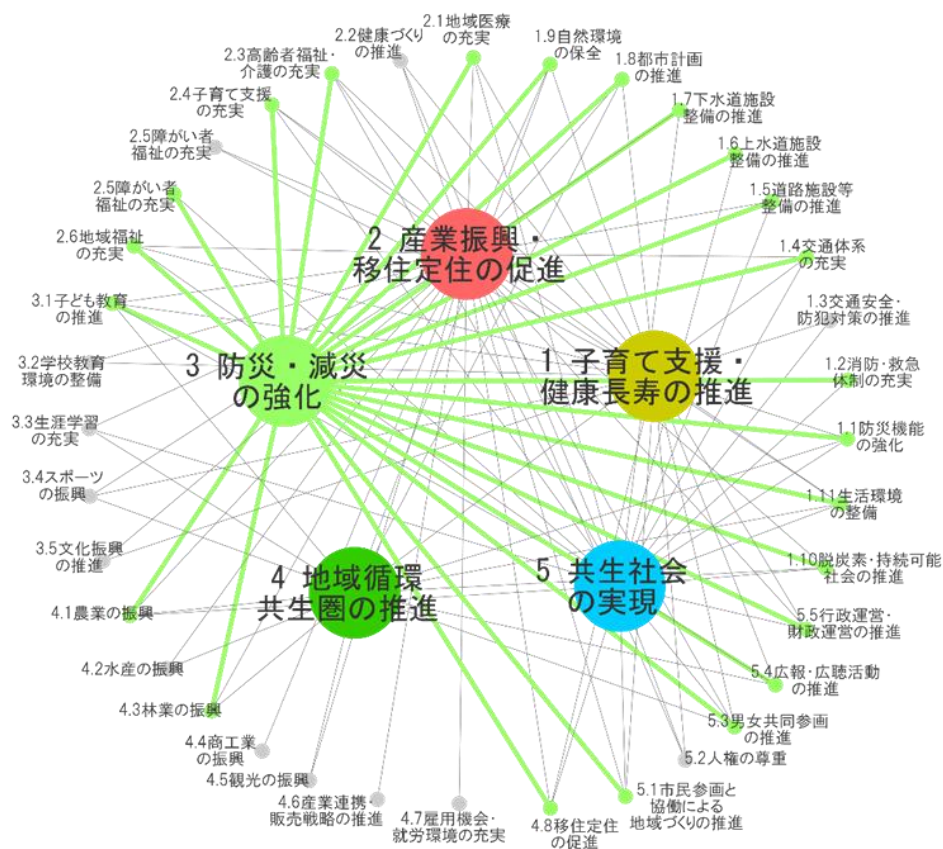


図3：重点的・横断的な取組3（防災・減災の強化）と各施策との関わり



#### 4. 重点的・横断的な取組 4：地域循環共生圏の推進

取組 4 として掲げる地域循環共生圏の推進は、5 つ全ての基本目標と関連施策によって重要な横断的課題です（図 4 を参照）。

文化遺産の他、多様な生物種が生息し、その他の自然資源（森林、鉱物、沿岸環境）が見られる佐渡島の豊かな自然の恵みは、人々の生活と経済発展を支える貴重な資源です。そのため農業や観光業のような主要セクターが活性化し、佐渡島が持続可能な発展を遂げるためには、生物多様性保全と資源の持続可能な利用の視点が重要です。また、本土から離れた島であるため、気候等の災害時からの迅速な復旧・平時からの対応力（適応策）の向上が欠かせません。

佐渡市で最も多くの温室効果ガスを排出している交通セクターの脱炭素化は、ゼロカーボン実現に向けて極めて重要ですが、そのためには住民や観光客が公共交通や低炭素・脱炭素車で容易に移動できる適切な交通・都市計画が必要です。佐渡市は、太陽光発電システムやカーボンフリーの交通体系の整備など CO2 削減の取組を始めていますが、森林の保全及び持続可能な利用を進めることで CO2 の吸収・固定も可能です。主要セクターである農林水産業での省エネ推進・再エネ活用・環境負荷の低減も重要です。観光セクターでは、アグリツーリズム、アドベンチャーツーリズムなど、新たな取組が出ています。暮らしにおいては、徒歩や自転車・公共交通機関の利用や家庭での省エネ・再エネ活用が有効です。生活様式の変化や家庭における持続可能な消費を達成するのに女性が果たす役割は大きいことから、女性の視点を活かした環境教育や生涯学習の機会が欠かせません。また、広報・公聴活動の推進は、環境問題に関する知識の向上と脱炭素の取組の強化に寄与します。

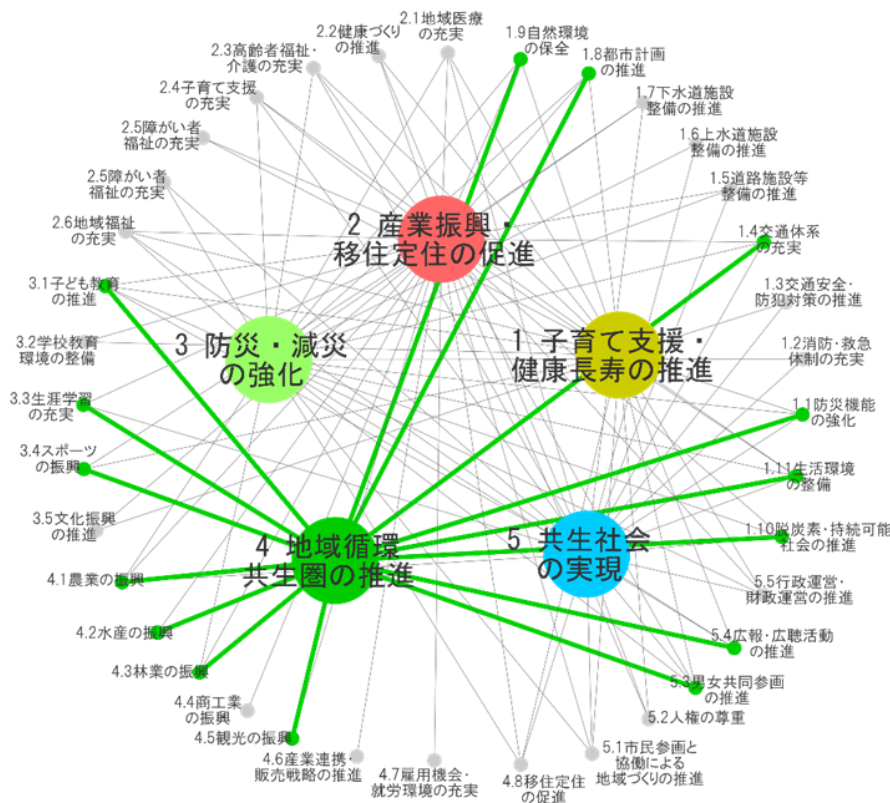


図 4：重点的・横断的な取組 4（地域循環共生圏の推進）と各施策との関わり

## 5. 重点的・横断的な取組 5：共生社会の実現

高齢化が進み急速に人口が減少している佐渡市は、人々が安全で幸せな暮らしを送ることができ、高齢者が様々な活動に参加し社会貢献をしている実感を得られ、誰もが佐渡市に迎え入れられ、働き、暮らせるような共生社会を築くことを目指し取組 5 を掲げていますが、この取組 5 は 5 つの基本目標及び関連施策に幅広く関連します（図 5 を参照）。

佐渡市の防災計画でも、女性、子ども、障がいのある人々及び高齢者といった弱い立場にある人々への配慮が求められており、学校、病院、福祉センター及びその他の公共施設（公共交通機関等）は、特に女性市民の全面的な参画を通じ、特別なニーズのある人々が利用し易いよう、日常でも緊急時でも適切なアクセス方法を提供することが求められます。佐渡市の都市計画では、共生社会のニーズに取組み、誰もがよりよい暮らしを享受できる生活環境を創造する必要で、例えば、交通システムにおいて、障がいのある人々が安全に移動できるインフラが求められています。共生社会の実現において教育、研修、啓発プログラムが果たす役割は大きく、移住定住の促進にも関連があります。

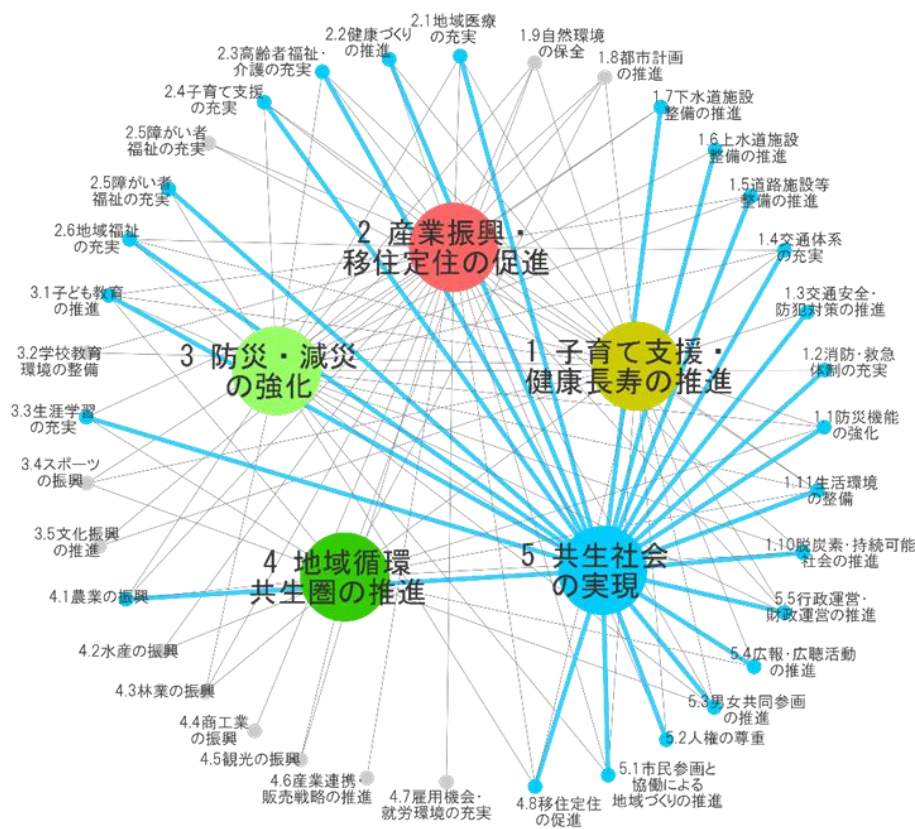


図 5：重点的・横断的な取組 5（共生社会の実現）と各施策との関わり

## 分析結果

佐渡市が持続的に発展していくには、自然資源の保全と持続可能な利用（環境面）、農業と観光業を中心とした経済セクターの活性化（経済面）、移住定住の促進・共生社会の実現（社会面）といった主要セクター間の好循環を創り出すことが不可欠で、佐渡市総合計画で示される 5 つの重点的・横断的な取組と 35 の施策は、その実現のために相互に関連性の大きい、有効な方策です。

## 第2節

# SDGs と分野別施策との関連性

本市においては、「歴史と文化が薫り 人と自然が共生できる持続可能な島～子どもからお年寄りまで 誰もがいきいきと輝ける島～」を基本理念としており、SDGs に掲げる持続可能な社会の実現に向けて、SDGs の17の目標と各施策との関係性を明確にします。

なお、施策レベルでのSDGs との関連性については、特に関係があるSDGs のターゲットを最大3つを上限にリストアップした。

(提供：公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES))



# 1 施策とSDGsとのマッピング一覧

## 基本目標 1 豊かな自然と共生した、安全で快適なまちづくり

施策	SDGs ゴール	施策の展開	SDGs ターゲット
1 防災・減災機能の強化	1,4,11,13	1.防災意識の向上と防災教育の推進	11.b,4.7,13.3
		2.自主防災組織の育成	11.b,13.1
		3.緊急情報伝達システムの構築	11.b,1.5,13.3
2 消防・救急体制の充実	1,11,13	1.消防体制の整備	11.b,1.5
		2.救急体制の充実	11.b,1.5,13.3
3 交通安全・防犯対策の推進	3,11,16	1.交通事故防止	3.6,11.2
		2.安全安心なまちづくり	11.3,16.1,16.a
4 交通体系の充実	8,11	1.まちづくりと連携した地域交通ネットワークの構築	11.2
		2.交流人口拡大に向けた交通体系の充実	11.2,8.9
		3.公共交通のサービスレベルの向上	11.2
5 道路施設等の整備	9,11	1.安全安心な市道整備	11.2,9.1
		2.道路橋梁の長寿命化	11.2,9.1
		3.道路等の適正管理	9.1,11.2
6 上水道施設の整備	6,9	1.災害に強い水道システムの構築	9.1,6.4,6.b
		2.効率的な水道経営の推進	6.4
7 下水道施設の整備	6,9,11	1.自然環境の保全に向けた下水道接続等の促進	6.3,11.6,9.1
		2.安定した下水道経営と施設の維持管理	6.3,11.6
		3.災害に備えた体制整備	11.5,11.b
8 都市計画の推進	8,11	1.都市計画・景観・公園の充実	11.3,11.7,11.a
		2.都市再生整備事業（相川地区）の推進	8.1,11.3
		3.住環境の向上	11.1,11.6,11.7
9 自然環境の保全	2,4,11,12,15	1.豊かな自然環境の保全と活用	11.7,2.4,15.a
		2.トキとの共生の実現	15.5
		3.佐渡の環境を考え実行できる環境市民の育成	4.7,12.8
10 脱炭素・持続可能社会の推進	7,13	1.再生可能エネルギーの導入促進	7.2,13.2
		2.省エネルギーの普及促進	7.3,13.2
11 生活環境の整備	4,12	1.発生抑制・再使用の推進によるごみの減量	12.5
		2.意識啓発の推進	4.7,12.8

基本目標 2 一人ひとりが活躍し、いきいきと暮らせるまちづくり

施策	SDGs ゴール	施策の展開	SDGs ターゲット
1 地域医療の充実	3	1.医療体制の維持・連携推進	3.8
		2.医療従事者確保対策の推進	3.c,3d
		3.へき地医療の維持	3.8
2 健康づくりの推進	3,4,17	1.市民協働の取組	3.d,4.7,17.17
		2.SIZESの取組	3.d,3.8,4.7
		3.生活習慣病重症化予防	3.d,4.7
3 高齢者福祉・介護の充実	1,3,4,10,11,17	1.健康づくりと介護予防の推進	3.8,4.7,1.b
		2.高齢者の生きがいある暮らしの推進	17.17,10.2,11.2
		3.医療・介護・福祉が一体的に提供されている地域包括ケアシステムの推進	10.2,1.3,3c
4 子育て支援の充実	1,4,5,11,16	1.地域における子育て支援サービスの充実	5.4,1.3,11.7
		2.子育て支援に関する情報提供・相談体制の充実	5.c,16.10,1.3
		3.配慮を必要とする子ども・家庭への支援	4a,4.5,1.3
5 障がい者福祉の充実	4,8,10,11,16	1.就労支援への取組の強化	8.5,8.6,4.a
		2.障がいのある人と共に暮らす共生社会の実現	10.2,10.3,11.2
		3.障がい者が安心して生活できる仕組みづくり	10.3,10.2,16.b
6 地域福祉の充実	1,4,11,16,17	1.福祉教育の充実	4.7
		2.支え合い意識の高揚・相談支援の充実	16.7,16.10,1.3
		3.誰もが集える場所・機会づくり	11.7,17.17

基本目標 3 郷土への誇りと未来への希望を育むまちづくり

施策	SDGs ゴール	施策の展開	SDGs ターゲット
1 子ども教育の推進	4,8,17	1.学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進	4.1,4.2,17.8
		2.郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進	4.3,4.4,8.5
		3.家庭・地域の教育力の充実	4.7,4.1,17.16
2 学校教育環境の整備	4,9,10,17	1.安全・安心な学校づくり	4.a,10.2
		2.学校施設の維持管理	4.a,9.1
		3.高等教育・研究機関等との連携強化	4.3,4.b,17.16
3 生涯学習の推進	4,11,17	1.学習機会の充実	4.4,17.8
		2.地域づくりの推進	4.7,11.b
		3.芸術・文化の推進	4.7,11.4

施策	SDGs ゴール	施策の展開	SDGs ターゲット
4 スポーツの推進	3,4	1.「育てる」スポーツの推進	4.7,4.a,3d
		2.「健康」スポーツの推進	4.7,4.a,3d
		3.「支える」スポーツの推進	4.a,3.d
5 文化振興の推進	4,11,12,15	1.世界遺産等の地域資源の保存と活用	11.4,12b
		2.郷土愛の醸成と担い手の育成	4.7,11.4,15.5
		3.博物館事業の推進	4.7,11.4

**基本目標 4** 地域の活力と賑わいあふれるまちづくり



施策	SDGs ゴール	施策の展開	SDGs ターゲット
1 農業の振興	2,4,15,17	1.地域の実情に応じた営農体制の確立	2.4,2.3,17.17
		2.地域の農業を担う多様な担い手の確保	2.4,2.3,4.7
		3.生物多様性の保全と里山の振興	2.4,15.5,4.7
2 林業の振興	9,11,15	1.林業の効率化促進	15.2,9.4
		2.森林の多面的機能の保全	15.4,15.2
		3.佐渡産木材の利用促進	15.2,11.1
3 水産業の振興	8,14	1.育てる漁業の推進	14.4
		2.ブランド力と販売力の強化	8.9
		3.漁業の担い手の確保	14.b
4 商工業の振興	4,8,9,17	1.円滑な事業承継と経営の安定化	9.3,8.3
		2.企業ブランド力の向上	9.3,17.8,4.4
		3.人材の育成	4.4,8.8
5 観光の振興	8,9,11,12	1.観光旅行者の満足度向上に係る環境基盤整備	9.b,8.9
		2.消費額向上に係る滞在型観光促進	8.9,12.b
		3.戦略的情報発信	8.9,11.4
6 産業連携・販売戦略の推進	2,8,9	1.高付加価値化及び販路の開拓・販売拡大の推進	9.4,8.2
		2.島内産業の振興に伴う島内循環の促進	8.3,9.2,9.3
		3.「佐渡」の特長を活かした佐渡産品のブランド化の推進	9.4,9.3,2.4
7 雇用機会・就労環境の充実	4,8,9,10	1.新たな産業の創出	8.3,9.3,4.4
		2.人材の確保及び育成支援	4.4,4.7
		3.働き方改革の推進	8.6,10.2
8 移住定住の促進	8,11,17	1.Uターン者の受入れ促進	8.8,11.1
		2.空き家活用による定住人口の拡大	11.1,17.17


施策	SDGs ゴール	施策の展開	SDGs ターゲット
		3.企業誘致による多様な人材と企業が活躍できる仕組みづくり	8.2,8.3


基本目標5 心豊かで明るい暮らしを未来に繋げるまちづくり

施策	SDGs ゴール	施策の展開	SDGs ターゲット
1 市民参画と協働による地域づくりの推進	8,11,16,17	1.地域づくりの拠点化	16.7,17.16
		2.外部人材の活用	8.3,11.4
		3.地域コミュニティ活動の促進	16.7,17.16
2 人権の尊重	4,5,10	1.分野別人権施策の推進	10.2,10.3,5.1
		2.人権教育・啓発の取組	4.7,5.c
3 男女共同参画の推進	5,12	1.あらゆる分野における男女平等意識の浸透	5.1,5.c
		2.仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	5.4,12.8
		3.あらゆる政策・方針決定の場への女性参画の促進	5.5
4 広報・広聴活動の推進	16,17	1.多様な情報媒体を活用した広報活動	16.7,16.10
		2.市民の意見や要望を市政に反映させるための広聴活動	16.7,16.10,17.16
5 行政運営・財政運営の推進	16,17	1.行政改革の推進	16.6
		2.持続可能な財政運営	16.6,17.1

## 2 SDGs のゴール・ターゲットに対する施策のマッピング


	<p>《目標 1》 あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる</p>
<p>ターゲット</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1.3 各国において最低限の基準を含む適切な社会保護制度及び対策を実施し、2030 年までに貧困層及び脆弱層に対し十分な保護を達成する。</li> <li>・ 1.5 2030 年までに、貧困層や脆弱な状況にある人々の強靱性（レジリエンス）を構築し、気候変動に関連する極端な気象現象やその他の経済、社会、環境的ショックや災害に対する暴露や脆弱性を軽減する。</li> <li>・ 1.b 貧困撲滅のための行動への投資拡大を支援するため、国、地域及び国際レベルで、貧困層やジェンダーに配慮した開発戦略に基づいた適正な政策的枠組みを構築する。</li> </ul>
<p>施策の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1-1-3 緊急情報伝達システムの構築(1.5)</li> <li>・ 1-2-1 消防体制の整備(1.5)</li> <li>・ 1-2-2 救急体制の充実(1.5)</li> <li>・ 2-3-1 健康づくりと介護予防の推進(1.b)</li> <li>・ 2-3-3 医療・介護・福祉が一体的に提供されている地域包括ケアシステムの推進(1.3)</li> <li>・ 2-4-1 地域における子育て支援サービスの充実(1.3)</li> <li>・ 2-4-2 子育て支援に関する情報提供・相談体制の充実(1.3)</li> <li>・ 2-4-3 配慮を必要とする子ども・家庭への支援(1.3)</li> <li>・ 2-6-2 支え合い意識の高揚・相談支援の充実(1.3)</li> </ul>
	<p>《目標 2》 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p>
<p>ターゲット</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2.3 2030 年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場及び高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保などを通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民及び漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増させる。</li> <li>・ 2.4 2030 年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱（レジリエント）な農業を実践する。</li> </ul>

<p>施策の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1-9-1 豊かな自然環境の保全と活用(2.4)</li> <li>・ 4-1-1 地域の実情に応じた営農体制の確立(2.4、2.3)</li> <li>・ 4-1-2 地域の農業を担う多様な担い手の確保(2.4、2.3)</li> <li>・ 4-1-3 生物多様性の保全と里山の振興(2.4)</li> <li>・ 4-6-3 「佐渡」の特長を活かした佐渡製品のブランド化の推進(2.4)</li> </ul>
	<p>《目標3》 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>
<p>ターゲット</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3.6 2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。</li> <li>・ 3.8 すべての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する。</li> <li>・ 3.c 開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国において保健財政及び保健人材の採用、能力開発・訓練及び定着を大幅に拡大させる。</li> <li>・ 3.d すべての国々、特に開発途上国の国家・世界規模な健康危険因子の早期警告、危険因子緩和及び危険因子管理のための能力を強化する。</li> </ul>
<p>施策の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1-3-1 交通事故防止(3.6)</li> <li>・ 2-1-1 医療体制の維持・連携推進(3.8)</li> <li>・ 2-1-2 医療従事者確保対策の推進(3.c、3.d)</li> <li>・ 2-1-3 へき地医療の維持(3.8)</li> <li>・ 2-2-1 市民協働の取組(3.d)</li> <li>・ 2-2-2 SIZESの取組(3.d、3.8)</li> <li>・ 2-2-3 生活習慣病重症化予防(3.d)</li> <li>・ 2-3-1 健康づくりと介護予防の推進(3.8)</li> <li>・ 2-3-3 医療・介護・福祉が一体的に提供されている地域包括ケアシステムの推進(3.c)</li> <li>・ 3-4-1 「育てる」スポーツの推進(3.d)</li> <li>・ 3-4-2 「健康」スポーツの推進(3.d)</li> <li>・ 3-4-3 「支える」スポーツの推進(3.d)</li> </ul>

	<p>《目標4》 すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p>
<p>ターゲット</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4.1 2030年までに、すべての女兒及び男児が、適切かつ効果的な学習成果をもたらす、無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする。</li> <li>・4.2 2030年までに、すべての女兒及び男児が、質の高い乳幼児の発達支援、ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。</li> <li>・4.3 2030年までに、すべての女性及び男性が、手頃な価格で質の高い技術教育、職業教育及び大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。</li> <li>・4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。</li> <li>・4.5 2030年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者、先住民及び脆弱な立場にある子どもなど、脆弱層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。</li> <li>・4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。</li> <li>・4.a 子ども、障害及びジェンダーに配慮した教育施設を構築・改良し、すべての人々に安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境を提供できるようにする。</li> <li>・4.b 2020年までに、開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国、ならびにアフリカ諸国を対象とした、職業訓練、情報通信技術（ICT）、技術・工学・科学プログラムなど、先進国及びその他の開発途上国における高等教育の奨学金の件数を全世界で大幅に増加させる。</li> </ul>
<p>施策の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1-1-1 防災意識の向上と防災教育の推進(4.7)</li> <li>・1-9-3 佐渡の環境を考え実行できる環境市民の育成(4.7)</li> <li>・1-11-2 意識啓発の推進(4.7)</li> <li>・2-2-1 市民協働の取組(4.7)</li> <li>・2-2-2 SIZESの取組(4.7)</li> <li>・2-2-3 生活習慣病重症化予防(4.7)</li> </ul>





	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2-3-1 健康づくりと介護予防の推進(4.7)</li> <li>・ 2-4-3 配慮を必要とする子ども・家庭への支援(4.a、4.5)</li> <li>・ 2-5-1 就労支援への取組の強化(4.a)</li> <li>・ 2-6-1 福祉教育の充実(4.7)</li> <li>・ 3-1-1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進(4.1、4.2)</li> <li>・ 3-1-2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進(4.3、4.4)</li> <li>・ 3-1-3 家庭・地域の教育力の充実(4.7、4.1)</li> <li>・ 3-2-1 安全・安心な学校づくり(4.a)</li> <li>・ 3-2-2 学校施設の維持管理(4.a)</li> <li>・ 3-2-3 高等教育・研究機関等との連携強化(4.3、4.b)</li> <li>・ 3-3-1 学習機会の充実(4.4)</li> <li>・ 3-3-2 地域づくりの推進(4.7)</li> <li>・ 3-3-3 芸術・文化の推進(4.7)</li> <li>・ 3-4-1 「育てる」スポーツの推進(4.7、4.a)</li> <li>・ 3-4-2 「健康」スポーツの推進(4.7、4.a)</li> <li>・ 3-4-3 「支える」スポーツの推進(4.a)</li> <li>・ 3-5-2 郷土愛の醸成と担い手の育成(4.7)</li> <li>・ 3-5-3 博物館事業の推進(4.7)</li> <li>・ 4-1-2 地域の農業を担う多様な担い手の確保(4.7)</li> <li>・ 4-1-3 生物多様性の保全と里山の振興(4.7)</li> <li>・ 4-4-2 企業ブランド力の向上(4.4)</li> <li>・ 4-4-3 人材の育成(4.4)</li> <li>・ 4-7-1 新たな産業の創出(4.4)</li> <li>・ 4-7-2 人材の確保及び育成支援(4.4、4.7)</li> <li>・ 5-2-2 人権教育・啓発の取組(4.7)</li> </ul>
--	--


	<p>《目標5》 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う</p>
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5.1 あらゆる場所におけるすべての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。</li> <li>・ 5.4 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。</li> <li>・ 5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。</li> <li>・ 5.c ジェンダー平等の促進、ならびにすべての女性及び女子のあらゆるレベルでのエンパワーメントのための適正な政策及び拘束力のある法規を導入・強化する。</li> </ul>





施策の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2-4-1 地域における子育て支援サービスの充実(5.4)</li> <li>・2-4-2 子育て支援に関する情報提供・相談体制の充実(5.c)</li> <li>・5-2-1 分野別人権施策の推進(5.1)</li> <li>・5-2-2 人権教育・啓発の取組(5.c)</li> <li>・5-3-1 あらゆる分野における男女平等意識の浸透(5.1、5.c)</li> <li>・5-3-2 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進(5.4)</li> <li>・5-3-3 あらゆる政策・方針決定の場への女性参画の促進(5.5)</li> </ul>
-------	---


	<p>《目標6》 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6.3 2030年までに、汚染の減少、投棄廃絶と有害な化学物質や物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模での大幅な増加させることにより、水質を改善する。</li> <li>・6.4 2030年までに、全セクターにおいて水の利用効率を大幅に改善し、淡水の持続可能な採取及び供給を確保し水不足に対処するとともに、水不足に悩む人々の数を大幅に減少させる。</li> <li>・6.b 水と衛生に関わる分野の管理向上への地域コミュニティの参加を支援・強化する。</li> </ul>
施策の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1-6-1 災害に強い水道システムの構築(6.4、6.b)</li> <li>・1-6-2 効率的な水道経営の推進(6.4)</li> <li>・1-7-1 自然環境の保全に向けた下水道接続等の促進(6.3)</li> <li>・1-7-2 安定した下水道経営と施設の維持管理(6.3)</li> </ul>

	<p>《目標7》 すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p>
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。</li> <li>・7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。</li> </ul>
施策の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1-10-1 再生可能エネルギーの導入促進(7.2)</li> <li>・1-10-2 省エネルギーの普及促進(7.3)</li> </ul>

 <p>8 働きがいも 経済成長も</p>	<p>《目標8》 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する</p>
<p>ターゲット</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8.1 各国の状況に応じて、一人当たり経済成長率を持続させる。特に後発開発途上国は少なくとも年率7%の成長率を保つ。</li> <li>・ 8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。</li> <li>・ 8.3 生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。</li> <li>・ 8.5 2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一価値の労働についての同一賃金を達成する。</li> <li>・ 8.6 2020年までに、就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。</li> <li>・ 8.8 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。</li> <li>・ 8.9 2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。</li> </ul>
<p>施策の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1-4-2 交流人口拡大に向けた交通体系の充実(8.9)</li> <li>・ 1-8-2 都市再生整備事業（相川地区）の推進(8.1)</li> <li>・ 2-5-1 就労支援への取組の強化(8.5、8.6)</li> <li>・ 3-1-2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進(8.5)</li> <li>・ 4-3-2 ブランド力と販売力の強化(8.9)</li> <li>・ 4-4-1 円滑な事業承継と経営の安定化(8.3)</li> <li>・ 4-4-3 人材の育成(8.8)</li> <li>・ 4-5-1 観光旅行者の満足度向上に係る環境基盤整備(8.9)</li> <li>・ 4-5-2 消費額向上に係る滞在型観光促進(8.9)</li> <li>・ 4-5-3 戦略的情報発信(8.9)</li> <li>・ 4-6-1 高付加価値化及び販路の開拓・販売拡大の推進(8.2)</li> <li>・ 4-6-2 島内産業の振興に伴う島内循環の促進(8.3)</li> <li>・ 4-7-1 新たな産業の創出(8.3)</li> <li>・ 4-7-3 働き方改革の推進(8.6)</li> <li>・ 4-8-1 UI ターン者の受入れ促進(8.8)</li> <li>・ 4-8-3 企業誘致による多様な人材と企業が活躍できる仕組みづくり(8.2、8.3)</li> <li>・ 5-1-2 外部人材の活用(8.3)</li> </ul>


 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>《目標9》 強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p>
<p>ターゲット</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9.1 すべての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発する。</li> <li>・9.2 包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、2030年までに各国の状況に応じて雇用及びGDPに占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。後発開発途上国については同割合を倍増させる。</li> <li>・9.3 特に開発途上国における小規模の製造業その他の企業の、安価な資金貸付などの金融サービスやバリューチェーン及び市場への統合へのアクセスを拡大する。</li> <li>・9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。</li> <li>・9.b 産業の多様化や商品への付加価値創造などに資する政策環境の確保などを通じて、開発途上国の国内における技術開発、研究及びイノベーションを支援する。</li> </ul>
<p>施策の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1-5-1 安全安心な市道整備(9.1)</li> <li>・1-5-2 道路橋梁の長寿命化(9.1)</li> <li>・1-5-3 道路等の適正管理(9.1)</li> <li>・1-6-1 災害に強い水道システムの構築(9.1)</li> <li>・1-7-1 自然環境の保全に向けた下水道接続等の促進(9.1)</li> <li>・3-2-2 学校施設の維持管理(9.1)</li> <li>・4-2-1 林業の効率化促進(9.4)</li> <li>・4-4-1 円滑な事業承継と経営の安定化(9.3)</li> <li>・4-4-2 企業ブランド力の向上(9.3)</li> <li>・4-5-1 観光旅行者の満足度向上に係る環境基盤整備(9.b)</li> <li>・4-6-1 高付加価値化及び販路の開拓・販売拡大の推進(9.4)</li> <li>・4-6-2 島内産業の振興に伴う島内循環の促進(9.2、9.3)</li> <li>・4-6-3 「佐渡」の特長を活かした佐渡製品のブランド化の推進(9.4、9.3)</li> <li>・4-7-1 新たな産業の創出(9.3)</li> </ul>


	<p>《目標 10》 各国内及び各国間の不平等を是正する</p>
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10.2 2030 年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々のエンパワーメント及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。</li> <li>・ 10.3 差別的な法律、政策及び慣行の撤廃、ならびに適切な関連法規、政策、行動の促進などを通じて、機会均等を確保し、成果の不平等を是正する。</li> </ul>
施策の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2-3-2 高齢者の生きがいある暮らしの推進(10.2)</li> <li>・ 2-3-3 医療・介護・福祉が一体的に提供されている地域包括ケアシステムの推進(10.2)</li> <li>・ 2-5-2 障がいのある人と共に暮らす共生社会の実現(10.2、10.3)</li> <li>・ 2-5-3 障がい者が安心して生活できる仕組みづくり(10.3、10.2)</li> <li>・ 3-2-1 安全・安心な学校づくり(10.2)</li> <li>・ 4-7-3 働き方改革の推進(10.2)</li> <li>・ 5-2-1 分野別人権施策の推進(10.2、10.3)</li> </ul>

	<p>《目標 11》 包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11.1 2030 年までに、すべての人々の、適切、安全かつ安価な住宅及び基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する。</li> <li>・ 11.2 2030 年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子ども、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。</li> <li>・ 11.3 2030 年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。</li> <li>・ 11.4 世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。</li> <li>・ 11.5 2030 年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11.6 2030年までに、大気の水質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。</li> <li>・ 11.7 2030年までに、女性、子ども、高齢者及び障害者を含め、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供する。</li> <li>・ 11.a 各国・地域規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援する。</li> <li>・ 11.b 2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靭さ（レジリエンス）を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組 2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。</li> </ul>
<p>施策の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1-1-1 防災意識の向上と防災教育の推進(11.b)</li> <li>・ 1-1-2 自主防災組織の育成(11.b)</li> <li>・ 1-1-3 緊急情報伝達システムの構築(11.b)</li> <li>・ 1-2-1 消防体制の整備(11.b)</li> <li>・ 1-2-2 救急体制の充実(11.b)</li> <li>・ 1-3-1 交通事故防止(11.2)</li> <li>・ 1-3-2 安全安心なまちづくり(11.3)</li> <li>・ 1-4-1 まちづくりと連携した地域交通ネットワークの構築(11.2)</li> <li>・ 1-4-2 交流人口拡大に向けた交通体系の充実(11.2)</li> <li>・ 1-4-3 公共交通のサービスレベルの向上(11.2)</li> <li>・ 1-5-1 安全安心な市道整備(11.2)</li> <li>・ 1-5-2 道路橋梁の長寿命化(11.2)</li> <li>・ 1-5-3 道路等の適正管理(11.2)</li> <li>・ 1-7-1 自然環境の保全に向けた下水道接続等の促進(11.6)</li> <li>・ 1-7-2 安定した下水道経営と施設の維持管理(11.6)</li> <li>・ 1-7-3 災害に備えた体制整備(11.5、11.b)</li> <li>・ 1-8-1 都市計画・景観・公園の充実(11.3、11.7、11.a)</li> <li>・ 1-8-2 都市再生整備事業（相川地区）の推進(11.3)</li> <li>・ 1-8-3 住環境の向上(11.1、11.6、11.7)</li> <li>・ 1-9-1 豊かな自然環境の保全と活用(11.7)</li> <li>・ 2-3-2 高齢者の生きがいある暮らしの推進(11.2)</li> <li>・ 2-4-1 地域における子育て支援サービスの充実(11.7)</li> <li>・ 2-5-2 障がいのある人と共に暮らす共生社会の実現(11.2)</li> <li>・ 2-6-3 誰もが集える場所・機会づくり(11.7)</li> <li>・ 3-3-2 地域づくりの推進(11.b)</li> </ul>


	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3-3-3 芸術・文化の推進(11.4)</li> <li>・ 3-5-1 世界遺産等の地域資源の保存と活用(11.4)</li> <li>・ 3-5-2 郷土愛の醸成と担い手の育成(11.4)</li> <li>・ 3-5-3 博物館事業の推進(11.4)</li> <li>・ 4-2-3 佐渡産木材の利用促進(11.1)</li> <li>・ 4-5-3 戦略的情報発信(11.4)</li> <li>・ 4-8-1 UI ターン者の受入れ促進(11.1)</li> <li>・ 4-8-2 空き家活用による定住人口の拡大(11.1)</li> <li>・ 5-1-2 外部人材の活用(11.4)</li> </ul>
--	---


	<p>《目標 12》 持続可能な生産消費形態を確保する</p>
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。</li> <li>・ 12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。</li> <li>・ 12.b 雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業に対して持続可能な開発がもたらす影響を測定する手法を開発・導入する。</li> </ul>
施策の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1-9-3 佐渡の環境を考え実行できる環境市民の育成(12.8)</li> <li>・ 1-11-1 発生抑制・再使用の推進によるごみの減量(12.5)</li> <li>・ 1-11-2 意識啓発の推進(12.8)</li> <li>・ 3-5-1 世界遺産等の地域資源の保存と活用(12.b)</li> <li>・ 4-5-2 消費額向上に係る滞在型観光促進(12.b)</li> <li>・ 5-3-2 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進(12.8)</li> </ul>



	<p>《目標 13》 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 13.1 すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応力を強化する。</li> <li>・ 13.2 気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。</li> <li>・ 13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。</li> </ul>
施策の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1-1-1 防災意識の向上と防災教育の推進(13.3)</li> <li>・ 1-1-2 自主防災組織の育成(13.1)</li> <li>・ 1-1-3 緊急情報伝達システムの構築(13.3)</li> <li>・ 1-2-2 救急体制の充実(13.3)</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1-10-1 再生可能エネルギーの導入促進(13.2)</li> <li>・1-10-2 省エネルギーの普及促進(13.2)</li> </ul>
--	---

	<p>《目標 14》 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p>
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・14.4 水産資源を、実現可能な最短期間で少なくとも各資源の生物学的特性によって定められる最大持続生産量のレベルまで回復させるため、2020年までに、漁獲を効果的に規制し、過剰漁業や違法・無報告・無規制（IUU）漁業及び破壊的な漁業慣行を終了し、科学的な管理計画を実施する。</li> <li>・14.b 小規模・沿岸零細漁業者に対し、海洋資源及び市場へのアクセスを提供する。</li> </ul>
施策の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4-3-1 育てる漁業の推進(14.4)</li> <li>・4-3-3 漁業の担い手の確保(14.b)</li> </ul>

	<p>《目標 15》 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p>
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15.2 2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。</li> <li>・15.4 2030年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う。</li> <li>・15.5 自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失を阻止し、2020年までに絶滅危惧種を保護し、また絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる。</li> <li>・15.a 生物多様性と生態系の保全と持続的な利用のために、あらゆる資金源からの資金の動員及び大幅な増額を行う。</li> </ul>
施策の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1-9-1 豊かな自然環境の保全と活用(15.a)</li> <li>・1-9-2 トキとの共生の実現(15.5)</li> <li>・3-5-2 郷土愛の醸成と担い手の育成(15.5)</li> <li>・4-1-3 生物多様性の保全と里山の振興(15.5)</li> <li>・4-2-1 林業の効率化促進(15.2)</li> <li>・4-2-2 森林の多面的機能の保全(15.4、15.2)</li> <li>・4-2-3 佐渡産木材の利用促進(15.2)</li> </ul>

 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>《目標 16》 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p>
<p>ターゲット</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・16.1 あらゆる場所において、すべての形態の暴力及び暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる。</li> <li>・16.6 あらゆるレベルにおいて、有効で説明責任のある透明性の高い公共機関を発展させる。</li> <li>・16.7 あらゆるレベルにおいて、対応的、包摂的、参加型及び代表的な意思決定を確保する。</li> <li>・16.10 国内法規及び国際協定に従い、情報への公共アクセスを確保し、基本的自由を保障する。</li> <li>・16.a 特に開発途上国において、暴力の防止とテロリズム・犯罪の撲滅に関するあらゆるレベルでの能力構築のため、国際協力などを通じて関連国家機関を強化する。</li> <li>・16.b 持続可能な開発のための非差別的な法規及び政策を推進し、実施する。</li> </ul>
<p>施策の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1-3-2 安全安心なまちづくり(16.1、16.a)</li> <li>・2-4-2 子育て支援に関する情報提供・相談体制の充実(16.10)</li> <li>・2-5-3 障がい者が安心して生活できる仕組みづくり(16.b)</li> <li>・2-6-2 支え合い意識の高揚・相談支援の充実(16.7、16.10)</li> <li>・5-1-1 地域づくりの拠点化(16.7)</li> <li>・5-1-3 地域コミュニティ活動の促進(16.7)</li> <li>・5-4-1 多様な情報媒体を活用した広報活動(16.7、16.10)</li> <li>・5-4-2 市民の意見や要望を市政に反映させるための広聴活動(16.7、16.10)</li> <li>・5-5-1 行政改革の推進(16.6)</li> <li>・5-5-2 持続可能な財政運営(16.6)</li> </ul>
 <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	<p>《目標 17》 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>
<p>ターゲット</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17.1 課税及び徴税能力の向上のため、開発途上国への国際的な支援なども通じて、国内資源の動員を強化する。</li> <li>・17.8 2017年までに、後発開発途上国のための技術バンク及び科学技術イノベーション能力構築メカニズムを完全運用させ、情報通信技術（ICT）をはじめとする実現技術の利用を強化する。</li> <li>・17.16 すべての国々、特に開発途上国での持続可能な開発目標の達成を支援すべく、知識、専門的知見、技術及び資金源を動員、</li> </ul>



	<p>共有するマルチステークホルダー・パートナーシップによって補完しつつ、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。</li> </ul>
<p>施策の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2-2-1 市民協働の取組(17.17)</li> <li>・ 2-3-2 高齢者の生きがいある暮らしの推進(17.17)</li> <li>・ 2-6-3 誰もが集える場所・機会づくり(17.17)</li> <li>・ 3-1-1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進(17.8)</li> <li>・ 3-1-3 家庭・地域の教育力の充実(17.16)</li> <li>・ 3-2-3 高等教育・研究機関等との連携強化(17.16)</li> <li>・ 3-3-1 学習機会の充実(17.8)</li> <li>・ 4-1-1 地域の実情に応じた営農体制の確立(17.17)</li> <li>・ 4-4-2 企業ブランド力の向上(17.8)</li> <li>・ 4-8-2 空き家活用による定住人口の拡大(17.17)</li> <li>・ 5-1-1 地域づくりの拠点化(17.16)</li> <li>・ 5-1-3 地域コミュニティ活動の促進(17.16)</li> <li>・ 5-4-2 市民の意見や要望を市政に反映させるための広聴活動(17.16)</li> <li>・ 5-5-2 持続可能な財政運営(17.1)</li> </ul>

## 第2章 市民意見調査

- 第1節 市民アンケート調査結果
- 第2節 事業者アンケート調査結果
- 第3節 子育て世代アンケート調査結果
- 第4節 高校生アンケート調査結果
- 第5節 ワークショップ結果



## 第1節

# 市民アンケート調査結果

# 佐渡市総合計画に関する市民アンケート調査 結果【単純集計】

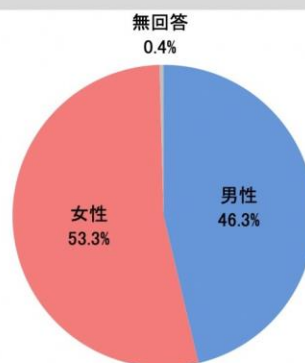
## ■アンケート実施状況

調査期間：	令和3年1月15日～令和3年2月4日（21日間）
対象者：	市内にお住まいの満18歳以上の方々から無作為に3,000人を抽出
実施方法：	郵送による配布、回収
配布数：	3,000 通
回答数：	1,631 通
回収率：	54.4 %

## 1. あなたのことについて、おたずねします

問1. あなたの性別をお答えください。

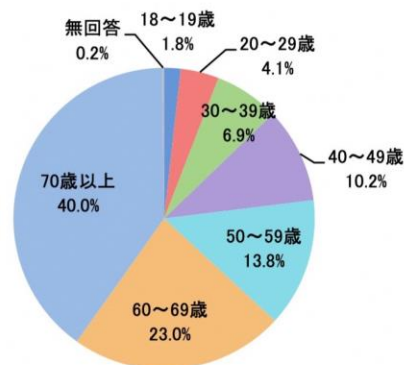
	(件)
1. 男性	755
2. 女性	869
無回答	7
計	1,631



(n=1,631)

問2. あなたの年齢をお答えください。

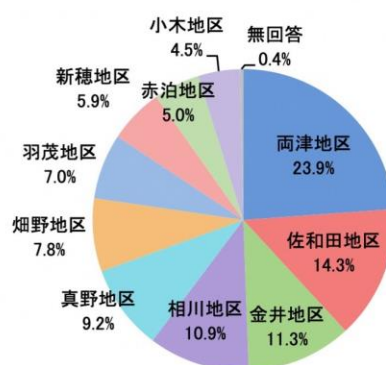
	(件)
1. 18～19歳	29
2. 20～29歳	67
3. 30～39歳	113
4. 40～49歳	167
5. 50～59歳	225
6. 60～69歳	375
7. 70歳以上	652
無回答	3
計	1,628



(n=1,631)

問3. あなたのお住まいの地区をお答えください。

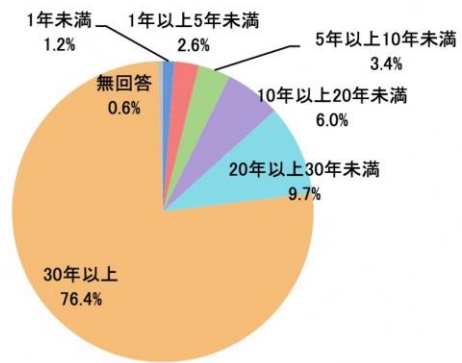
	(件)
1. 両津地区	389
2. 佐和田地区	233
3. 金井地区	184
4. 相川地区	177
5. 真野地区	150
6. 畑野地区	128
7. 羽茂地区	114
8. 新穂地区	96
9. 赤泊地区	81
10. 小木地区	73
無回答	6
計	1,631



(n=1,631)

問4. 佐渡市にお住まいの年数をお答えください。

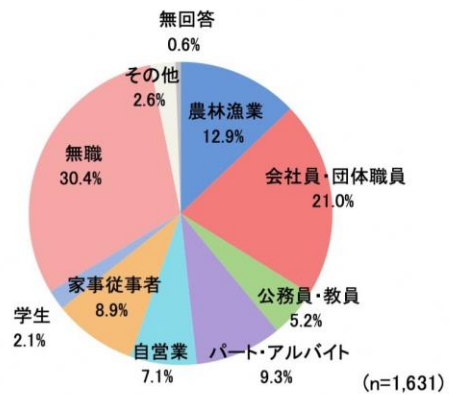
	(件)
1. 1年未満	20
2. 1年以上5年未満	43
3. 5年以上10年未満	56
4. 10年以上20年未満	98
5. 20年以上30年未満	159
6. 30年以上	1,246
無回答	9
計	1,631



(n=1,631)

問5. あなたの主な職業をお答えください。

	(件)
1. 農林漁業	210
2. 会社員・団体職員	342
3. 公務員・教員	85
4. パート・アルバイト(学生は除く)	151
5. 自営業(工場・会社・商店・サービス業の経営者)	115
6. 家事従事者	145
7. 学生	35
8. 無職	496
9. その他	43
無回答	9
計	1,631



(n=1,631)

【その他】

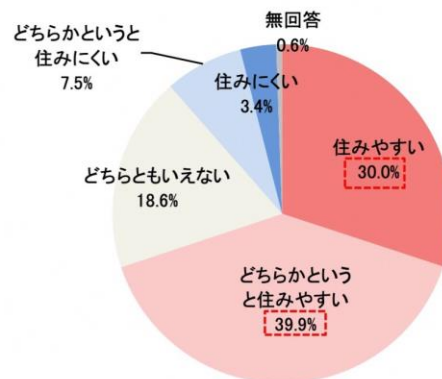
- ・ 僧侶
  - ・ 警備員
  - ・ 自営手伝い
  - ・ 誘導員
- など

## 2. 佐渡市への住み心地や愛着について、おたずねします

問6. あなたは佐渡市が住みやすい市だと思いますか。

佐渡市の住み心地について、約70%の方が住みやすいと思っている。

	(件)
1. 住みやすい	490
2. どちらかという住みやすい	650
3. どちらともいえない	304
4. どちらかという住みにくい	122
5. 住みにくい	56
無回答	9
合計	1,631

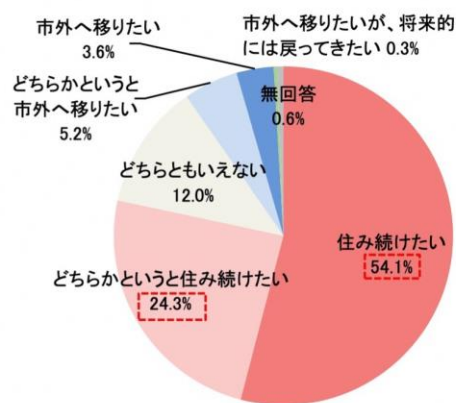


(n=1,631)

問7. 今後も佐渡市に住み続けたいと思いますか。

今後の居留意向について、約78%の方が佐渡市に住み続けたいと思っている。

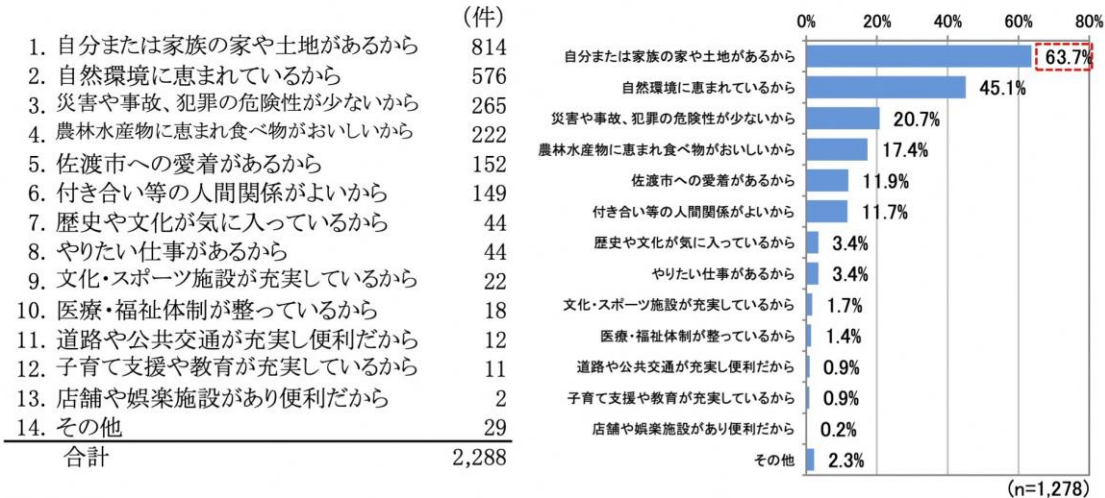
	(件)
1. 住み続けたい	882
2. どちらかという住み続けたい	396
3. どちらともいえない	195
4. どちらかという市外へ移りたい	85
5. 市外へ移りたい	58
6. 市外へ移りたいが、将来的には戻ってきたい	5
無回答	10
計	1,631



(n=1,631)

問8. 住み続けたい理由をお答えください。(2つまで○)  
(問7. で「1.住み続けたい」「2.どちらかというに住み続けたい」と答えた方)

今後も佐渡市に住み続けたいと回答した方の半数以上が、「自分または家族の家や土地があるから」を理由としている。



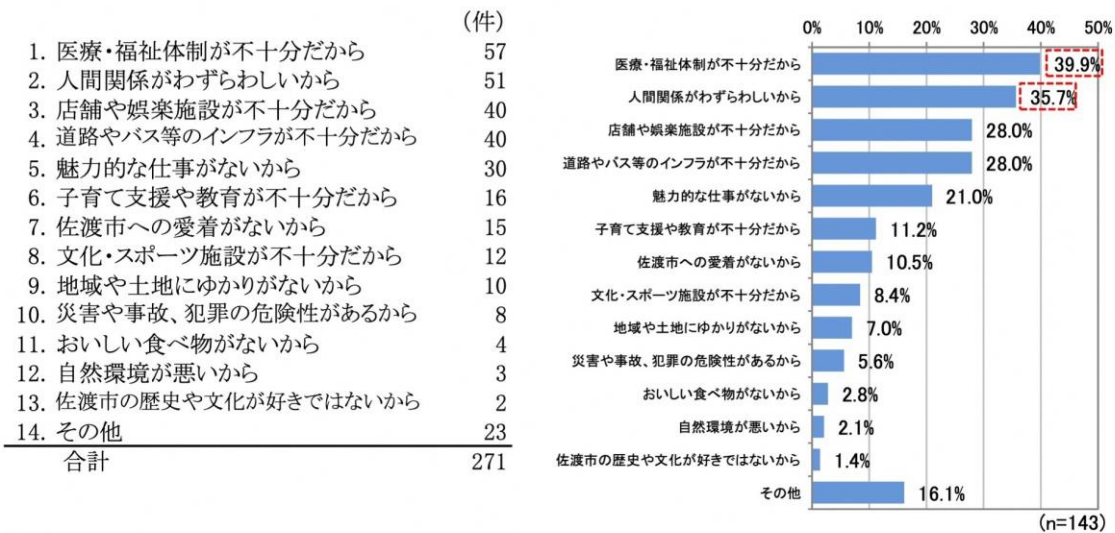
【その他】

- ・生まれ育った場所だから(8)
- ・環境を変えたくない(3)
- ・高齢のため(2)
- ・他に行く場所がない(4)
- ・経済的な余裕がない(2)

など

問9. 市外へ移りたい理由をお答えください。(2つまで○)  
(問7. で「4.どちらかという和市外へ移りたい」「5.市外へ移りたい」と答えた方)

市外へ移りたいと回答した方の理由として、「医療・福祉体制が不十分だから」が約40%で最も多く、次いで、「人間関係がわずらわしいから」が約36%である。



【その他】

- ・市外への移動が不便だから(6)
- ・働く環境が不十分だから(2)
- ・市外から佐渡市を見つめ直したいから
- ・家族・友人がいるから(2)
- ・買い物や趣味の環境が不十分だから(2)
- ・一時的に住んでいるだけだから(2)

など



### 3. 佐渡市の取り組みに対する満足度と重要度について、おたずねします

問10. 以下に示す各取り組みの「現状の満足度」と「今後の重要度」についてお答えください。

佐渡市の取り組みのうち、「佐渡の豊かな自然景観の保全」の満足度が約46%で最も高い。一方で、「佐渡航路や佐渡空港などの公共交通の整備」、「空家等の管理や有効活用」、「雇用・就業の場の確保」の取り組みについては、半数以上の方が不満を感じている。

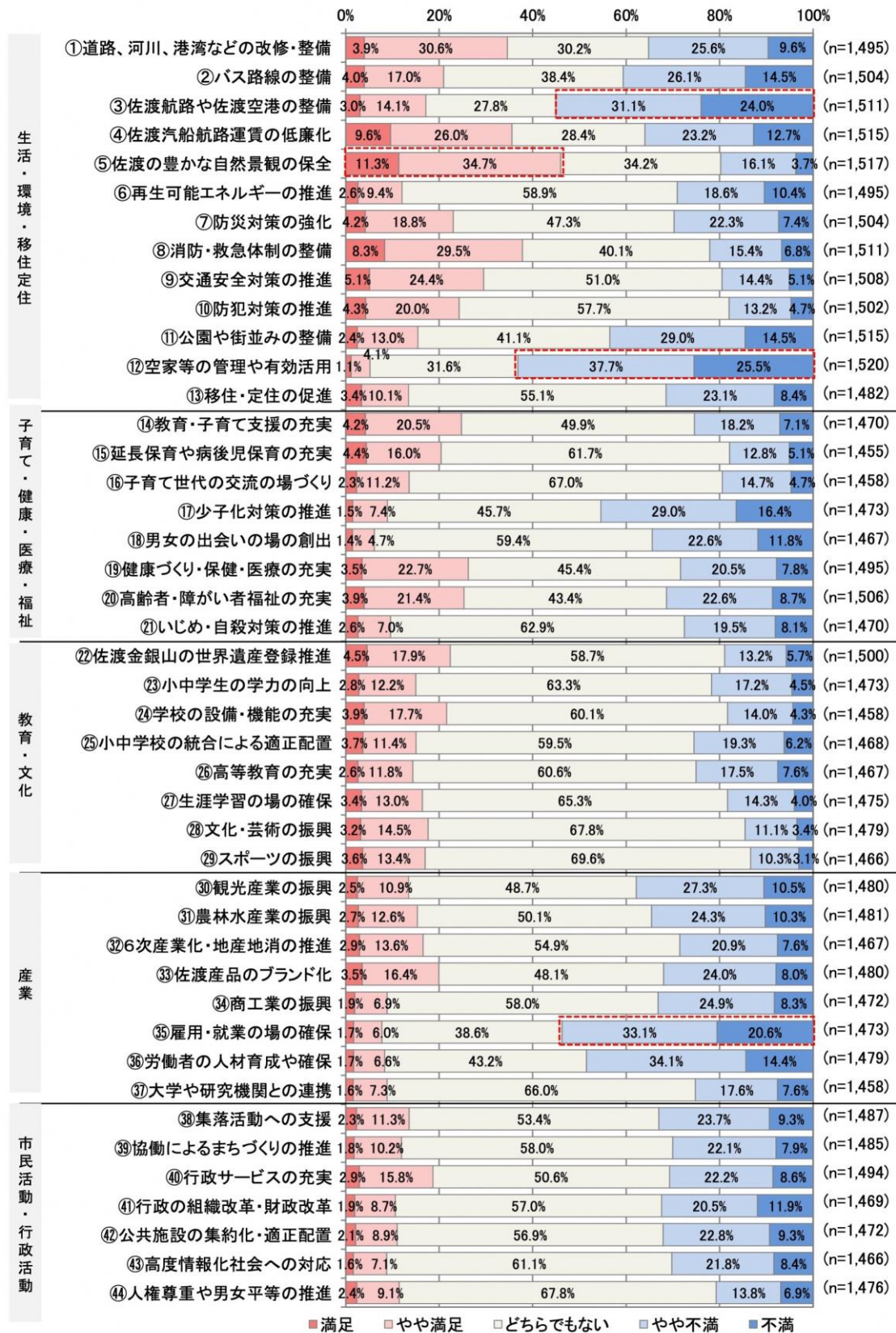
また、今後の重要度については、「道路、河川、港湾などのインフラ施設の改修・整備」、「佐渡航路や佐渡空港などの公共交通の整備」、「雇用・就業の場の確保」の重要度が80%以上で高い。一方で「佐渡金銀山の世界遺産登録推進」については、約18%の方が重要ではないと回答している。

特に「佐渡航路や佐渡空港などの公共交通の整備」、「雇用・就業の場の確保」は、現状の満足度が低く、今後の重要度が高い。

#### 【現状の満足度】

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	計
①道路、河川、港湾などのインフラ施設の改修・整備	59	458	452	382	144	1,495
②バス路線など公共交通網の整備	60	255	578	393	218	1,504
③佐渡航路や佐渡空港など公共交通の整備	46	213	420	470	362	1,511
④佐渡汽船航路運賃の低廉化	145	394	431	352	193	1,515
⑤佐渡の豊かな自然景観の保全	172	526	519	244	56	1,517
⑥再生可能エネルギーの推進	39	141	881	278	156	1,495
⑦防災対策の強化	63	283	711	336	111	1,504
⑧消防・救急体制の整備	126	445	606	232	102	1,511
⑨交通安全対策の推進	77	368	769	217	77	1,508
⑩防犯対策の推進	64	301	867	199	71	1,502
⑪公園や街並みの整備	37	197	622	439	220	1,515
⑫空家等の管理や有効活用	17	62	481	573	387	1,520
⑬移住・定住の促進	50	149	817	342	124	1,482
⑭教育・子育て支援の充実	62	302	733	268	105	1,470
⑮延長保育や病後児保育の充実	64	233	898	186	74	1,455
⑯子育て世代の交流の場づくり	34	164	977	215	68	1,458
⑰少子化対策の推進	22	109	673	427	242	1,473
⑱男女の出会いの場の創出	21	69	872	332	173	1,467
⑲健康づくり・保健・医療の充実	52	340	679	307	117	1,495
⑳高齢者・障がい者福祉の充実	59	322	653	341	131	1,506
㉑いじめ・自殺対策の推進	38	103	924	286	119	1,470
㉒佐渡金銀山の世界遺産登録推進	68	268	880	198	86	1,500
㉓小中学生の学力の向上	41	180	932	253	67	1,473
㉔学校の設備・機能の充実	57	258	876	204	63	1,458
㉕小中学校の統合による適正配置	54	167	873	283	91	1,468
㉖高等教育の充実	38	173	889	256	111	1,467
㉗生涯学習の場の確保	50	192	963	211	59	1,475
㉘文化・芸術の振興	47	214	1003	164	51	1,479
㉙スポーツの振興	53	196	1021	151	45	1,466
㉚観光産業の振興	37	162	721	404	156	1,480
㉛農林水産業の振興	40	187	742	360	152	1,481
㉜6次産業化・地産地消の推進	43	200	806	306	112	1,467
㉝佐渡産品のブランド化	52	243	712	355	118	1,480
㉞商工業の振興	28	102	854	366	122	1,472
㉟雇用・就業の場の確保(起業・二次創業含む)	25	89	568	488	303	1,473
㊱労働者の人材育成や確保	25	98	639	504	213	1,479
㊲大学や研究機関との連携	23	106	962	256	111	1,458
㊳集落活動への支援	34	168	794	352	139	1,487
㊴市民と行政の協働によるまちづくりの推進	26	151	862	328	118	1,485
㊵行政サービスの充実	43	236	756	331	128	1,494
㊶行政の組織改革・財政改革	28	128	837	301	175	1,469
㊷公共施設の集約化・適正配置	31	131	838	335	137	1,472
㊸高度情報化社会への対応	24	104	895	320	123	1,466
㊹人権尊重や男女平等の推進	35	134	1001	204	102	1,476

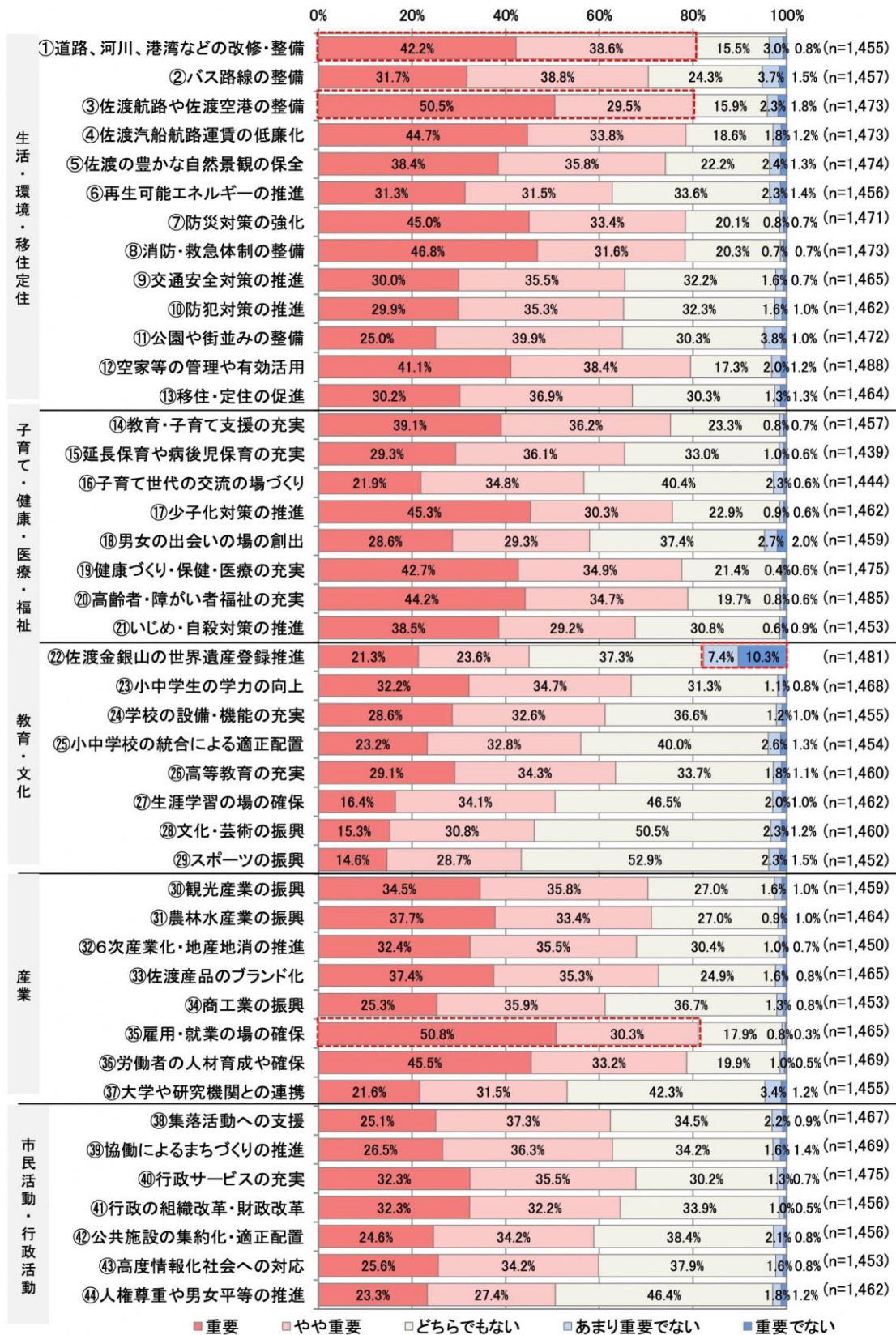




## 【今後の重要度】

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	計
①道路、河川、港湾などのインフラ施設の改修・整備	614	561	226	43	11	1,455
②バス路線など公共交通網の整備	462	565	354	54	22	1,457
③佐渡航路や佐渡空港など公共交通の整備	744	434	234	34	27	1,473
④佐渡汽船航路運賃の低廉化	658	498	274	26	17	1,473
⑤佐渡の豊かな自然景観の保全	566	527	327	35	19	1,474
⑥再生可能エネルギーの推進	456	458	489	33	20	1,456
⑦防災対策の強化	662	491	296	12	10	1,471
⑧消防・救急体制の整備	689	465	299	10	10	1,473
⑨交通安全対策の推進	439	520	472	24	10	1,465
⑩防犯対策の推進	437	516	472	23	14	1,462
⑪公園や街並みの整備	368	588	446	56	14	1,472
⑫空家等の管理や有効活用	611	572	257	30	18	1,488
⑬移住・定住の促進	442	540	444	19	19	1,464
⑭教育・子育て支援の充実	569	527	339	12	10	1,457
⑮延長保育や病後児保育の充実	422	519	475	15	8	1,439
⑯子育て世代の交流の場づくり	316	503	584	33	8	1,444
⑰少子化対策の推進	662	443	335	13	9	1,462
⑱男女の出会いの場の創出	418	427	545	40	29	1,459
⑲健康づくり・保健・医療の充実	630	515	315	6	9	1,475
⑳高齢者・障がい者福祉の充実	656	516	292	12	9	1,485
㉑いじめ・自殺対策の推進	559	424	448	9	13	1,453
㉒佐渡金銀山の世界遺産登録推進	316	350	552	110	153	1,481
㉓小中学生の学力の向上	472	509	459	16	12	1,468
㉔学校の設備・機能の充実	416	475	532	18	14	1,455
㉕小中学校の統合による適正配置	338	477	582	38	19	1,454
㉖高等教育の充実	425	501	492	26	16	1,460
㉗生涯学習の場の確保	240	499	680	29	14	1,462
㉘文化・芸術の振興	223	450	737	33	17	1,460
㉙スポーツの振興	212	417	768	33	22	1,452
㉚観光産業の振興	504	523	394	23	15	1,459
㉛農林水産業の振興	552	489	396	13	14	1,464
㉜6次産業化・地産地消の推進	470	515	441	14	10	1,450
㉝佐渡産品のブランド化	548	517	365	23	12	1,465
㉞商工業の振興	368	522	533	19	11	1,453
㉟雇用・就業の場の確保(起業・二次創業含む)	744	444	262	11	4	1,465
㊱労働者の人材育成や確保	668	488	292	14	7	1,469
㊲大学や研究機関との連携	315	458	615	50	17	1,455
㊳集落活動への支援	368	547	506	33	13	1,467
㊴市民と行政の協働によるまちづくりの推進	390	533	503	23	20	1,469
㊵行政サービスの充実	477	523	446	19	10	1,475
㊶行政の組織改革・財政改革	470	469	494	15	8	1,456
㊷公共施設の集約化・適正配置	358	498	559	30	11	1,456
㊸高度情報化社会への対応	372	497	550	23	11	1,453
㊹人権尊重や男女平等の推進	340	400	679	26	17	1,462



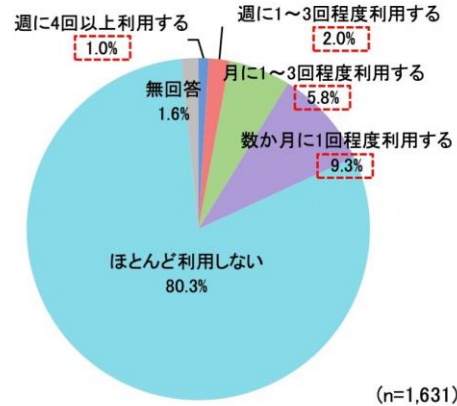


#### 4. 各分野の施策について、おたずねします

問11. 日常生活で、バス又はタクシーを利用する機会がありますか。

日常生活でバス又はタクシーを利用する機会について、約18%の方が最低でも数か月に1回以上はバス又はタクシーを利用している。

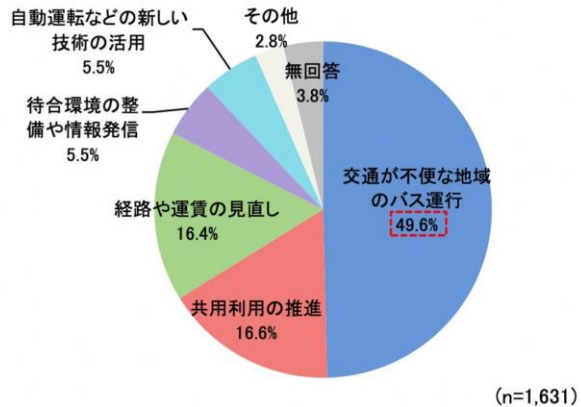
	(件)
1. 週に4回以上利用する	16
2. 週に1～3回程度利用する	32
3. 月に1～3回程度利用する	95
4. 数か月に1回程度利用する	152
5. ほとんど利用しない	1,310
無回答	26
合計	1,631



問12. 人口減少や高齢化が進行するなかで、公共交通を維持するためには、何が重要だと思いますか。

公共交通を維持するために重要なこととして、回答者の約半数が「交通が不便な地域のバス運行」と回答している。

	(件)
1. 交通が不便な地域や集落等を循環するバスや予約制バス等の運行	809
2. 通勤通学、観光、福祉との共用利用の推進	270
3. 運行経路や運賃の見直し	267
4. 待合環境の整備や情報発信による利用促進	89
5. 自動運転などの新しい技術の活用	89
6. その他	45
無回答	62
合計	1,631



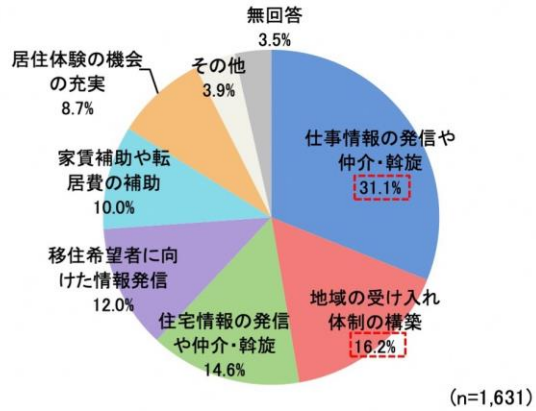
#### 【その他】

- ・ 車両の小型化やバス以外の手段の導入 (7)
- ・ 免許返納者への支援 (4)
- ・ 停留所の増加 (3)
- ・ 予約制にする (2)
- ・ 利用者に合わせた時間の調整 (4)
- ・ ノーマイカーの推進 (3)
- ・ 財政支援の強化 (3)
- ・ 電子決算の導入 など

問13. より多くの移住者を佐渡市に受け入れるためには、どのような取り組みが重要だと思いますか。

より多くの移住者を受け入れるために重要なこととして、「仕事情報の発信や仲介・斡旋」が約30%で最も回答が多く、次いで「地域の受け入れ体制の構築」が約16%である。

	(件)
1. 働く場等の仕事情報の発信や仲介・斡旋	507
2. 移住者が馴染みやすい地域の受け入れ体制の構築	265
3. 空き家等の住宅情報の発信や仲介・斡旋	238
4. ホームページ等による移住希望者に向けた情報発信	195
5. 一定期間の家賃補助や転居費の補助等の経済的支援	163
6. お試し居住等の居住体験の機会の充実	142
7. その他	64
無回答	57
合計	1,631



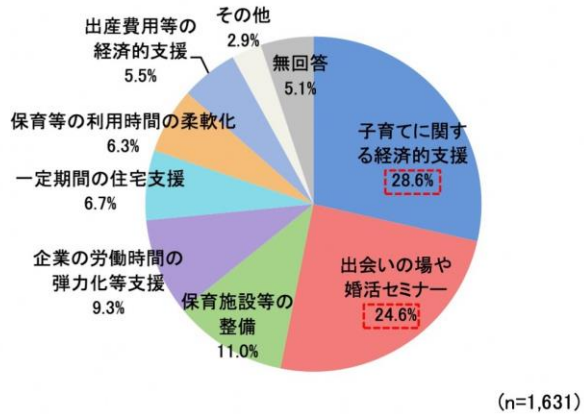
【その他】

- ・市の魅力向上と発信(9)
- ・総合的に取り組むべき((7)
- ・子育てや医療などの生活環境の向上(6)
- ・ターゲットに合わせた取り組みを行う(4)
- ・働く環境の整備(7)
- ・住民の受け入れ意識の向上(6)
- ・アクセス性の向上(4)
- ・住居等の整備(3) など

問14. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるためには、何が重要だと思いますか。

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるために重要なこととして、「保育費や教育費等の子育てに関する経済的支援」が約29%で最も回答が多く、次いで「出会いの場の創出や婚活セミナーの開催」が約25%である。

	(件)
1. 保育費や教育費等の子育てに関する経済的支援	466
2. 出会いの場の創出や婚活セミナーの開催	401
3. 保育施設や子育て支援施設の整備	180
4. 企業の育児休業や労働時間の弾力化等に対する支援	151
5. 若者夫婦への一定期間の住宅支援	110
6. 休日保育等の利用時間の柔軟化	103
7. 不妊治療費や出産費用等の経済的支援	90
8. その他	47
無回答	83
合計	1,631



【その他】

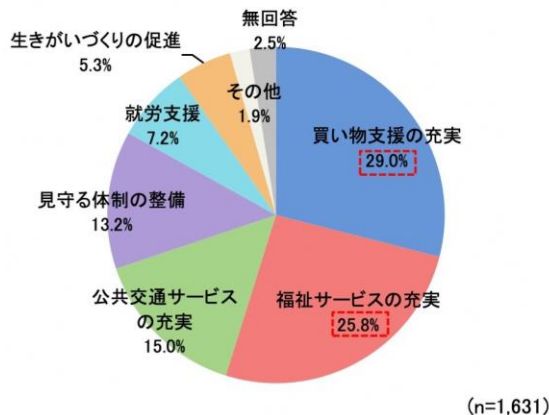
- ・就業環境の整備・向上や賃金アップ(17)
- ・人材育成や施設整備等の子育て環境の向上(3)
- ・小児科の充実や医療補助(2)
- ・結婚、子育てへの意欲向上に向けた啓発活動(3)
- ・相談体制の充実(2)
- ・全体的に取り組むべき(2) など



問15. 高齢者や障がい者が、安心して住み慣れた地域で暮らし続けていくためには、何が重要だと思いますか。

高齢者や障がい者が安心して暮らし続けていくために重要なこととして、「移動販売や配達などの買い物支援の充実」が約29%で最も回答が多く、次いで「地域医療や福祉サービスの充実」が約26%である。

	(件)
1. 移動販売や配達などの買い物支援の充実	473
2. 地域医療や福祉サービスの充実	421
3. 外出しやすい公共交通サービスの充実	245
4. 地域で高齢者や障がい者を見守る体制の整備	216
5. 高齢者や障がい者の就労支援	118
6. 趣味などの生きがいづくりの促進	86
7. その他	31
無回答	41
合計	1,631



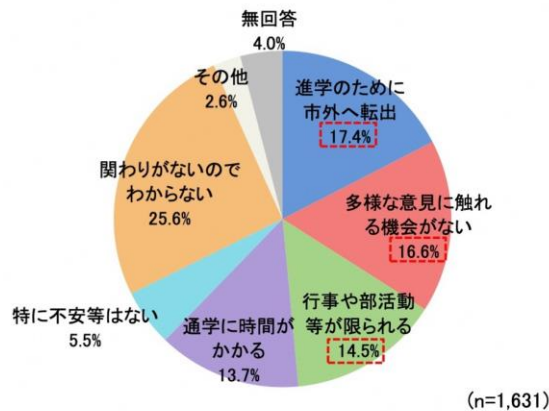
【その他】

- ・コミュニティづくりや多世代交流の促進(8)
  - ・介護職や民生委員の待遇改善(2)
  - ・高度情報通信技術の整備・活用
  - ・総合的な取り組みが必要
  - ・周囲の理解促進(4)
  - ・子ども世代の定住促進(2)
  - ・介護認定の条件緩和
- など

問16. 市内での教育環境について、不安や心配していることはありますか。

市内の教育環境について不安や心配していることとして、「大学がなく、進学のために市外へ転出しなければならない」が約17%で最も多く、次いで「学校の児童・生徒数が少なく、多様な意見に触れる機会がない」が約17%、「学校の児童・生徒数が少なく、行事や部活動に限られる」が約15%である。

	(件)
1. 大学がなく、進学のために市外へ転出しなければならない	284
2. 学校の児童・生徒数が少なく、多様な意見に触れる機会がない	271
3. 学校の児童・生徒数が少なく、行事や部活動等に限られる	236
4. 学校の統廃合により、通学に時間がかかる	224
5. 特に不安等はない	89
6. 関わりがないのでわからない	418
7. その他	43
無回答	66
合計	1,631



【その他】

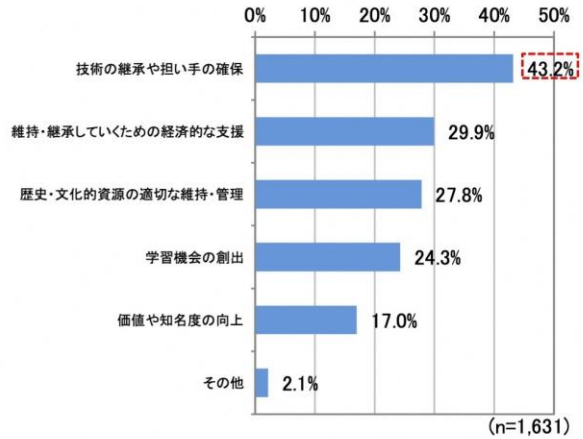
- ・いじめ問題への対応(7)
  - ・多様な分野の学習機会の低下(4)
  - ・障がいをもつ子ども等への対応(2)
  - ・進学費等経済的な不安
  - ・学力の低下(6)
  - ・廃校による地域活力の低下(5)
  - ・人間性の成長の不足(2)
- など



問17. 歴史や文化を次世代に継承するためには、何が重要だと思いますか。(2つまで○)

歴史や文化を次世代に継承するために重要なこととして、「歴史や文化財を守るための技術の継承や担い手の確保」が約43%で最も回答が多い。

	(件)
1. 歴史や文化財を守るための技術の継承や担い手の確保	704
2. 地域の歴史・文化を維持・継承していくための経済的な支援	488
3. 文化財等の歴史・文化的資源の適切な維持・管理	454
4. 学校教育や生涯学習による学習機会の創出	396
5. 文化財指定や世界遺産登録などによる価値や知名度の向上	277
6. その他	35
合計	2,354



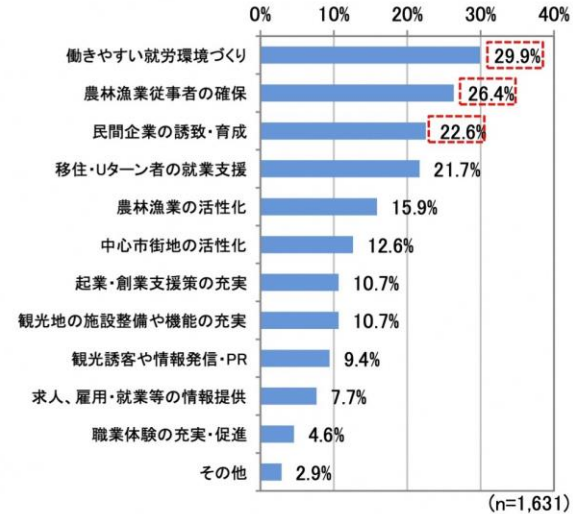
【その他】

- ・ 若者の参加促進や人口の維持(4)
- ・ 文化財の調査や管理の徹底(2)
- ・ 人材育成(2)
- ・ 新生活様式への対応
- ・ 就業環境等祭りに参加しやすい環境づくり(2)
- ・ 島内外へのPRや外部から訪れやすい環境づくり(2)
- ・ 住民の意識啓発(2)
- ・ 歴史文化よりも島民の生活を優先して欲しい(3) など

問18. 佐渡市で産業を活性化し、雇用を維持・確保していくためには、何が重要だと思いますか。(2つまで○)

産業を活性化し、雇用を維持・確保していくために重要なこととして、「仕事と生活のバランスが取れた働きやすい就労環境づくりの促進」が約30%で最も回答が多く、次いで「新規就業支援等による農林漁業従事者の確保」が約26%、「民間企業の誘致・育成」が約23%である。

	(件)
1. 仕事と生活のバランスが取れた働きやすい就労環境づくりの促進	488
2. 新規就業支援等による農林漁業従事者の確保	430
3. 民間企業の誘致・育成	368
4. 移住者・Uターン者を対象とした就業支援	354
5. 消費促進等による農林漁業の活性化	259
6. 中心市街地の活性化	206
7. 起業・創業支援策の充実	174
8. 観光地の施設整備や機能の充実	174
9. 観光誘客や情報発信・PR	154
10. 求人情報や雇用・就業支援策に関する情報提供	125
11. 職場環境や業務内容の理解を深めるための職業体験の充実・促進	75
12. その他	47
合計	2,854



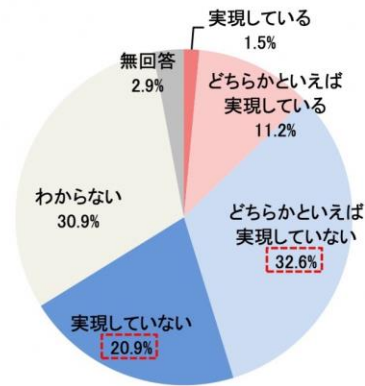
【その他】

- ・ 企業誘致や起業支援等による働く場の確保(9)
  - ・ 職場環境の向上(5)
  - ・ 情報発信の強化(3)
  - ・ 市外とのアクセス性向上(2)
  - ・ 既存の個人事業者への支援
  - ・ 個人所得の向上(6)
  - ・ 地場産業や名品の充実(4)
  - ・ 若者のUターン促進(3)
  - ・ ITの活用
- など

問19. 佐渡市では、まちづくりへの市民参加が実現していると感じますか。

まちづくりへの市民参加について、回答者の半数以上が実現していないと感じている。

	(件)
1. 実現している	24
2. どちらかといえば実現している	183
3. どちらかといえば実現していない	531
4. 実現していない	341
5. わからない	504
無回答	48
合計	1,631

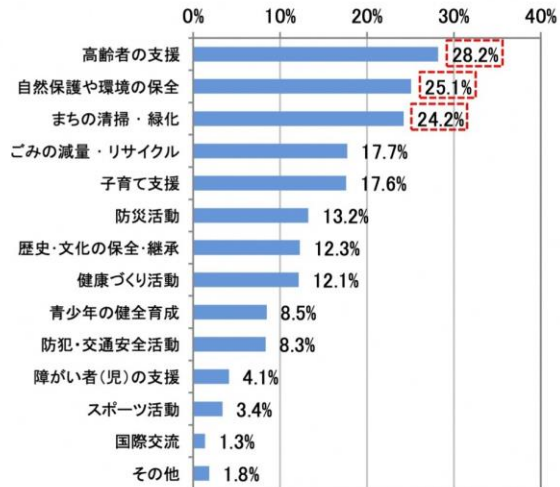


(n=1,631)

問20. 今後、市民と行政が協働でまちづくりを進めるにあたり、地域や住民ができることは何だと思えますか。(2つまで)

市民と行政が協働でまちづくりを進めるために、地域や住民ができることとして、「高齢者の支援」が約28%で最も回答が多く、次いで「自然保護や環境の保全」が約25%、「まちの清掃・緑化」が約24%である。

	(件)
1. 高齢者の支援	460
2. 自然保護や環境の保全	409
3. まちの清掃・緑化	395
4. ごみの減量・リサイクル	289
5. 子育て支援	287
6. 防災活動	216
7. 歴史・文化の保全・継承	200
8. 健康づくり活動	198
9. 青少年の健全育成	138
10. 防犯・交通安全活動	136
11. 障がい者(児)の支援	67
12. スポーツ活動	55
13. 国際交流	22
14. その他	30
合計	2,902



(n=1,631)

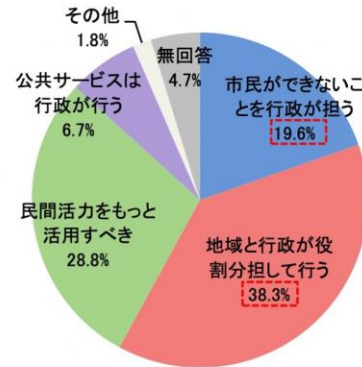
【その他】

- ・ 地域での助け合いの体制づくり(3)
- ・ 住民の意識啓発(3)
- ・ 行政の意識改革と率先した行動(2)
- ・ 不法投棄の防止や草刈り等による美化活動(3)
- ・ 店舗等の施設の誘致(3)
- ・ 全て(2) など

問21. 今後のまちづくりについて、どのようにお考えですか。

今後のまちづくりについて、「市民や地域でできることは積極的にいき、できないことを行政が担うべき」や「お互いに役割分担して行うべき」など、回答者の80%以上が、市民と行政が協働でまちづくりを行うべきと考えている。

	(件)
1. 市民や地域でできることは市民が積極的にいき、できないことを行政が担うべき	320
2. 地域でできること、行政がやるべきことをお互いに役割分担して行うべき	625
3. 公共サービスは行政が行うべきだが、民間活力をもっと活用すべき	470
4. すべての公共サービスは行政が行うべき	110
5. その他	29
無回答	77
合計	1,631



(n=1,631)

【その他】

- ・高齢化や人口減少等地域の現状に合わせた対応が必要(6)
- ・住民の意見を取り入れ、行政主導で行う。(5)
- ・島民は佐渡の良さを理解して発信する など

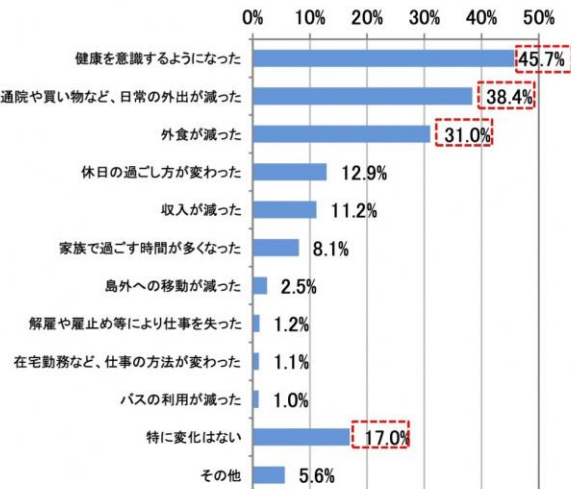
5. 新型コロナウイルスによる生活の変化について、おたずねします

問22. 新型コロナウイルス感染症の拡大により、あなたの行動や活動、意識に変化がありましたか。(2つまで)

新型コロナウイルス感染症の拡大による行動や意識の変化として、約46%が「健康を意識するようになった」と回答している。また、「通院や買い物など、日常の外出が減った」が約38%、「外食が減った」が約31%と、外出機会が減った方が多い。一方で、「特に変化はない」と回答した方は、約17%である。

	(件)
1. 健康を意識するようになった	746
2. 通院や買い物など、日常の外出が減った	626
3. 外食が減った	506
4. 休日の過ごし方が変わった	211
5. 収入が減った	182
6. 家族で過ごす時間が多くなった	132
7. 島外への移動が減った※	41
8. 解雇や雇止め等により仕事を失った	19
9. 在宅勤務など、仕事の方法が変わった	18
10. バスの利用が減った	17
11. 特に変化はない	277
12. その他	51
合計	2,826

※その他意見で特に多く挙げられた項目を追加



(n=1,631)

【その他】

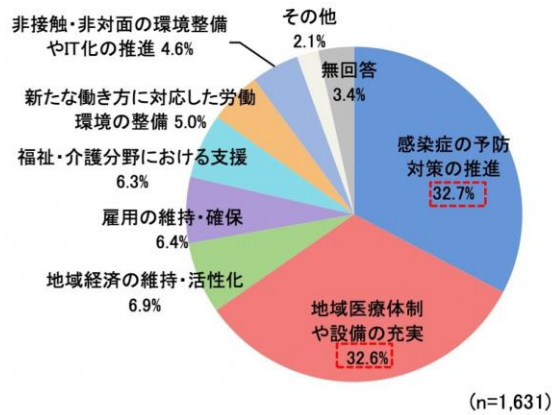
- ・家族や友人との交流が減った(14)
- ・自分や他人の行動について意識するようになった(4)
- ・不安になった(3)
- ・面倒な行事等がなくなった(2)
- ・マスクや手洗いなどの衛生への意識が強くなった(8)
- ・休業など仕事に影響がでた(3)
- ・情報収集を意識して行うようになった(2) など



問23. 新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、今後市が様々な施策を進めるうえで、どのような点を重視すべきだと思いますか。

新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、今後重視すべき点として、「感染症の予防対策の推進」が32.7%で最も回答が多く、次いで「地域医療体制や設備の充実」が約32.6%である。

	(件)
1. 感染症の予防対策の推進	533
2. 地域医療体制や設備の充実	532
3. 地域経済の維持・活性化	113
4. 雇用の維持・確保	104
5. 福祉・介護分野における支援	102
6. 新たな働き方に対応した労働環境の整備	82
7. 非接触・非対面の環境整備やIT化の推進	75
8. その他	34
無回答	56
合計	1,631



【その他】

- ・ 情報提供(7)
- ・ 移動規制(4)
- ・ 島外から来る人へのPCR検査の実施(3)
- ・ 島外医療機関への協力要請

- ・ 感染者への配慮(7)
- ・ 島内でのPCR検査の実施(3)
- ・ 収入が減った人への支援

など

## 6. 今後のまちづくりについて

問24. これからのまちづくりについて、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

これからのまちづくりについて、440名の方から意見が述べられた。  
最も意見が多い分野は、行政の組織改革・財政改革や協働によるまちづくりの推進等の「市民活動・行政活動」で、約28%の方が意見を述べている。次いで、約27%の方が公園・街並みの整備やバス路線の整備等の「生活・環境・移住定住」に関する意見を述べている。

分野	分類	件数
生活・環境・ 移住定住 (27.0%)	道路、河川、港湾などの改修・整備	12
	バス路線の整備	12
	佐渡航路や佐渡空港の整備	11
	佐渡汽船航路運賃の低廉化	4
	佐渡の豊かな自然景観の保全	11
	再生可能エネルギーの推進	5
	防災対策の強化	9
	交通安全対策の推進	3
	防犯対策の推進	3
	公園や街並みの整備	24
	空家等の管理や有効活用	11
	移住・定住の促進	9
	その他	15
子育て・健康・ 医療・福祉 (10.9%)	教育・子育て支援の充実	9
	延長保育や病後児保育の充実	1
	少子化対策の推進	1
	男女の出会いの場の創出	5
	健康づくり・保健・医療の充実	14
	高齢者・障がい者福祉の充実	20
	その他	2
教育・文化 (5.4%)	佐渡金銀山の世界遺産登録推進	8
	小中学生の学力の向上	3
	小中学校の統合による適正配置	2
	生涯学習の場の確保	1
	文化・芸術の振興	7
	スポーツの振興	4
	その他	1
産業 (13.6%)	観光産業の振興	11
	農林水産業の振興	5
	6次産業化・地産地消の推進	2
	佐渡製品のブランド化	1
	商工業の振興	13
	雇用・就業の場の確保	26
	労働者の人材育成や確保	2
	その他	5
市民活動 ・ 行政活動 (27.6%)	集落活動への支援	13
	協働によるまちづくりの推進	29
	行政サービスの充実	27
	行政の組織改革・財政改革	30
	公共施設の集約化・適正配置	12
	人権尊重や男女平等の推進	2
	その他	19
その他 (15.5%)	まちづくり全般	31
	コロナウイルス関連	22
	その他	21
	計	478
	回答者数	440

※同一回答者の意見で複数の分類項目に当てはまる場合は、該当項目全てでカウントしている。

## 第2節

# 事業者アンケート調査結果



## 佐渡市総合計画に関する 事業所アンケート調査 結果

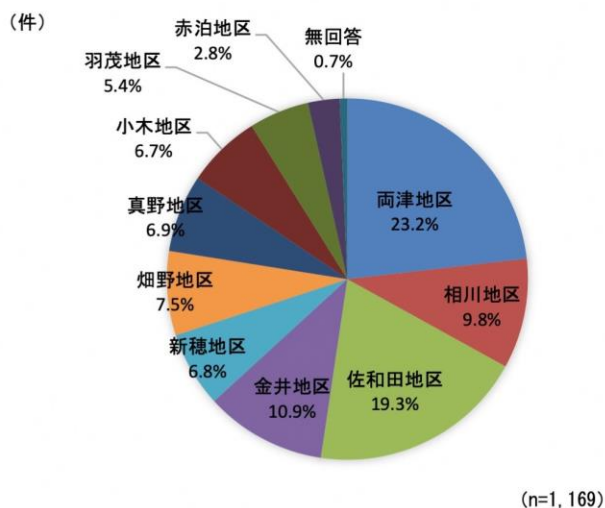
### ■ アンケート実施状況

調査期間：	令和3年1月15日～令和3年2月4日（21日間）
対象者：	市内の全ての事業所（令和3年1月5日現在、宗教法人等を除く）
実施方法：	郵送による配布、回収
配布数：	2,719 通
回答数：	1,169 通
回収率：	43.0 %

### 1. 事業所について、おたずねします

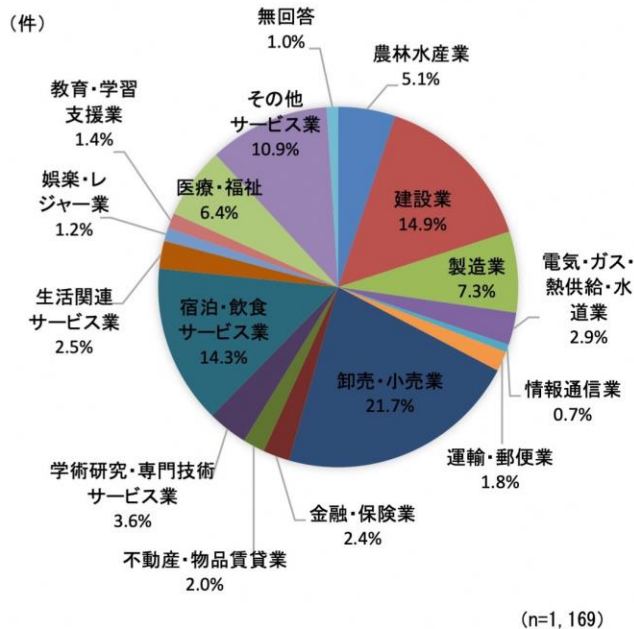
#### 問1. 事業所の所在地（1つだけ○）

1. 両津地区	271
2. 相川地区	115
3. 佐和田地区	226
4. 金井地区	127
5. 新穂地区	79
6. 畑野地区	88
7. 真野地区	81
8. 小木地区	78
9. 羽茂地区	63
10. 赤泊地区	33
無回答	8
計	1,169



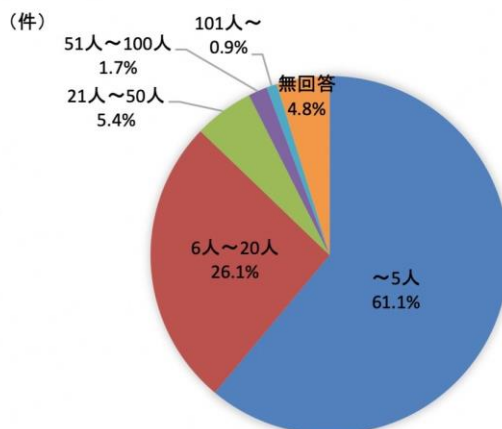
#### 問2. 事業所の業種（代表するものの番号に1つだけ○）

1. 農林水産業	60
2. 建設業	174
3. 製造業	85
4. 電気・ガス・熱供給・水道業	34
5. 情報通信業	8
6. 運輸・郵便業	21
7. 卸売・小売業	254
8. 金融・保険業	28
9. 不動産・物品賃貸業	23
10. 学術研究・専門技術サービス業	42
11. 宿泊・飲食サービス業	167
12. 生活関連サービス業	29
13. 娯楽・レジャー業	14
14. 教育・学習支援業	16
15. 医療・福祉	75
16. その他サービス業	127
無回答	12
計	1,169



問3. 従業員の人数（空欄に数字を記入）

1. ~5人	714
2. 6人~20人	305
3. 21人~50人	63
4. 51人~100人	20
5. 101人~	11
無回答	56
計	1,169



(n=1,169)

○女性従業員、女性管理職の割合

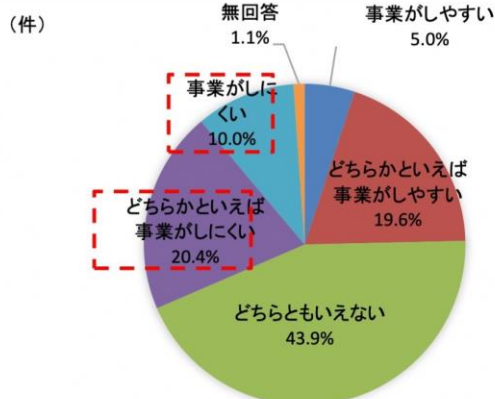
区分	人数	割合
従業員の人数	10,641	100.0%
うち女性の従業員	4,946	46.5%
うち女性の管理職	444	4.2%

2. 事業展開について、おたずねします

問4. 佐渡市は事業がしやすい市だと思いますか。（1つだけ○）

佐渡市について、30%以上の事業所が事業がしにくいと回答している。

1. 事業がしやすい	59
2. どちらかといえば事業がしやすい	229
3. どちらともいえない	513
4. どちらかといえば事業がしにくい	238
5. 事業がしにくい	117
無回答	13
計	1,169

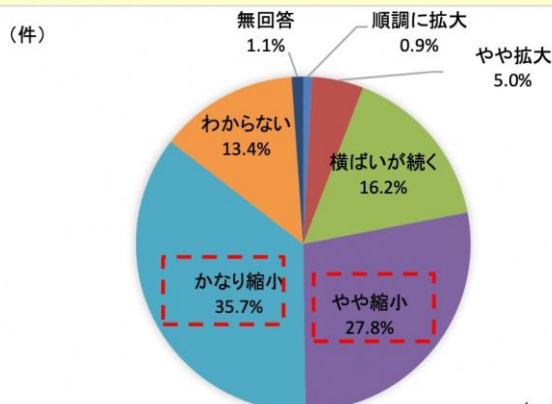


(n=1,169)

問5. 今後（5年先程度を見通した場合）の業績の展望は、どうなると思いますか。（1つだけ○）

今後の業績の展望について、約64%の事業所が縮小すると回答している。

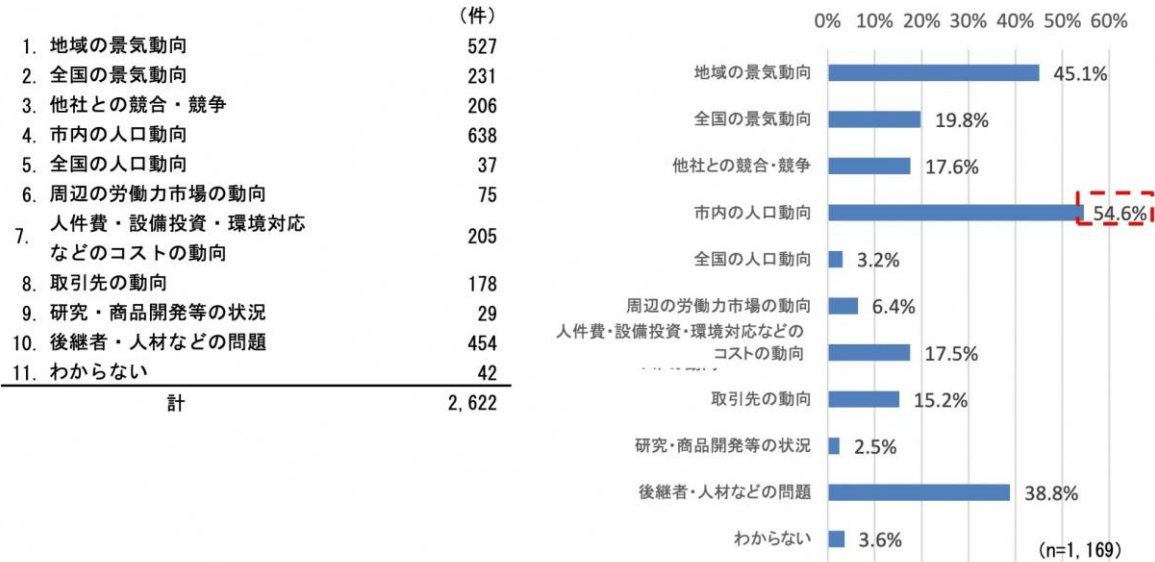
1. 順調に拡大	10
2. やや拡大	58
3. 横ばいが続く	189
4. やや縮小	325
5. かなり縮小	417
6. わからない	157
無回答	13
計	1,169



(n=1,169)

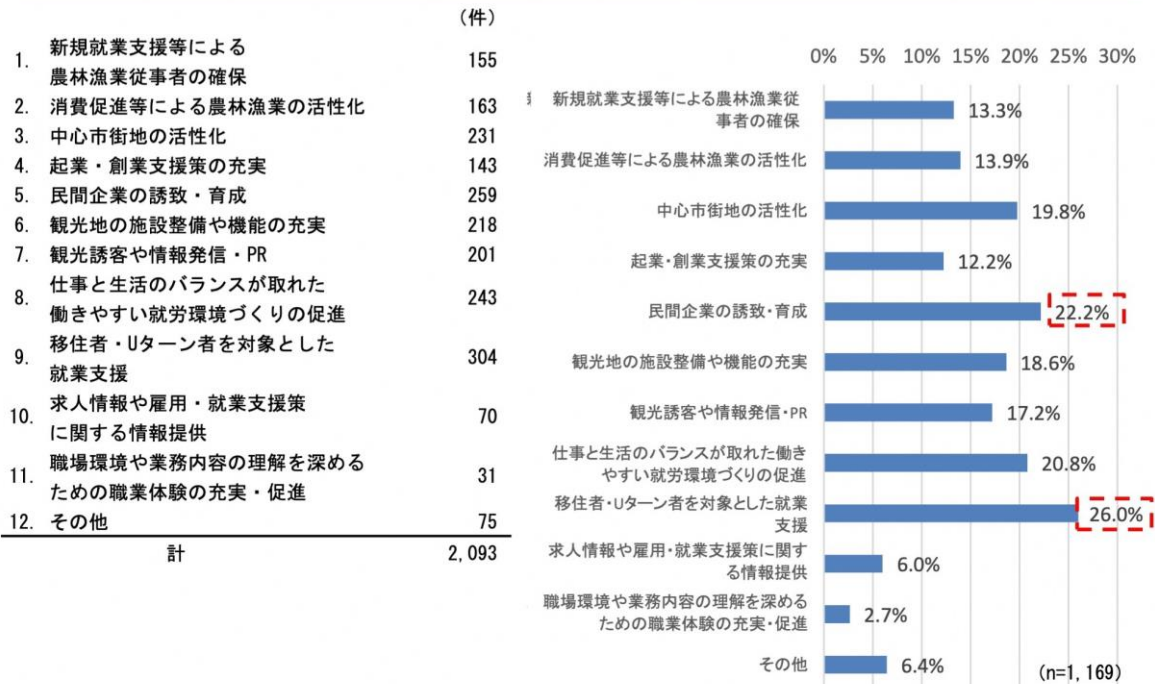
問5-2. その理由は何ですか（3つまで○）

今後の業績展望の理由について、半数以上の事業所が「市内の人口動向」を理由としている。



問6. 佐渡市で産業を活性化し、雇用を維持・確保していくためには、何が重要だと思いますか。（2つまで○）

産業の活性化、雇用の維持・確保に重要な取り組みとしては、「移住者・Uターン者を対象とした就業支援」約26%で最も多く、次いで「民間企業の誘致・育成」が約22%である。



【その他】

- ・とにかく人口を増やして市場規模を広げないとどうにもならない。
- ・若い人の佐渡離れをなくすような支援策、例えば休暇、賃金、出産、育児などの支援（佐渡は病後児保育しかない）子供の病児保育などの充実（新潟市を例に）
- ・リピーターが増加する魅力のある観光資源の整備
- ・佐渡市の事業は島外へお金を出不さない明文化、地産地消、島内の人々が遊んで島外の人が島の仕事をしている
- ・廃屋や空家の再活用

など

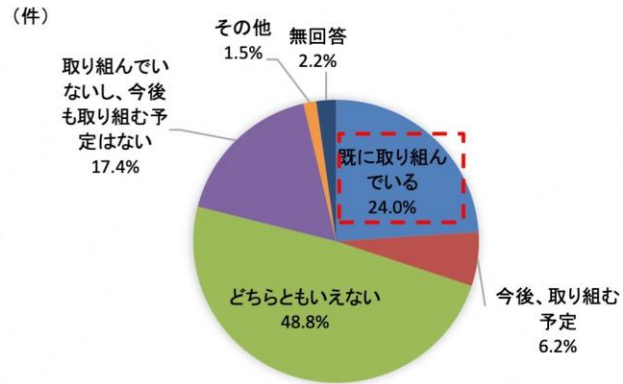


### 3. ワーク・ライフ・バランスの取組について、おたずねします

問7. 貴事業所では、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」の推進に取り組んでいますか。（1つだけ○）

ワーク・ライフ・バランスの推進について、約24%の事業所が「既に取り組んでいる」と回答している。

	(件)
1. 既に取り組んでいる	280
2. 今後、取り組む予定	72
3. どちらともいえない	571
4. 取り組んでいないし、 今後もし取り組む予定はない	203
5. その他	17
6. 無回答	26
計	1,169



【その他】

- ・従業員の生活に重きをおいて働いてもらっている
- ・経営が厳しく取り組めない
- ・業態が一日中拘束していない

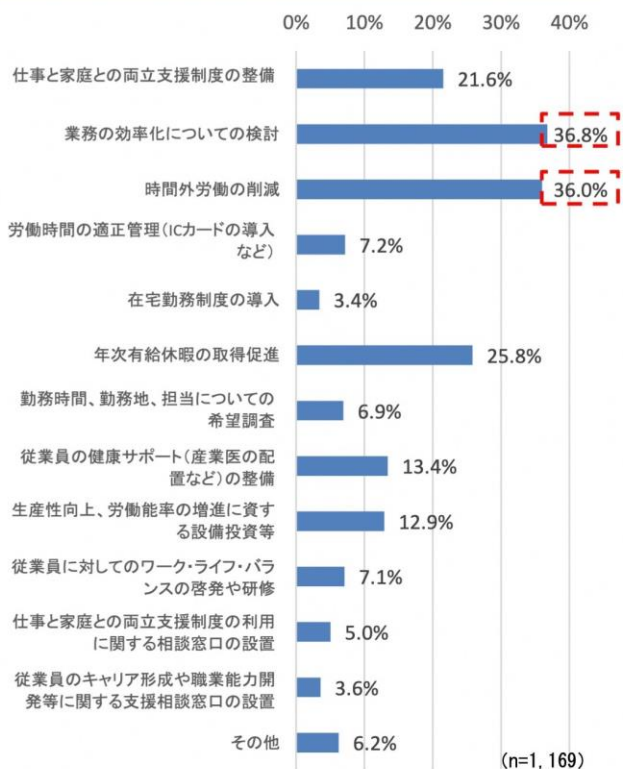
など

(n=1,169)

問8. 貴事業所でワーク・ライフ・バランスを推進するために、どのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

「業務の効率化についての検討」が約37%で最も多く、次いで「時間外労働の削減」が約36%である。

	(件)
1. 仕事と家庭との両立支援制度の整備	252
2. 業務の効率化についての検討	430
3. 時間外労働の削減	421
4. 労働時間の適正管理 (ICカードの導入など)	84
5. 在宅勤務制度の導入	40
6. 年次有給休暇の取得促進	302
7. 勤務時間、勤務地、担当についての 希望調査	81
8. 従業員の健康サポート (産業医の配置など)の整備	157
9. 生産性向上、労働能率の増進 に資する設備投資等	151
10. 従業員に対してのワーク・ライフ・ バランスの啓発や研修	83
11. 仕事と家庭との両立支援制度の利用 に関する相談窓口の設置	59
12. 従業員のキャリア形成や職業能力 開発等に関する支援相談窓口の設置	42
13. その他	73
計	2,175



【その他】

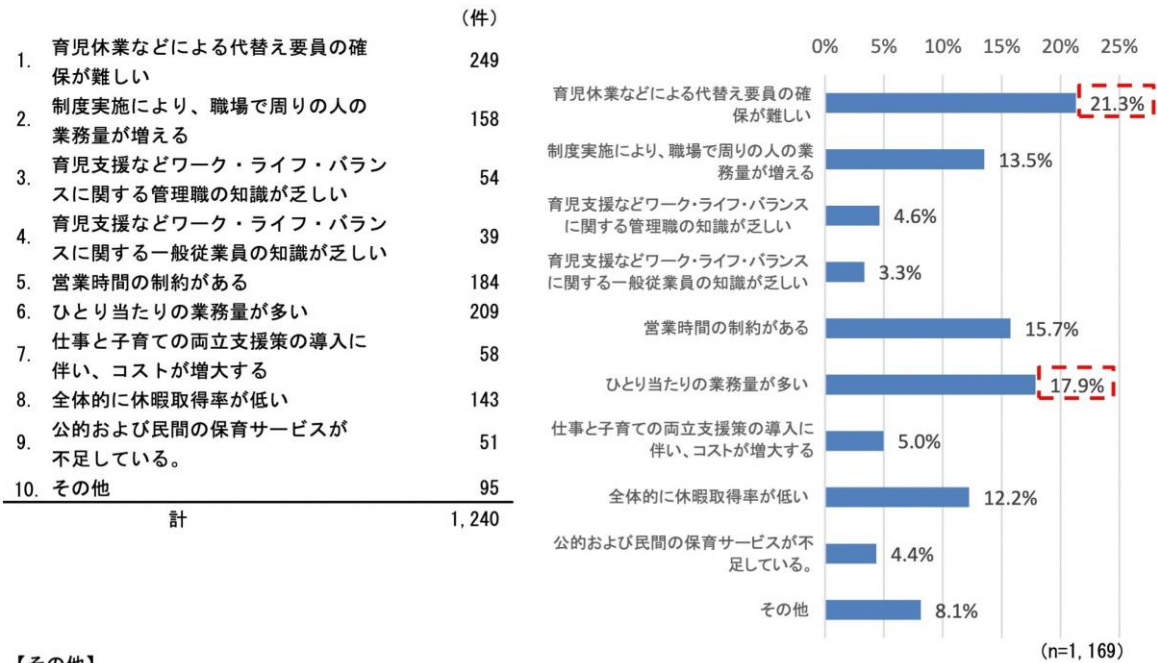
- ・毎週水曜日、給料日は、ノー残業デー
- ・佐渡の土地を生かしたリモートワーク環境の整備、拡充
- ・休暇申し出を容易にする
- ・ワークシェア
- ・働き手の増強

など

(n=1,169)

問9. 貴事業所でワーク・ライフ・バランスを推進する上で、どのような問題点がありますか。  
(2つまで○)

「育児休業などによる代替要員の確保が難しい」が約21%で最も多く、次いで「ひとり当たりの業務量が多い」が約17.9%である。



【その他】

- ・請負金額の低下による余裕の不足
- ・飲食業がバランス休業取るとバッシングを受ける
- ・休暇取得の個人差
- ・現場の動行によって左右される部分が多い
- ・コロナ禍中のため営業が安定せず

など

#### 4 佐渡市の取組に対する満足度と重要度について、おたずねします

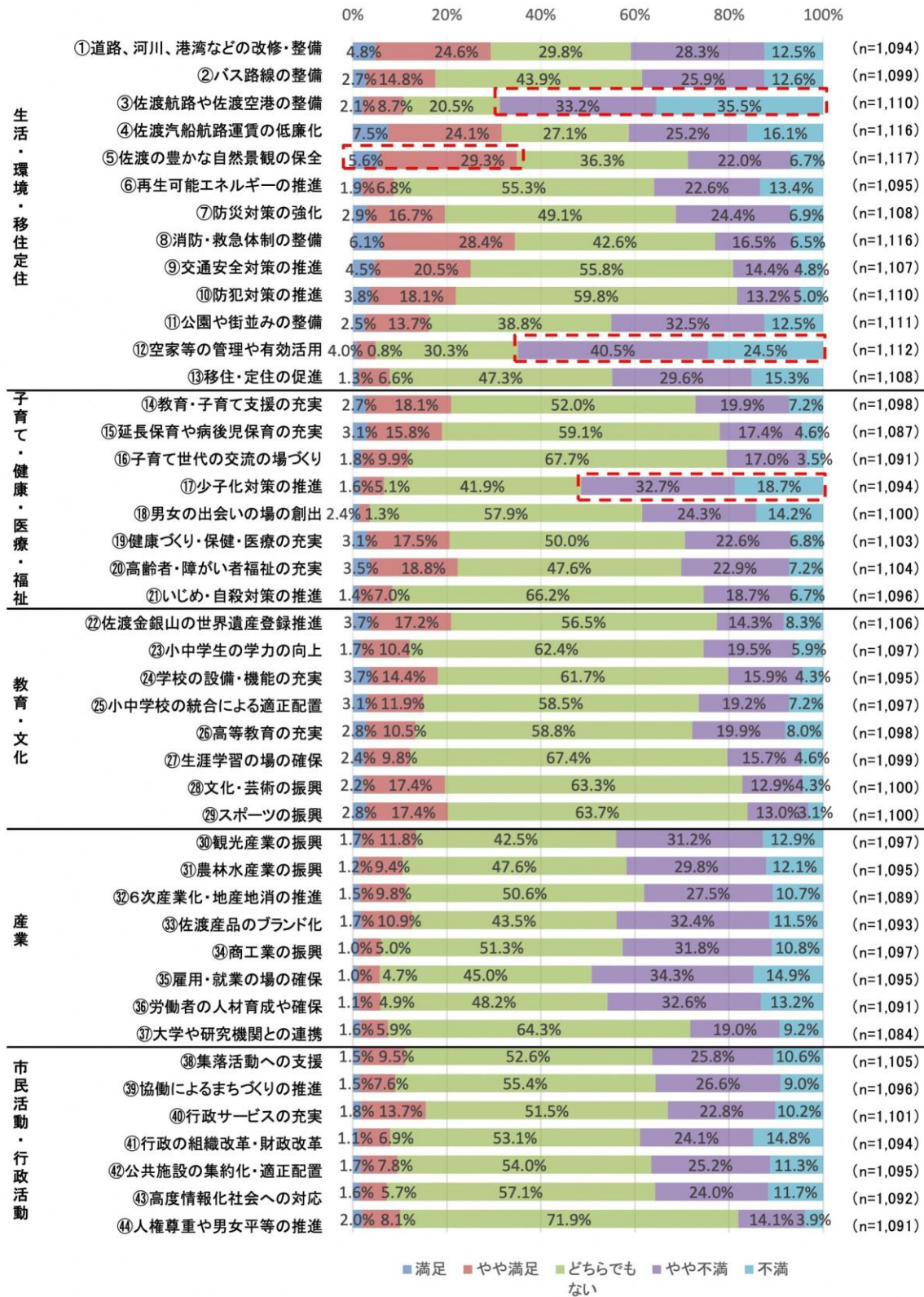
問10 以下に示す各項目の「現状の満足度」と「今後の重要度」についてお答えください。  
 (①～④のすべての項目について、それぞれ1つだけ〇)

佐渡市の取り組みのうち、「佐渡の豊かな自然景観の保全」の満足度が約35%で最も高い。一方で、「佐渡航路や佐渡空港など公共交通の整備」「空家等の管理や有効活用」「少子化対策の推進」の取り組みについては、半数以上の事業所が不満を感じている。  
 また、今後の重要性については、「佐渡航路や佐渡空港の整備」が約85%で最も高く、次いで「佐渡汽船航路運賃の低廉化」が約81%、「空家等の管理や有効活用」が約80%と続く。

#### 「現状の満足度」

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	計
①道路、河川、港湾などのインフラ施設の改修・整備	52	269	326	310	137	1,094
②バス路線など公共交通網の整備	30	163	483	285	138	1,099
③佐渡航路や佐渡空港など公共交通の整備	23	97	227	369	394	1,110
④佐渡汽船航路運賃の低廉化	84	269	302	281	180	1,116
⑤佐渡の豊かな自然景観の保全	63	327	406	246	75	1,117
⑥再生可能エネルギーの推進	21	75	605	247	147	1,095
⑦防災対策の強化	32	185	544	270	77	1,108
⑧消防・救急体制の整備	68	317	475	184	72	1,116
⑨交通安全対策の推進	50	227	618	159	53	1,107
⑩防犯対策の推進	42	201	664	147	56	1,110
⑪公園や街並みの整備	28	152	431	361	139	1,111
⑫空家等の管理や有効活用	9	44	337	450	272	1,112
⑬移住・定住の促進	14	73	524	328	169	1,108
⑭教育・子育て支援の充実	30	199	571	219	79	1,098
⑮延長保育や病後児保育の充実	34	172	642	189	50	1,087
⑯子育て世代の交流の場づくり	20	108	739	186	38	1,091
⑰少子化対策の推進	17	56	458	358	205	1,094
⑱男女の出会いの場の創出	14	26	637	267	156	1,100
⑲健康づくり・保健・医療の充実	34	193	552	249	75	1,103
⑳高齢者・障がい者福祉の充実	39	207	525	253	80	1,104
㉑いじめ・自殺対策の推進	15	77	726	205	73	1,096
㉒佐渡金銀山の世界遺産登録推進	41	190	625	158	92	1,106
㉓小中学生の学力の向上	19	114	685	214	65	1,097
㉔学校の設備・機能の充実	40	158	676	174	47	1,095
㉕小中学校の統合による適正配置	34	131	642	211	79	1,097
㉖高等教育の充実	31	115	646	218	88	1,098
㉗生涯学習の場の確保	26	108	741	173	51	1,099
㉘文化・芸術の振興	24	191	696	142	47	1,100
㉙スポーツの振興	31	191	701	143	34	1,100
㉚観光産業の振興	19	129	466	342	141	1,097
㉛農林水産業の振興	13	103	521	326	132	1,095
㉜6次産業化・地産地消の推進	16	107	551	299	116	1,089
㉝佐渡産品のブランド化	19	119	475	354	126	1,093
㉞商工業の振興	11	55	563	349	119	1,097
㉟雇用・就業の場の確保(起業・二次創業含む)	11	52	493	376	163	1,095
㊱労働者の人材育成や確保	12	53	526	356	144	1,091
㊲大学や研究機関との連携	17	64	697	206	100	1,084
㊳集落活動への支援	17	105	581	285	117	1,105
㊴市民と行政の協働によるまちづくりの推進	16	83	607	291	99	1,096
㊵行政サービスの充実	20	151	567	251	112	1,101
㊶行政の組織改革・財政改革	12	75	581	264	162	1,094
㊷公共施設の集約化・適正配置	19	85	591	276	124	1,095
㊸高度情報化社会への対応	17	62	623	262	128	1,092
㊹人権尊重や男女平等の推進	22	88	784	154	43	1,091





「今後の重要度」

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	計
①道路、河川、港湾などのインフラ施設の改修・整備	439	405	148	41	11	1,044
②バス路線など公共交通網の整備	280	393	286	72	16	1,047
③佐渡航路や佐渡空港など公共交通の整備	656	257	120	20	15	1,068
④佐渡汽船航路運賃の低廉化	543	328	174	23	4	1,072
⑤佐渡の豊かな自然景観の保全	396	426	219	21	11	1,073
⑥再生可能エネルギーの推進	342	349	313	30	21	1,055
⑦防災対策の強化	409	398	243	15	6	1,071
⑧消防・救急体制の整備	452	380	222	13	8	1,075
⑨交通安全対策の推進	259	397	382	21	12	1,071
⑩防犯対策の推進	262	404	374	24	8	1,072
⑪公園や街並みの整備	236	440	337	46	14	1,073
⑫空家等の管理や有効活用	385	470	184	23	12	1,074
⑬移住・定住の促進	421	382	249	15	5	1,072
子育て・健康・医療・福祉						
⑭教育・子育て支援の充実	414	385	253	9	1	1,062
⑮延長保育や病後児保育の充実	313	409	319	9	5	1,055
⑯子育て世代の交流の場づくり	219	356	444	27	9	1,055
⑰少子化対策の推進	521	323	192	11	9	1,056
⑱男女の出会いの場の創出	307	326	365	33	30	1,061
⑲健康づくり・保健・医療の充実	384	396	264	12	8	1,064
⑳高齢者・障がい者福祉の充実	384	421	240	18	8	1,071
㉑いじめ・自殺対策の推進	337	356	346	11	9	1,059
教育・文化						
㉒佐渡金銀山の世界遺産登録推進	255	273	332	95	118	1,073
㉓小中学生の学力の向上	320	411	312	17	6	1,066
㉔学校の設備・機能の充実	235	385	410	23	10	1,063
㉕小中学校の統合による適正配置	240	365	397	40	23	1,065
㉖高等教育の充実	280	399	356	16	16	1,067
㉗生涯学習の場の確保	161	358	491	34	22	1,066
㉘文化・芸術の振興	163	383	458	37	23	1,064
㉙スポーツの振興	143	363	496	33	27	1,062
産業						
㉚観光産業の振興	427	413	189	19	15	1,063
㉛農林水産業の振興	421	409	220	6	7	1,063
㉜6次産業化・地産地消の推進	372	418	246	14	8	1,058
㉝佐渡産品のブランド化	451	395	196	16	10	1,068
㉞商工業の振興	360	425	265	8	9	1,067
㉟雇用・就業の場の確保(起業・二次創業含む)	459	388	207	9	4	1,067
㊱労働者の人材育成や確保	408	418	222	8	6	1,062
㊲大学や研究機関との連携	236	357	410	36	16	1,055
㊳集落活動への支援	262	423	340	30	14	1,069
市民活動・行政活動						
㊴市民と行政の協働によるまちづくりの推進	277	404	350	23	11	1,065
㊵行政サービスの充実	326	408	303	18	7	1,062
㊶行政の組織改革・財政改革	368	342	318	16	10	1,054
㊷公共施設の集約化・適正配置	266	392	360	27	13	1,058
㊸高度情報化社会への対応	324	384	329	13	8	1,058
㊹人権尊重や男女平等の推進	205	301	495	37	20	1,058

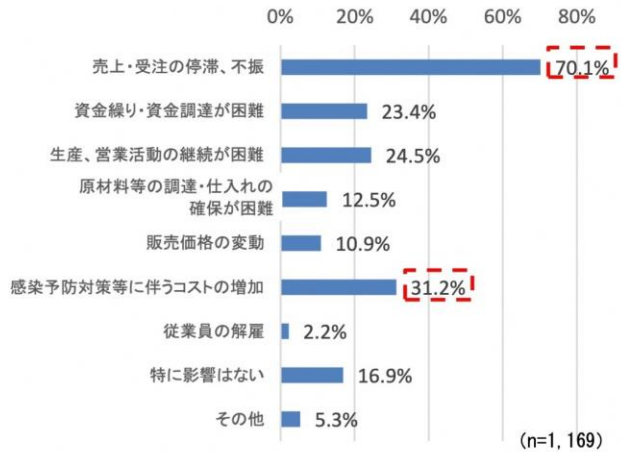


## 5. 新型コロナウイルスによる影響・支援について、おたずねします

問11. 新型コロナウイルス感染症により、どのような影響を受けましたか。  
(あてはまるものすべてに○)

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響としては、「売上・受注の停滞、不振」が約70%で回答が最も多い。次いで、「感染予防対策等に伴うコストの増加」が約31%である。

	(件)
1. 売上・受注の停滞、不振	820
2. 資金繰り・資金調達が困難	273
3. 生産、営業活動の継続が困難	286
4. 原材料等の調達・仕入れの確保が困難	146
5. 販売価格の変動	127
6. 感染予防対策等に伴うコストの増加	365
7. 従業員の解雇	26
8. 特に影響はない	197
9. その他	62
計	2,302



### 【その他】

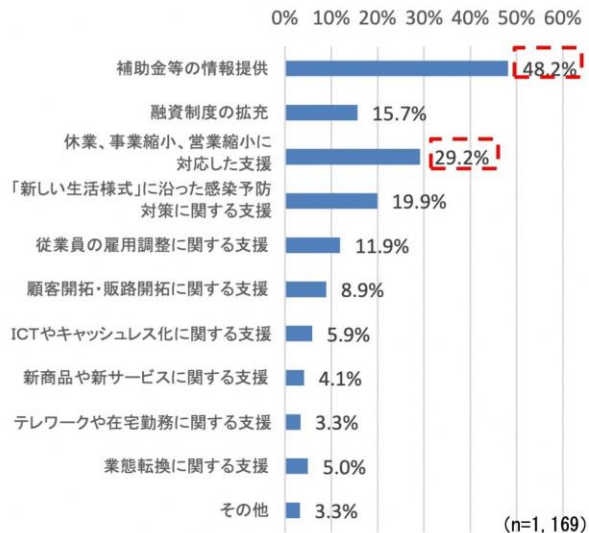
- ・利用客数の減少
- ・会議等の中止、延期
- ・長期滞在の受け売りに歯止めがかかった
- ・情報交換の場が減少し共有が図れない
- ・取引先の低迷による取引状況減少
- ・資格取得、教育、講習受講の中止、延期
- ・事業イベントの縮小・中止、感染予防対策等に伴う業務量増加

など

問12. 市にどのような支援を希望しますか。(2つまで○)

「補助金等の情報提供」が約48%で最も多く、次いで「休業、事業縮小、営業縮小に対応した支援」が約29%である。

	(件)
1. 補助金等の情報提供	563
2. 融資制度の拡充	183
3. 休業、事業縮小、営業縮小に対応した支援	341
4. 「新しい生活様式」に沿った感染予防対策に関する支援	233
5. 従業員の雇用調整に関する支援	139
6. 顧客開拓・販路開拓に関する支援	104
7. ICTやキャッシュレス化に関する支援	69
8. 新商品や新サービスに関する支援	48
9. テレワークや在宅勤務に関する支援	39
10. 業態転換に関する支援	58
11. その他	38
計	1,815



### 【その他】

- ・企業誘致
- ・市内業者優先発注。市内にお金が廻ることが優先
- ・デジタル化・IT化の支援→勉強会でも可です。メディアの言うDXは具体例が少なくわかりにくい。
- ・事業継続するための支援
- ・大工などに転職できるよう教育支援をして育ててほしい
- ・地域における拠点施設整備、使いがっての良さを重視
- ・集落の少子高齢化の解消の取組み
- ・集落で活動している人、活動への支援

など

## 第3節

# 子育て世代アンケート調査結果

# 子育て世代アンケート 結果

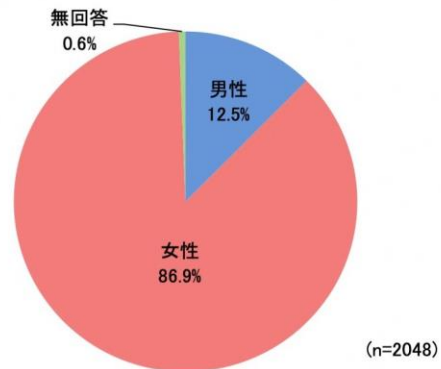
## ■アンケート実施状況

調査期間：令和3年5月12日～令和3年5月25日（14日間） ※締切遅延分も集計  
 対象者：市内の小学校、幼稚園、保育園を利用している保護者  
 実施方法：小学校、幼稚園、保育園、子育て支援センターを通じて配布し、インターネット及び紙面で回答  
 配布数： 2,757 通  
 回答数： 2,048 通  
 回収率： 74.3 %

## 1. あなたのことについて、おたずねします

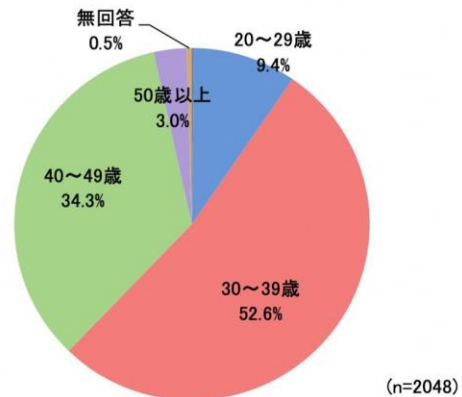
### 問1 あなたの性別

	(件)
1. 男性	255
2. 女性	1,780
無回答	13
計	2,048



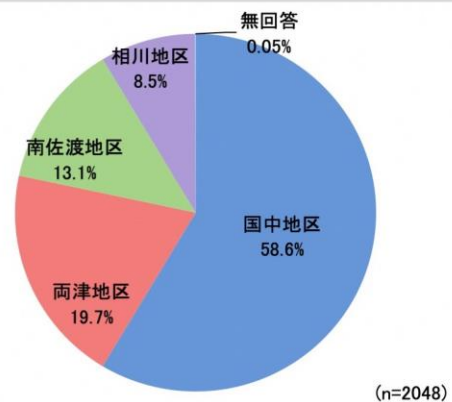
### 問2 あなたの年齢

	(件)
1. 19歳以下	4
2. 20～29歳	192
3. 30～39歳	1,078
4. 40～49歳	703
5. 50歳以上	61
無回答	10
計	2,048



### 問3 あなたのお住まいの地区

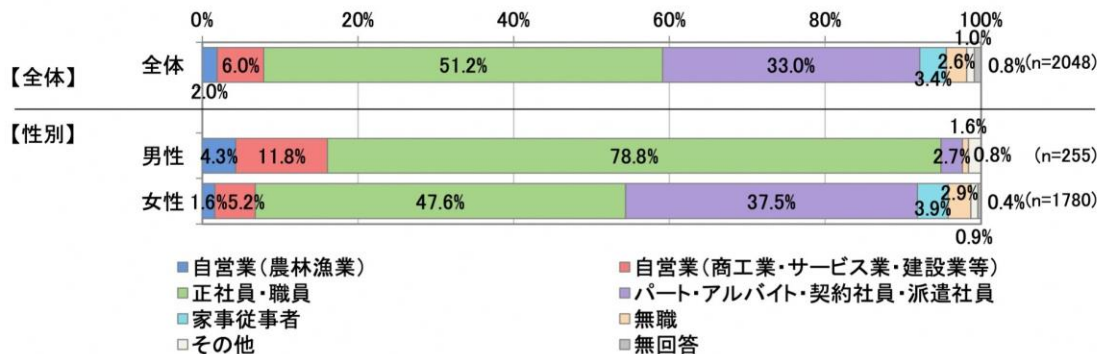
	(件)
1. 国中地区(佐和田・金井・新穂・畑野・真野地区)	1,200
2. 両津地区	404
3. 南佐渡地区(小木・赤泊・羽茂地区)	268
4. 相川地区	175
無回答	1
計	2,048



問4 あなたと配偶者の雇用形態

■あなたの雇用形態

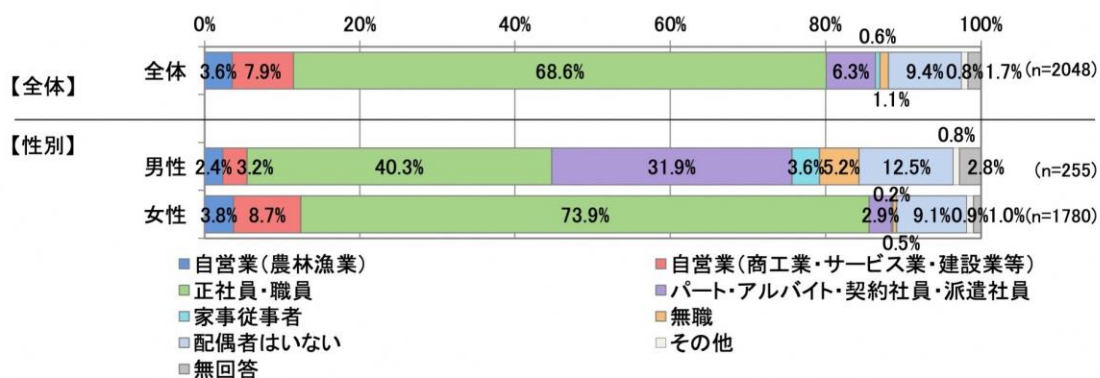
	(件)
1. 自営業(農林漁業)	40
2. 自営業(商工業・サービス業・建設業等)	122
3. 正社員・職員	1,049
4. パート・アルバイト・契約社員・派遣社員	676
5. 家事従事者	70
6. 無職	54
7. その他	20
無回答	17
計	2,048



■配偶者の雇用形態

	(件)
1. 自営業(農林漁業)	73
2. 自営業(商工業・サービス業・建設業等)	162
3. 正社員・職員	1,405
4. パート・アルバイト・契約社員・派遣社員	130
5. 家事従事者	12
6. 無職	22
7. 配偶者はいない	193
8. その他	17
無回答	34
計	2,048

その他
・学生
・僧侶
・経営者



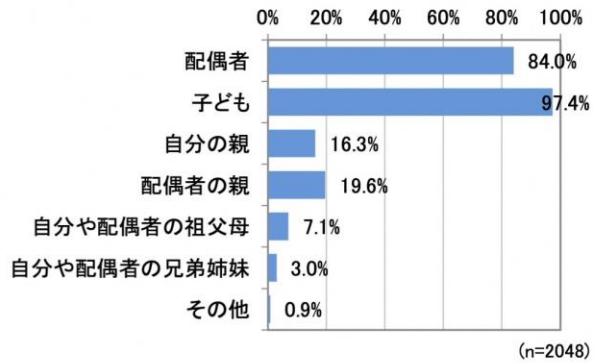


問5 同居しているご家族 (該当するもの全て〇)

	(件)
1. 配偶者	1,721
2. 子ども	1,994
3. 自分の親	333
4. 配偶者の親	402
5. 自分や配偶者の祖父母	145
6. 自分や配偶者の兄弟姉妹	62
7. その他	18

その他

- ・ 叔父・叔母(7)
- ・ 祖々父母(2)
- ・ 孫(2)
- ・ 甥、姪
- ・ 婚約者

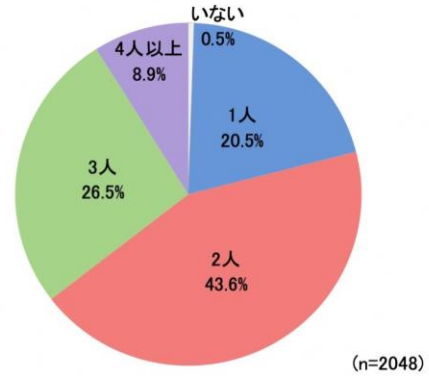


2. 子どもや子育てのことについておたずねします。

問6 お子さんの年齢・人数を教えてください。

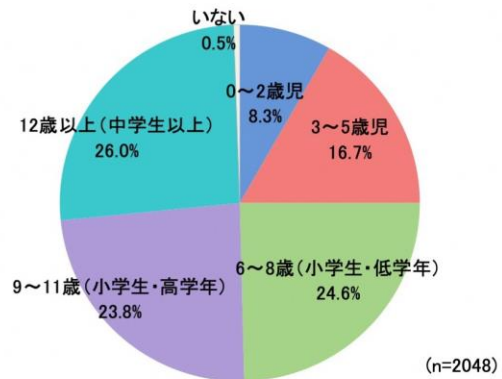
■子どもの人数

	(件)
1. いない	11
2. 1人	419
3. 2人	892
4. 3人	543
5. 4人以上	183
計	2,048



■第一子の年齢

	(件)
1. 0～2歳児	169
2. 3～5歳児	343
3. 6～8歳(小学生・低学年)	504
4. 9～11歳(小学生・高学年)	488
5. 12歳以上(中学生以上)	533
6. いない	11
計	2,048

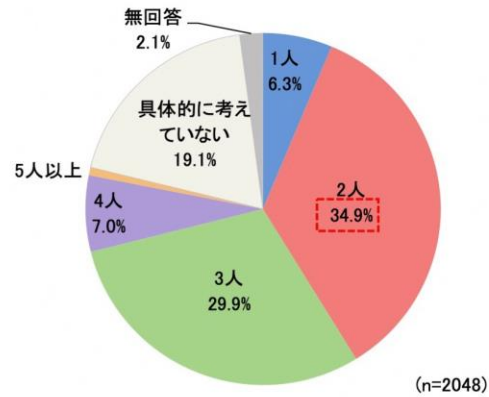


問7 将来も含めて実際望むお子さんの人数と、実際とは関係なく理想とするお子さんの人数はそれぞれ何人ですか。

子育て世代の方が実際に望む子どもの人数は、「2人（約35%）」が最も多い。一方で、理想とする子どもの人数は、「3人（約46%）」が最も多い。  
理想よりも実際に望む子どもの人数が少ない人は、平均約1.1人理想よりも少ない。

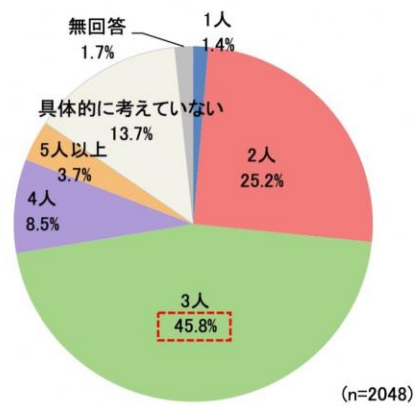
■実際に望む子どもの人数

	(件)
1. 1人	129
2. 2人	715
3. 3人	612
4. 4人	143
5. 5人以上	15
6. 具体的に考えていない	391
無回答	43
計	2,048



■理想の子どもの人数

	(件)
1. 1人	28
2. 2人	517
3. 3人	937
4. 4人	175
5. 5人以上	76
6. 具体的に考えていない	281
無回答	34
計	2,048

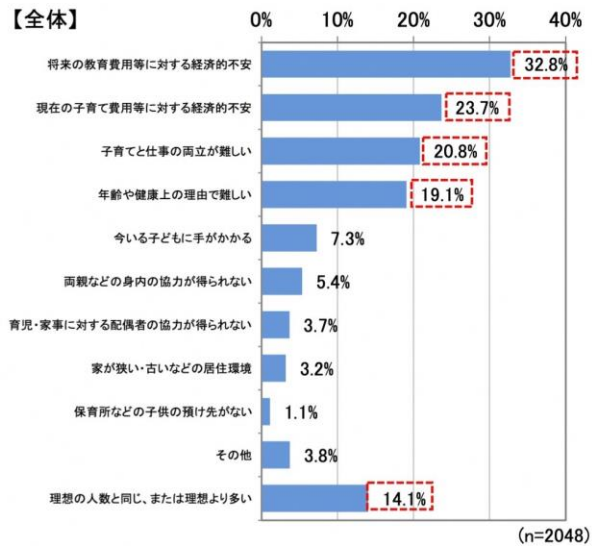


問8 実際に望んでいるお子さんの人数が理想より少ない場合、その理由は何ですか。  
(3つまで)

実際に望んでいる子どもの人数が理想よりも少ない理由としては、「将来の教育費用等に対する経済的不安(約33%)」が最も多く、次いで「現在の子育て費用等に対する経済的不安(約24%)」、「子育てと仕事の両立が難しい(約21%)」、「年齢や健康上の理由で難しい(約19%)」となっている。

また、「理想の人数と同じ、または理想より多い」と回答した方は約14%である。  
第一子の年齢別にみると、第一子が3~8歳である方は「子育てと仕事の両立が難しい」、第一子が9~11歳である方は「年齢や健康上の理由で難しい」の割合が比較的高い。

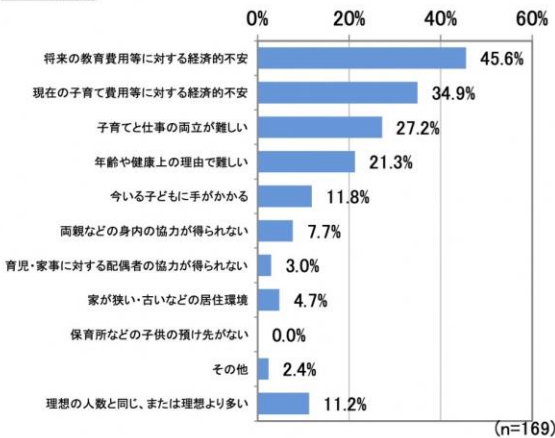
理由	(件)
1. 将来の教育費用等に対する経済的不安	671
2. 現在の子育て費用等に対する経済的不安	485
3. 子育てと仕事の両立が難しい	427
4. 年齢や健康上の理由で難しい	391
5. 今いる子どもに手がかかる	149
6. 両親などの身内の協力が得られない(近くにいない)	110
7. 育児・家事に対する配偶者の協力が得られない	76
8. 家が狭い・古いなどの居住環境	66
9. 保育所などの子供の預け先がない(条件が合わない)	23
10. その他	77
11. 理想の人数と同じ、または理想より多い	288



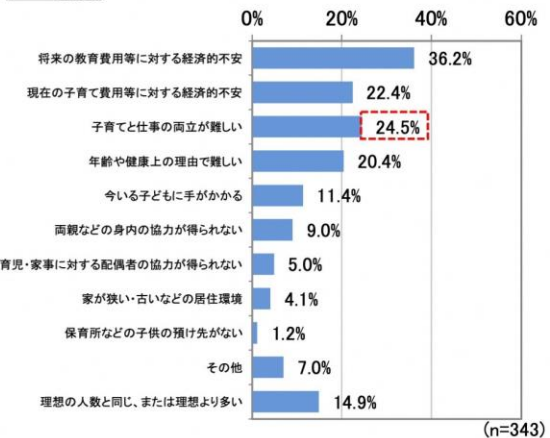
その他  
 ・配偶者がいない(8)  
 ・子どもができない・できなかった(7)  
 ・配偶者との意見の相違(6)  
 ・気持ちに余裕がない(5)  
 ・不妊治療の体制が不十分(3)  
 ・親同士の関係が面倒(3)  
 など

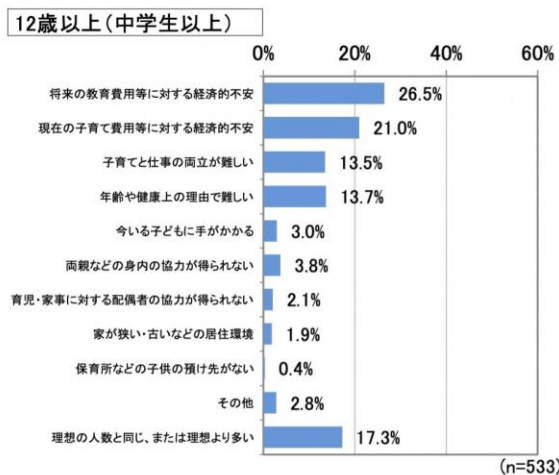
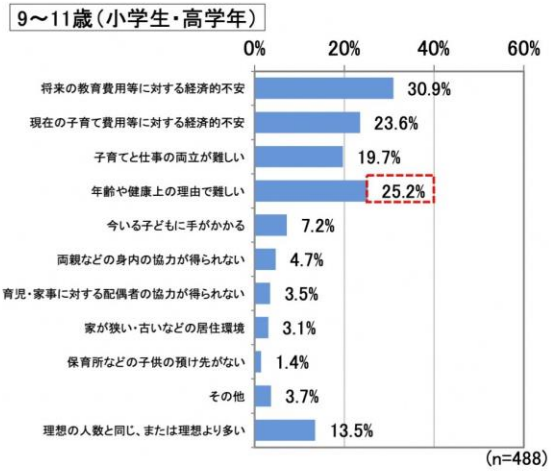
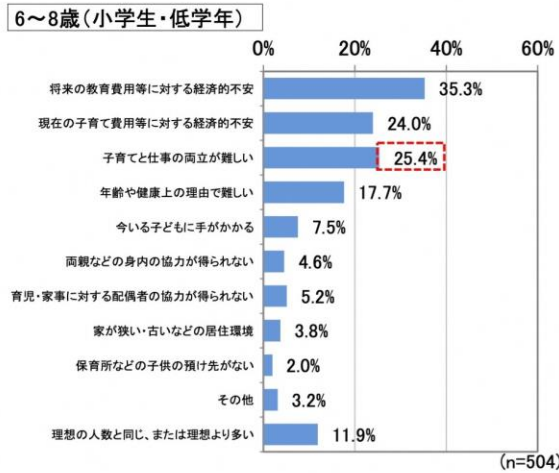
【第一子の年齢別】

0~2歳児



3~5歳児





問9 日常的に子育てを協力してくれるご家族や知人が身近にいますか。

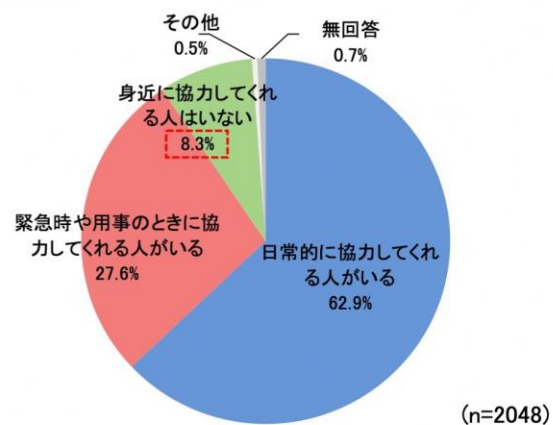
子育てを協力してくれる家族や知人について、約8%の方が「身近に協力してくれる人はいない」と回答している。

回答内容	(件)
1. 日常的に協力してくれる人がいる	1289
2. 緊急時や用事のときに協力してくれる人がいる	565
3. 身近に協力してくれる人はいない	169
4. その他	11
無回答	14
計	2,048

その他

- ・自分と配偶者のみ(2)
- ・今はいるが以前はいなかった
- ・その時の都合で協力してくれる
- ・協力してくれる時に波がある
- ・週に一日、2週に一日ほど
- ・施設に預ける時もある

など





問10 家事と育児の現在の役割分担と理想とする役割分担を教えてください。

現在の家事と育児の役割分担については、「自分が大半を担う（約29%）」と「自分が主で、配偶者が一部担う（約34%）」で半数以上を占めている。

一方で、理想とする役割分担については、約66%の方が「自分と配偶者が同程度担う」と回答している。

理想とする役割分担を男女別でみると、「自分が大半を担う」と「自分が主で配偶者が一部担う」の合計は、男性が約7%であるのに対し、女性は約29%である。また、「配偶者が大半を担う」と「配偶者が主で自分が一部担う」は、女性が約1%であるのに対し、男性は約18%である。

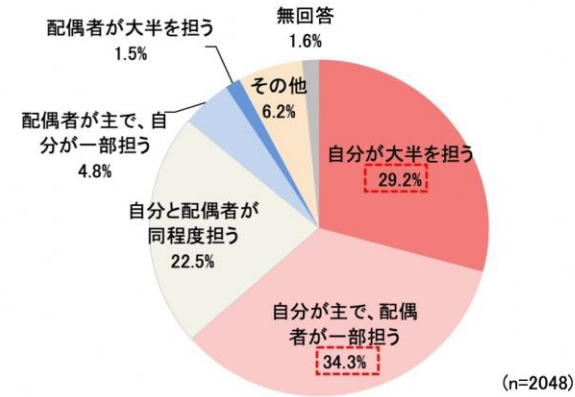
■現在の家事と育児の役割分担

	(件)
1. 自分が大半を担う	598
2. 自分が主で、配偶者が一部担う	703
3. 自分と配偶者が同程度担う	460
4. 配偶者が主で、自分が一部担う	98
5. 配偶者が大半を担う	30
6. その他	126
無回答	33
計	2,048

その他

- ・ 自分と同居家族で協力(22)
- ・ 親が主(12)
- ・ 自分が主で、同居家族が一部(6)
- ・ 自分が育児、(義)母が家事(4)
- ・ 親が主で、自分が一部担う(2)

など



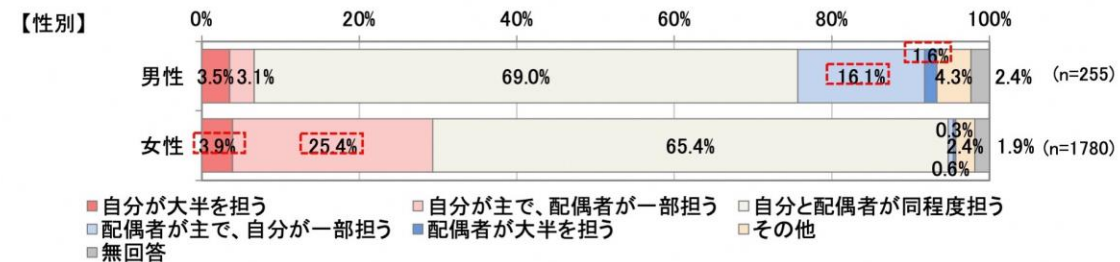
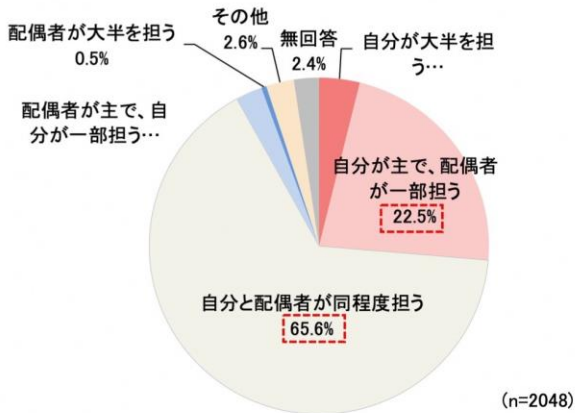
■理想とする家事と育児の役割分担

	(件)
1. 自分が大半を担う	79
2. 自分が主で、配偶者が一部担う	461
3. 自分と配偶者が同程度担う	1,343
4. 配偶者が主で、自分が一部担う	52
5. 配偶者が大半を担う	10
6. その他	54
無回答	49
計	2,048

その他

- ・ 家族全員で臨機応変に対応(6)
- ・ できる時にできる方が行う(3)
- ・ 仕事の量に合わせて分担(2)

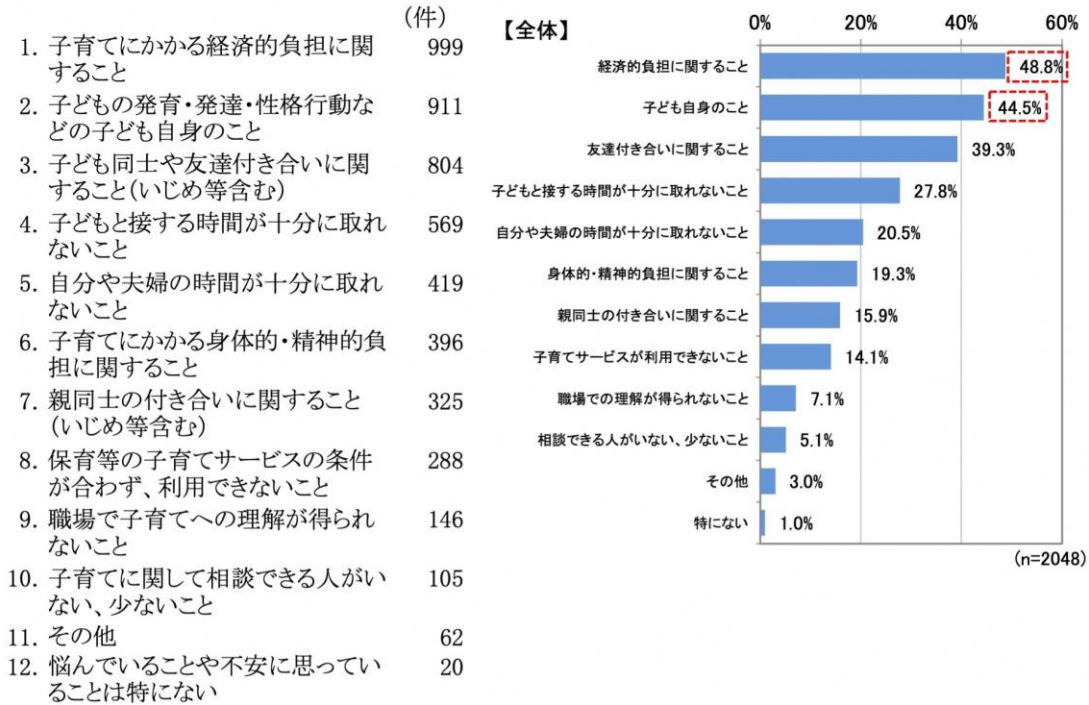
など



問11 日頃から子育てに関して悩んでいることや不安に思っていることは何ですか。  
(該当するもの全て〇)

日頃から子育てに関して悩んでいることや不安に思っていることとして、「子育てにかかる経済的負担に関すること(約49%)」が最も多く、次いで「子どもの発育・発達・性格行動など子ども自身のこと(約45%)」である。

第一子の年齢別でみると、第一子が0~2歳である方は「自分や夫婦の時間が十分に取れないこと」、3~8歳である方は「子どもの発育・発達・性格行動など子ども自身のこと」、9歳以上である方は「友達付き合いに関すること」について悩んでいる方が比較的多い。



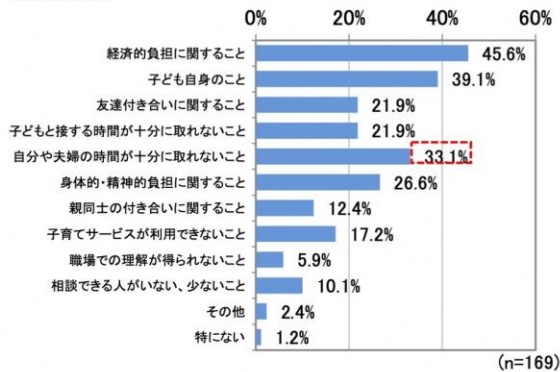
その他

- ・ 配偶者や同居家族との関係や意見の相違(8)
- ・ 休日や雨天時に過ごす場所がない(6)
- ・ 仕事との両立が難しい(7)
- ・ 子どもの人数が少ない(5)
- ・ 行政の対応について(4)

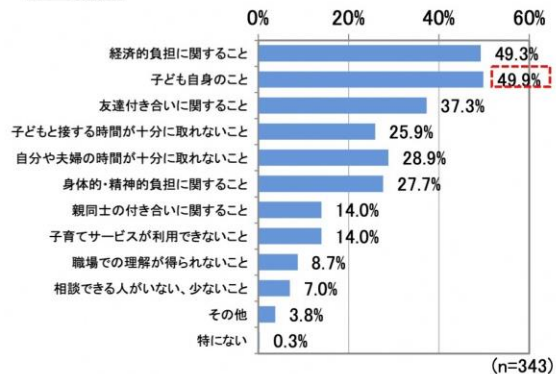
など

■第一子の年齢別

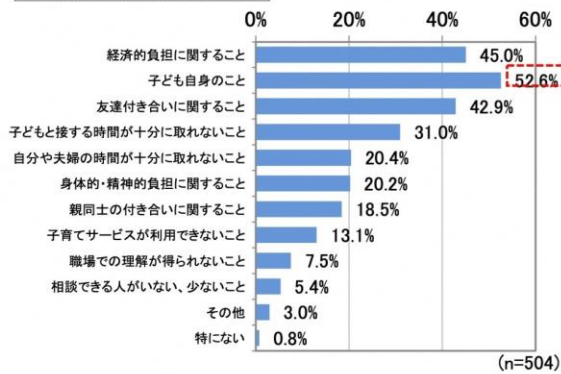
0~2歳児



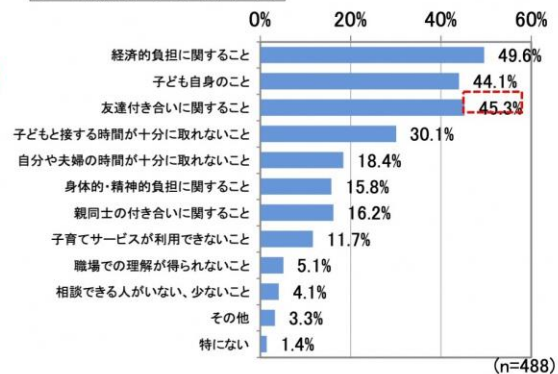
3~5歳児



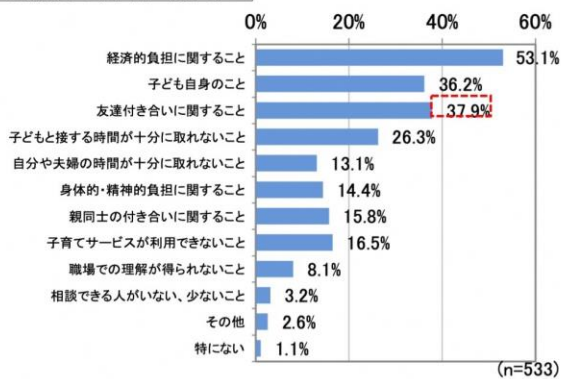
6～8歳(小学生・低学年)



9～11歳(小学生・高学年)



12歳以上(中学生以上)



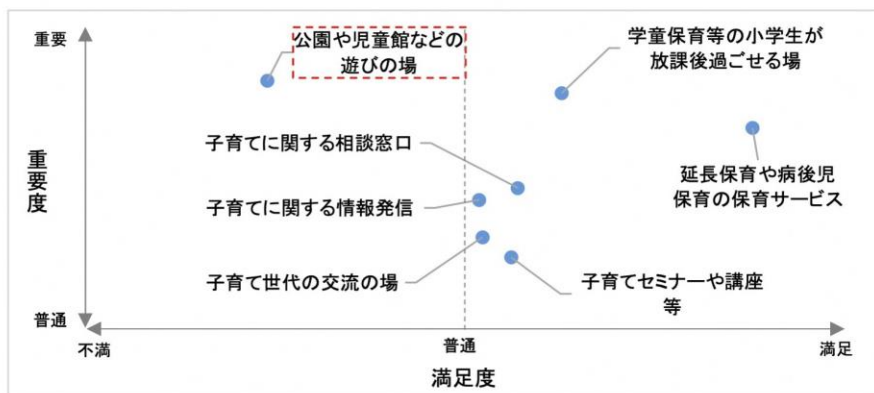
### 3. 佐渡市の子育て支援についておたずねします

問12 子育て支援のための以下の取り組みに対する「現在の満足度」と「今後の重要度」についてお答えください。

子育て支援のための取り組みの満足度では、「延長保育や病後児保育の保育サービス」の満足度が約50%で最も高い。一方で、「公園や児童館などの遊びの場」については、約56%の方が不満を感じている。

今後の重要度については、「公園や児童館などの遊びの場」の重要度が約90%で最も高く、次いで「学童保育等の小学生が放課後過ごせる場」の重要度が約84%である。

特に「公園や児童館などの遊びの場」は、現状の満足度が低く、今後の重要度が高い。

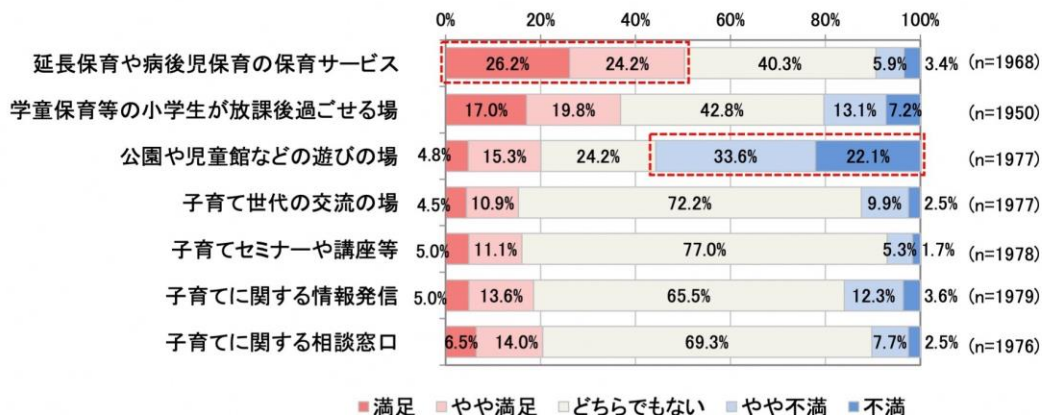




■現在の満足度

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	計
延長保育や病後児保育の保育サービス	515	476	793	117	67	1,968
学童保育等の小学生が放課後過ごせる場	332	387	835	255	141	1,950
公園や児童館などの遊びの場	95	302	479	665	436	1,977
子育て世代の交流の場	88	215	1428	196	50	1,977
子育てセミナーや講座等	98	220	1523	104	33	1,978
子育てに関する情報発信	98	269	1296	244	72	1,979
子育てに関する相談窓口	128	276	1370	153	49	1,976

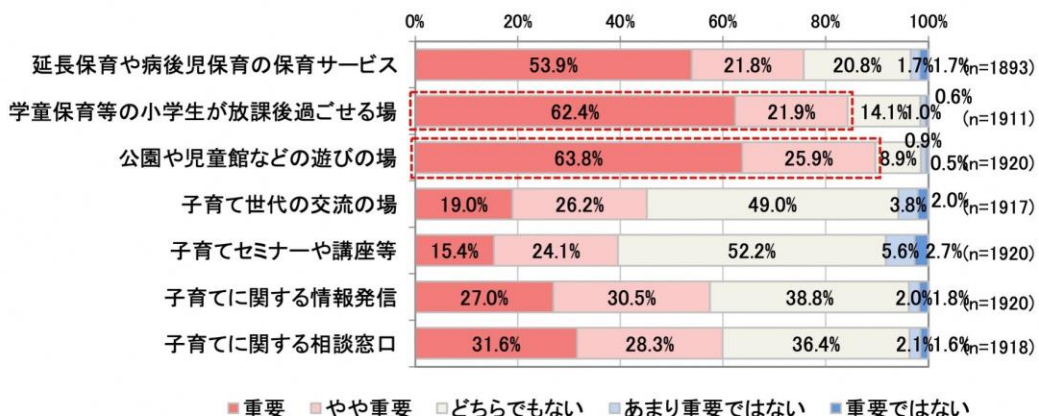
【全体】



■今後の重要度

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	計
延長保育や病後児保育の保育サービス	1,021	413	394	33	32	1,893
学童保育等の小学生が放課後過ごせる場	1,193	418	270	19	11	1,911
公園や児童館などの遊びの場	1,225	497	170	18	10	1,920
子育て世代の交流の場	364	502	940	72	39	1,917
子育てセミナーや講座等	296	463	1002	108	51	1,920
子育てに関する情報発信	518	586	744	38	34	1,920
子育てに関する相談窓口	606	543	699	40	30	1,918

【全体】

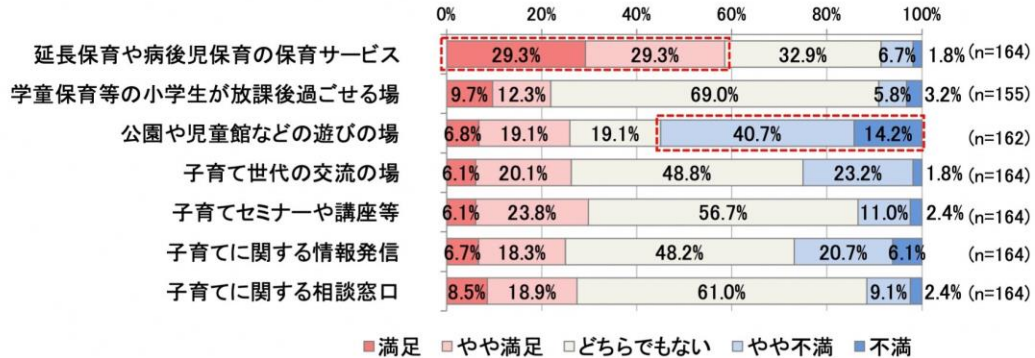




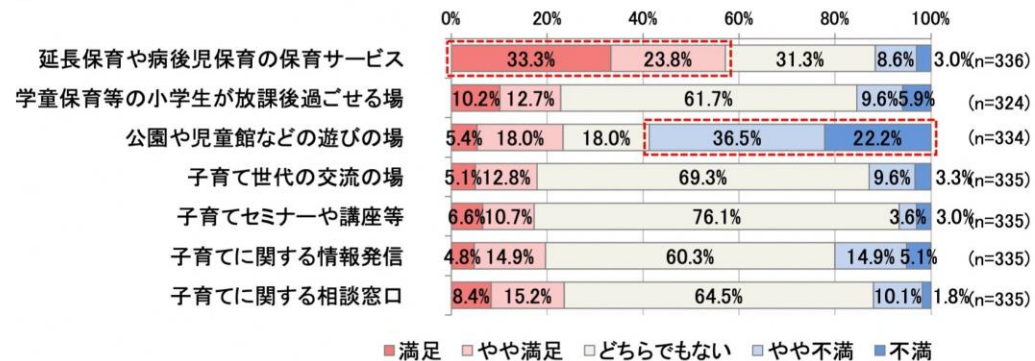
第一子の年齢別でみると、共通して「延長保育や病後児保育の保育サービス」の満足度が高く、第一子が6歳以上である方は「小学生が放課後過ごせる場」の満足度が比較的高い。  
 一方で、第一子が3～5歳である方は、「公園や児童館などの遊びの場」に次いで、「子育てに関する情報発信」に対して、半数以上の方が不満を感じている。  
 今後の重要度が80%を超える取り組みは、共通して「公園や児童館などの遊びの場」と「学童保育等の小学生が放課後過ごせる場」である。また、第一子が0～8歳である方は「延長保育や病後児保育の保育サービス」の重要度も高い。

■現在の満足度  
 【第一子年齢別】

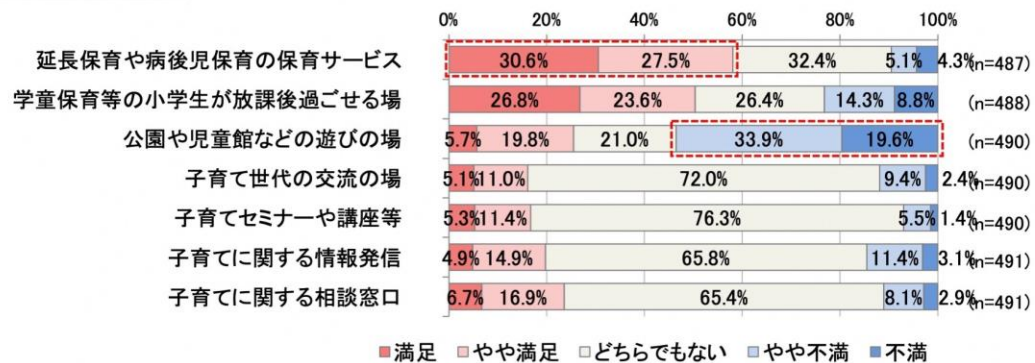
0～2歳児



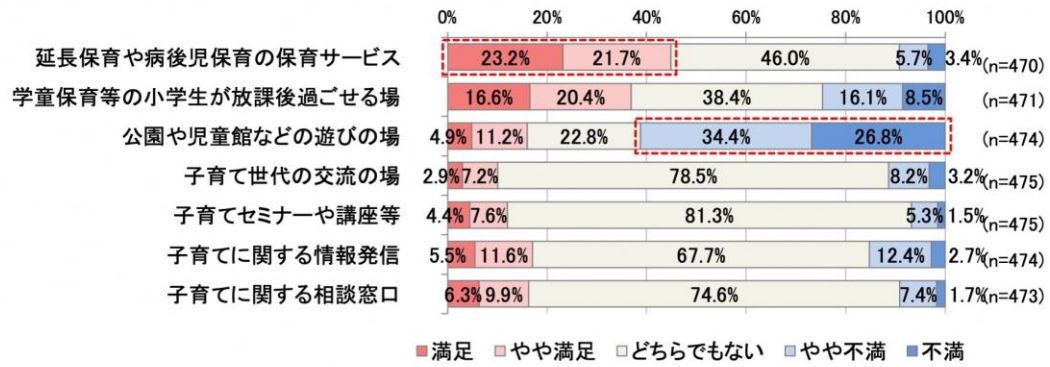
3～5歳児



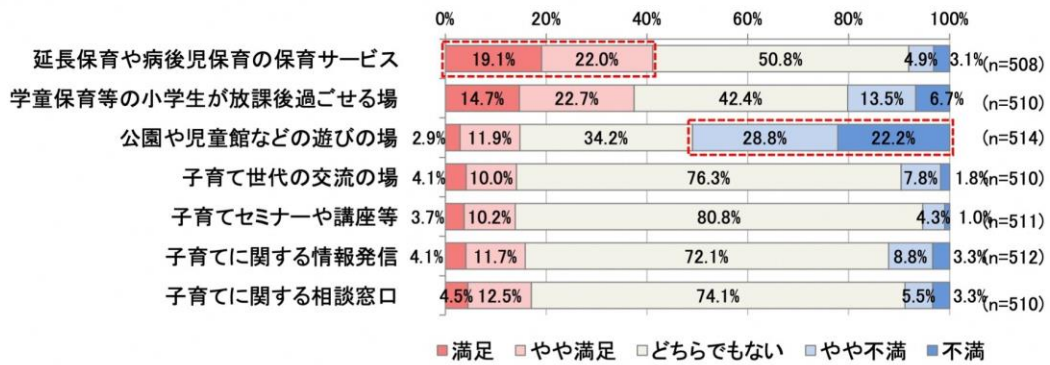
6～8歳(小学生・低学年)



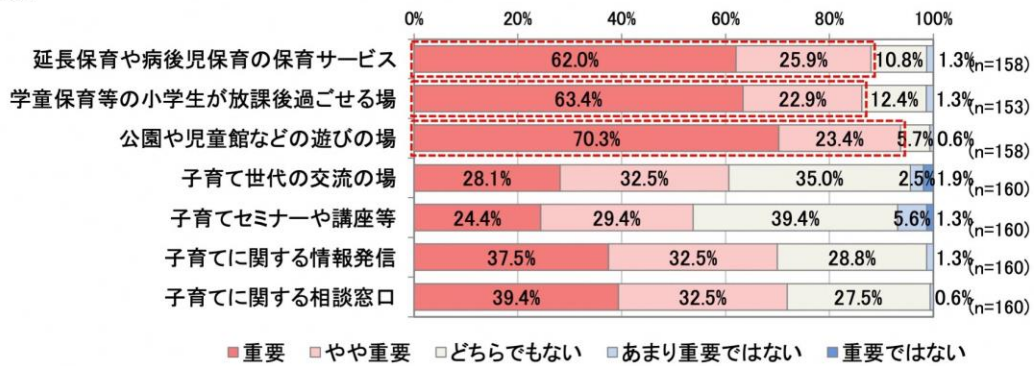
9～11歳(小学生・高学年)



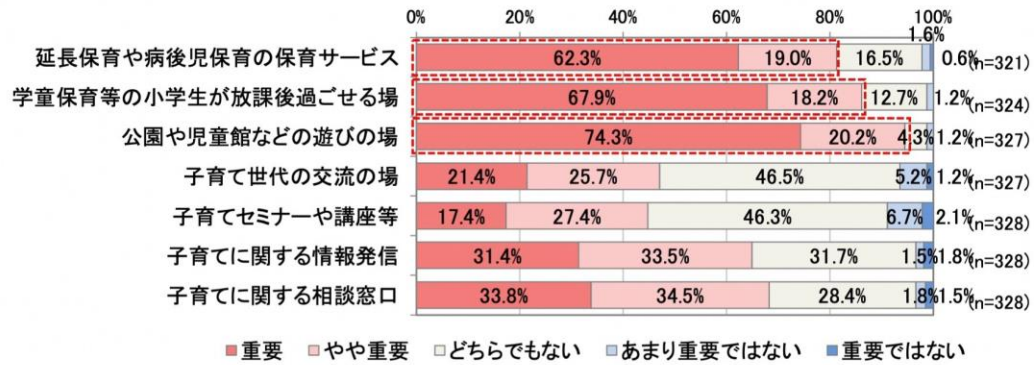
12歳以上(中学生以上)



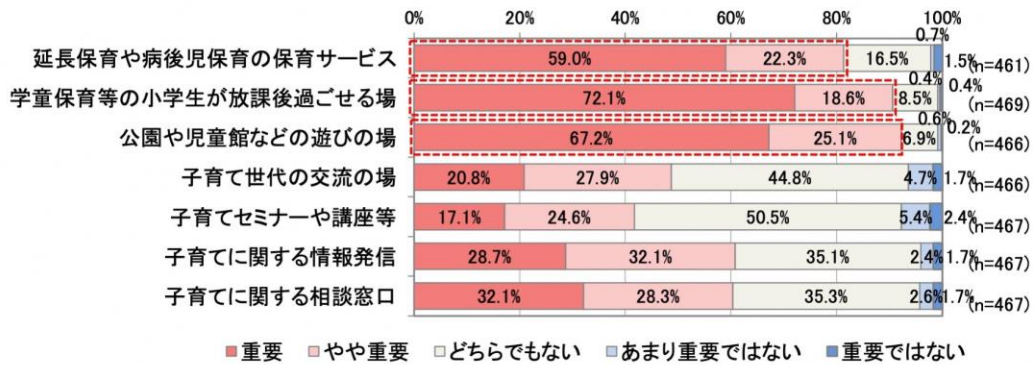
■今後の重要度  
【第一子年齢別】  
0～2歳児



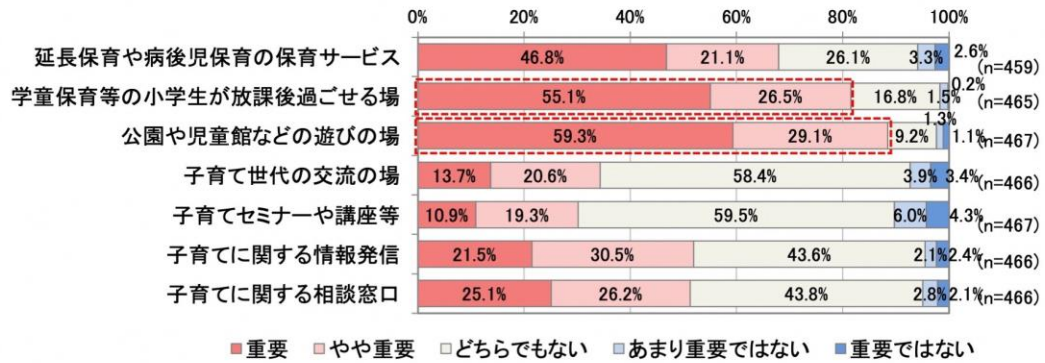
3～5歳児



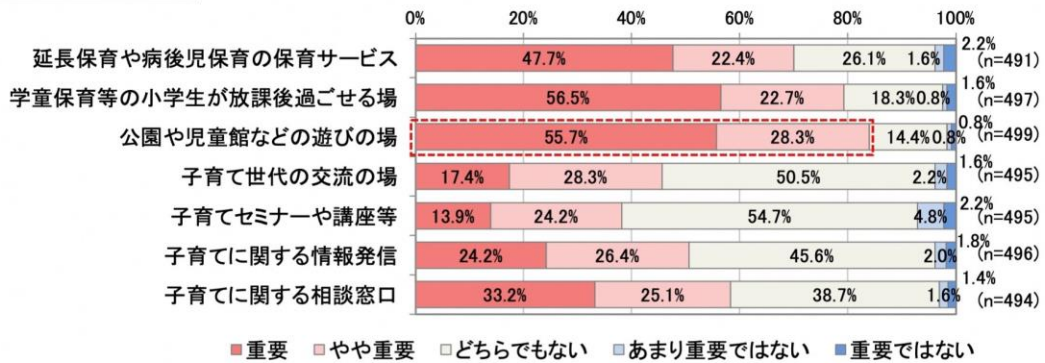
6～8歳(小学生・低学年)



9～11歳(小学生・高学年)



12歳以上(中学生以上)





問13 市内での教育環境について、最も不安に思っていることや心配していることは何ですか。

市内での教育環境について不安に思っていることや心配していることでは、「学校の児童・生徒数が少なく、行事や部活動等が限られる(約29%)」が最も多く、次いで「大学がなく、進学のために市外へ移転しなければならない(約19%)」である。

地域別でみると、両津地区と南佐渡地区で「統廃合により通学に時間がかかる」、相川地区で「多様な意見に触れる機会がない」が、比較的高い。

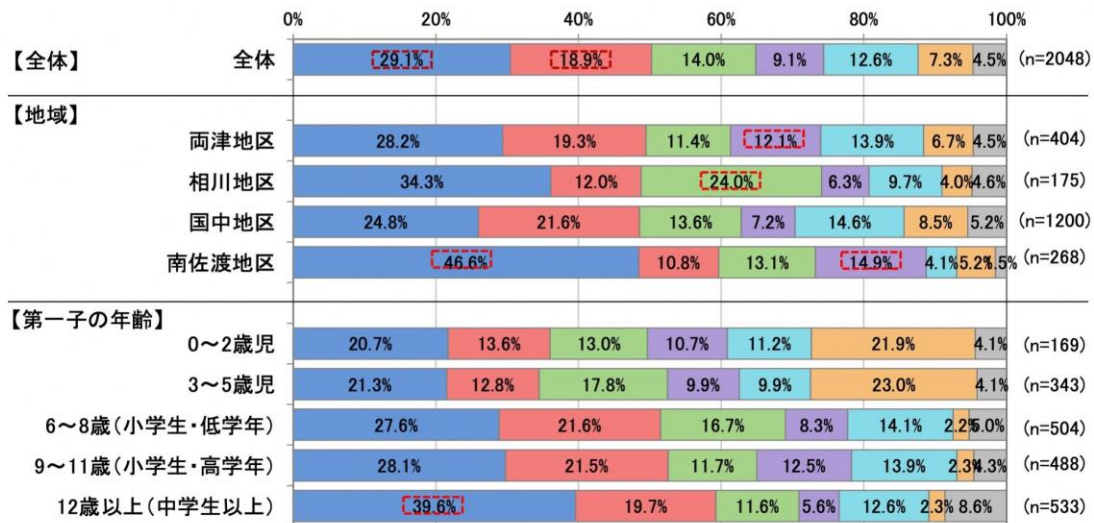
第一子の年齢別でみると、特に第一子が12歳以上の方で「行事や部活動が限られる」が高い。

	(件)
1. 学校の児童・生徒数が少なく、行事や部活動等が限られる	596
2. 大学がなく、進学のために市外へ移転しなければならない	387
3. 学校の児童・生徒数が少なく、多様な意見に触れる機会がない	286
4. 学校の統廃合により、通学に時間がかかる	186
5. 特に不安等はない	259
6. 関りがないのでわからない	150
7. その他	92
無回答	92
計	2,048

その他

- ・特別支援教育や障害児への支援について(8)
- ・学校の統廃合について(7)
- ・クラスの人数が多く、目が行き届かない(5)
- ・通学路の安全性について(5)
- ・教育や教師の質について(5)
- ・親子や子ども同士、親同士の交流や関わりについて(5)
- ・休日や放課後に過ごせる場所や安全について(5)

など



- 学校の児童・生徒数が少なく、行事や部活動等が限られる
- 大学がなく、進学のために市外へ移転しなければならない
- 学校の児童・生徒数が少なく、多様な意見に触れる機会がない
- 学校の統廃合により、通学に時間がかかる
- 特に不安等はない
- 関りがないのでわからない

問14 子育て環境や子育て支援について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

子育て環境や子育て支援について、514名の子育て世代の方から意見が挙げられた。最も意見が多い分野は、子どもの居場所づくりやコミュニティづくりといった「周辺環境」で、約39%の方が意見を挙げている。次いで、経済的支援や情報提供といった「子育て支援」に対して約24%の方が意見を挙げている。

分野	分類	件数
子育て支援 (23.7%)	一次預かり等	6
	病児・病後児保育	11
	障がい児支援	9
	サポート体制	22
	情報提供	23
	相談体制	8
	経済的支援	71
	子育て支援センター	17
施設の整備・充実 (14.2%)	学童保育	50
	保育園	18
	医療施設	5
	子どもの居場所づくり	207
周辺環境 (39.0%)	コミュニティづくり	10
	仕事と子育ての両立	12
	意識啓発	9
	イベント開催	9
	学習環境の整備	15
教育環境 (15.0%)	教育の質	19
	統廃合	25
	部活動	13
	通学	12
	進学先	8
	PTA	3
	その他 (8.1%)	市の取り組みについて
いじめ		2
その他		21
計		633
回答者数		514

※同一回答者の意見で複数の分類項目に当てはまる場合は、該当項目全てでカウントしている。

## 第4節

# 高校生アンケート調査結果

# 佐渡市高校生アンケート 結果

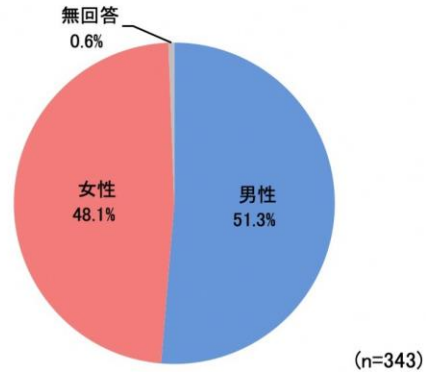
## ■アンケート実施状況

調査期間： 令和3年1月18日～1月25日（8日間）  
 対象者： 市内の高等学校に通う高校2年生等  
 実施方法： 学校を通じて配布し、紙面またはインターネットで回答  
 配布数： 373 通  
 回答数： 343 通  
 回収率： 92.0 %

## 1. あなたのことについて、おたずねします

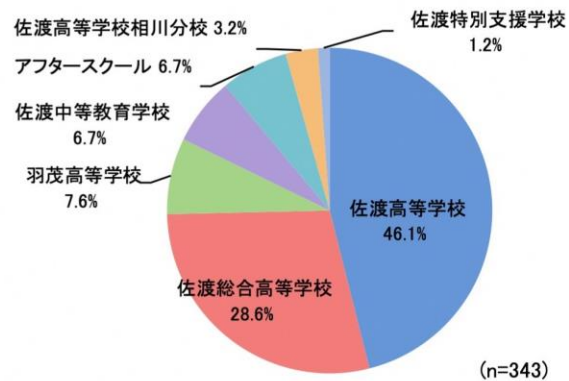
問1. あなたの性別をお答えください。

	(件)
1. 男性	176
2. 女性	165
無回答	2
計	343



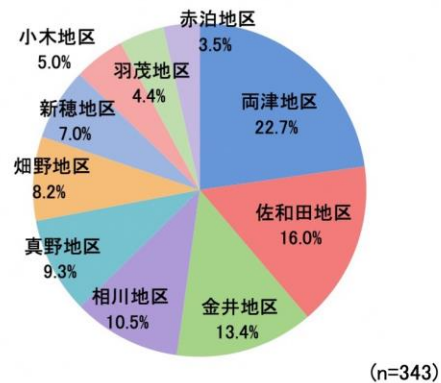
問2. あなたの通っている学校をお答えください。

	(件)
1. 佐渡高等学校	158
2. 佐渡総合高等学校	98
3. 羽茂高等学校	26
4. 佐渡中等教育学校	23
5. アフタースクール	23
6. 佐渡高等学校相川分校	11
7. 佐渡特別支援学校	4
計	343



問3. あなたのお住まいの地区をお答えください。

	(件)
1. 両津地区	78
2. 佐和田地区	55
3. 金井地区	46
4. 相川地区	36
5. 真野地区	32
6. 畑野地区	28
7. 新穂地区	24
8. 小木地区	17
9. 羽茂地区	15
10. 赤泊地区	12
0	343



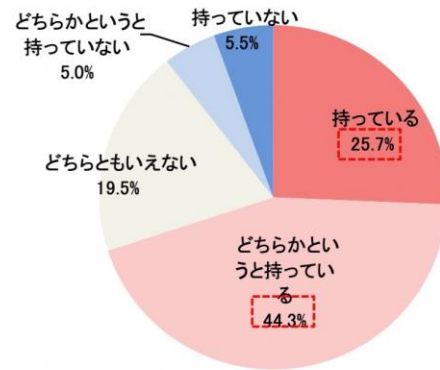


## 2. 佐渡への誇りや愛着について、おたすねします

### 問4. あなたは佐渡への誇りや愛着を持っていますか。

佐渡への誇りや愛着について、約70%の高校生が誇りや愛着を持っている。

	(件)
1. 持っている	88
2. どちらかというを持っている	152
3. どちらともいえない	67
4. どちらかというを持っていない	17
5. 持っていない	19
合計	343



(n=343)

### 問5-1. 佐渡のどのようなところに誇りや愛着を持っていますか。(3つまで○)

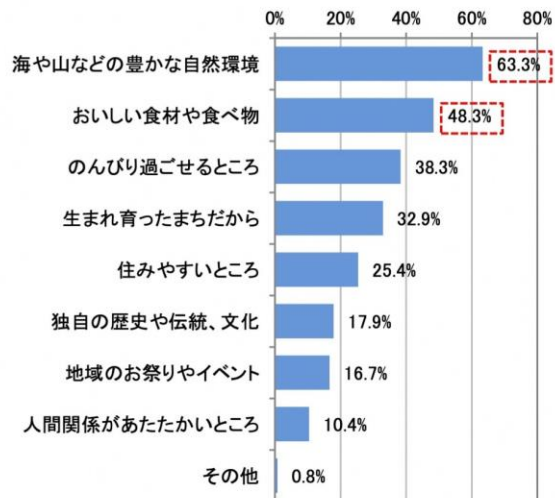
(問4. で「1.持っている」「2.どちらかというを持っている」と答えた方)

佐渡への誇りや愛着を持っていると回答した方の理由として、「海や山などの豊かな自然環境」が約63%で最も多く、次いで「おいしい食材や食べ物」が約48%である。

	(件)
1. 海や山などの豊かな自然環境	152
2. おいしい食材や食べ物	116
3. のんびり過ごせるところ	92
4. 生まれ育ったまちだから	79
5. 住みやすいところ	61
6. 独自の歴史や伝統、文化	43
7. 地域のお祭りやイベント	40
8. 人間関係があたたかいところ	25
9. その他	2
合計	610

#### 【その他】

- ・ 釣り場が多くあるところ
- ・ コロナが少ない、安心安全



(n=240)

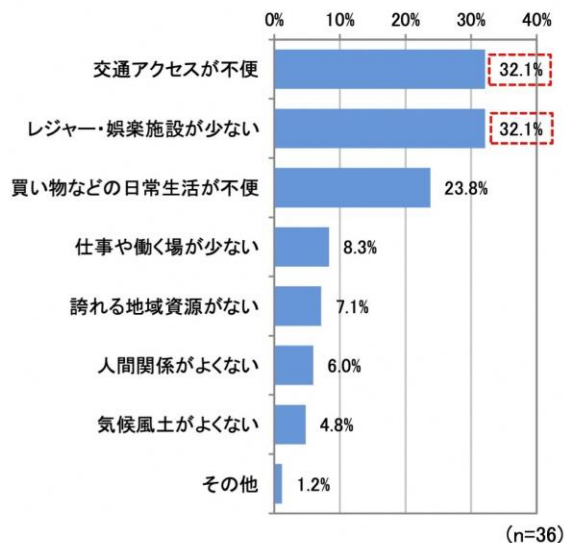
問5-2. 佐渡への誇りや愛着を持っていない理由は何ですか。(3つまで)  
 (問4で「3.どちらか」として持っている「4.持っていない」と答えた方)

佐渡への誇りや愛着を持っていないと回答した方の理由として、「交通アクセスが不便」と「レジャー・娯楽施設が少ない」が約32%で多い。

	(件)
1. 交通アクセスが不便	27
2. レジャー・娯楽施設が少ない	27
3. 買い物などの日常生活が不便	20
4. 仕事や働く場が少ない	7
5. 誇れる地域資源がない	6
6. 人間関係がよくない	5
7. 気候風土がよくない	4
8. その他	1
合計	97

【その他】

- ・考えていない



3. 卒業後の進路等について、おたずねします

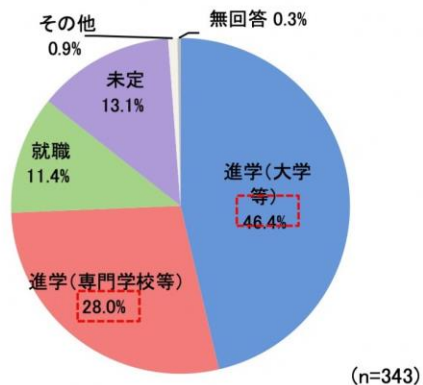
問6. あなたが卒業後に希望する進路についてお答えください。

卒業後に希望する進路について、大学等への進学を希望している高校生が約46%、専門学校等への進学を希望している高校生が約28%であり、合計で約74%の高校生が進学を希望している。

	(件)
1. 進学(大学等)	159
2. 進学(専門学校等)	96
3. 就職	39
4. 未定	45
5. その他	3
無回答	1
合計	343

【その他】

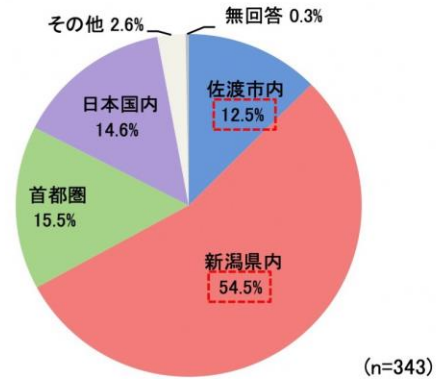
- ・農業、アルバイトなど
- ・作業所



## 問7. あなたが希望している進学・就職等の地域についてお答えください。

希望している進学・就職等の地域について、半数以上が新潟県内での進学・就職等を希望している。一方で、佐渡市内を希望している高校生は、約13%である。

	(件)
1. 佐渡市内	43
2. 新潟県内(佐渡市以外)	187
3. 首都圏(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県)	53
4. 日本国内(新潟・首都圏以外)	50
5. 海外	0
6. その他	9
無回答	1
合計	343



## 【その他】

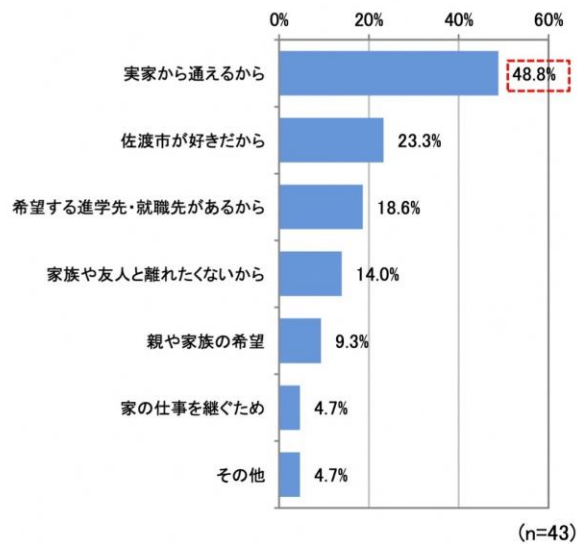
- ・ 未定(5)
- ・ 日本
- ・ 新潟県内(佐渡市もあり)

## 問8-1. 佐渡市での進学・就職を希望する理由は何ですか。(2つまで)

(問7で「1.佐渡市内」と答えた方)

佐渡市での進学・就職を希望する方の理由として、「実家から通えるから」が約49%で最も多い。

	(件)
1. 実家から通えるから	21
2. 佐渡市が好きだから	10
3. 佐渡市に希望する進学先・就職先があるから	8
4. 家族や友人と離れたくないから	6
5. 親や家族の希望	4
6. 家の仕事を継ぐため	2
7. その他	2
合計	53



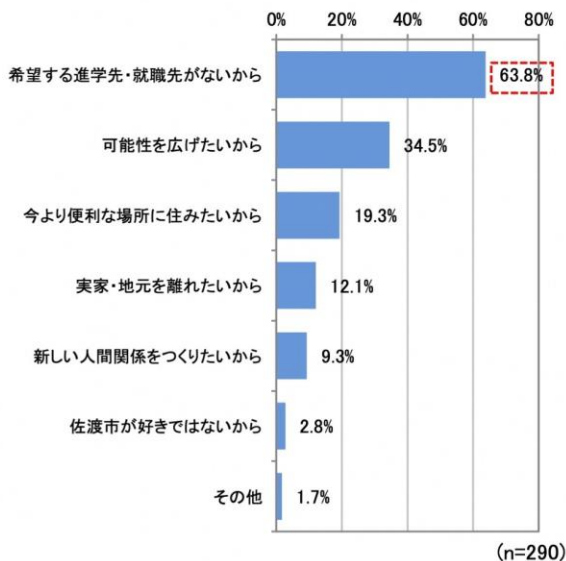
## 【その他】

- ・ 地形が慣れているから

問8-2. 佐渡市外での進学・就職を希望する理由は何ですか。(2つまで)  
 (問7で「2.新潟県内」「3.首都圏」「4.日本国内」「5.海外」と答えた方)

佐渡市外での進学・就職等を希望する方の理由として、「佐渡市に希望する進学先・就職先がないから」が約64%で最も多い。

	(件)
1. 佐渡市に希望する進学先・就職先がないから	185
2. 可能性を広げたいから	100
3. 今より便利な場所に住みたいから	56
4. 実家・地元を離れたいから	35
5. 新しい人間関係をつくりたいから	27
6. 佐渡市が好きではないから	8
7. その他	5
合計	416



【その他】

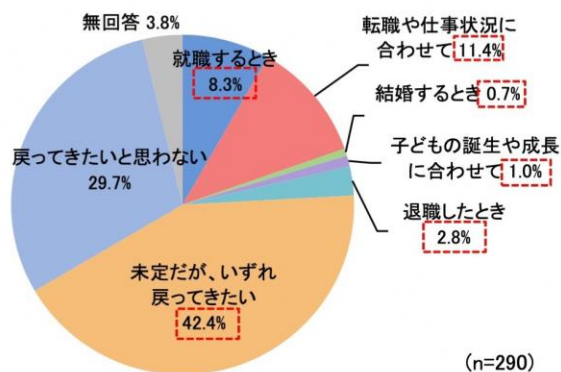
- ・一度、佐渡を出て外の世界を見たいから
- ・身内がいるから
- ・実家が首都圏にあるから
- ・島外にあまり出ないので、行きたいと思ったから  
など

問9. 将来的に佐渡市に戻ってきたいと思いますか。

(問7で「2.新潟県内」「3.首都圏」「4.日本国内」「5.海外」と答えた方)

佐渡市外での進学・就職等を希望している高校生のうち、約67%が将来的に佐渡市に戻ってきたいと思っている。  
 そのうち、就職や結婚等のタイミングで戻ってきたいと思っている高校生は約24%であり、時期は未定だがいずれは戻ってきたいと思っている高校生は約42%である。

	(件)
1. 就職するときに戻ってきたい	24
2. 転職や仕事状況に合わせて戻ってきたい	33
3. 結婚するときに戻ってきたい	2
4. 子どもの誕生や成長に合わせて戻ってきたい	3
5. 退職したときに戻ってきたい	8
6. 時期は未定だが、いずれ戻ってきたい	123
7. 戻ってきたいと思わない	86
無回答	11
合計	290





問10. 将来的に佐渡市に戻ってきたい理由は何ですか。(2つまで)  
 (問9で1~6の「戻ってきたい」と答えた方)

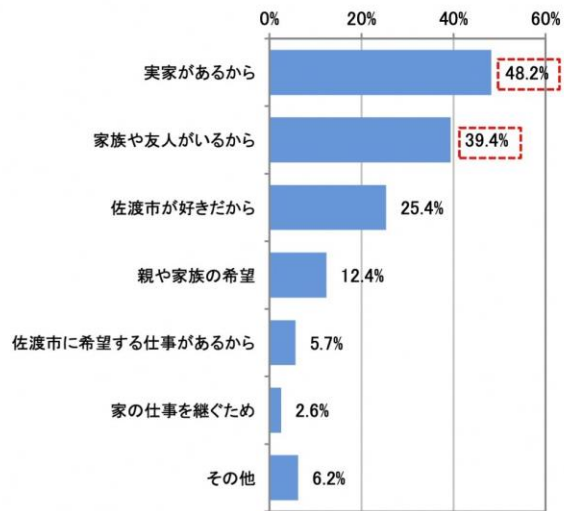
将来的に佐渡市に戻ってきたいと回答した理由として、「実家があるから」が約48%で最も多く、次いで「家族や友人がいるから」が約39%である。

	(件)
1. 実家があるから	93
2. 家族や友人がいるから	76
3. 佐渡市が好きだから	49
4. 親や家族の希望	24
5. 佐渡市に希望する仕事があるから	11
6. 家の仕事を継ぐため	5
7. その他	12
合計	270

【その他】

- ・ 住みやすい・住み慣れている(3)
- ・ 奨学金の返済(2)
- ・ 環境がいいから
- ・ 災害が少なく、天候も安定している方だから
- ・ 高齢化が進む島のため

など



(n=193)

#### 4. 佐渡市の取り組みに対する満足度と重要度について、おたずねします

問1 1. 以下に示す各取り組みの「現状の満足度」と「今後の重要度」についてお答えください。

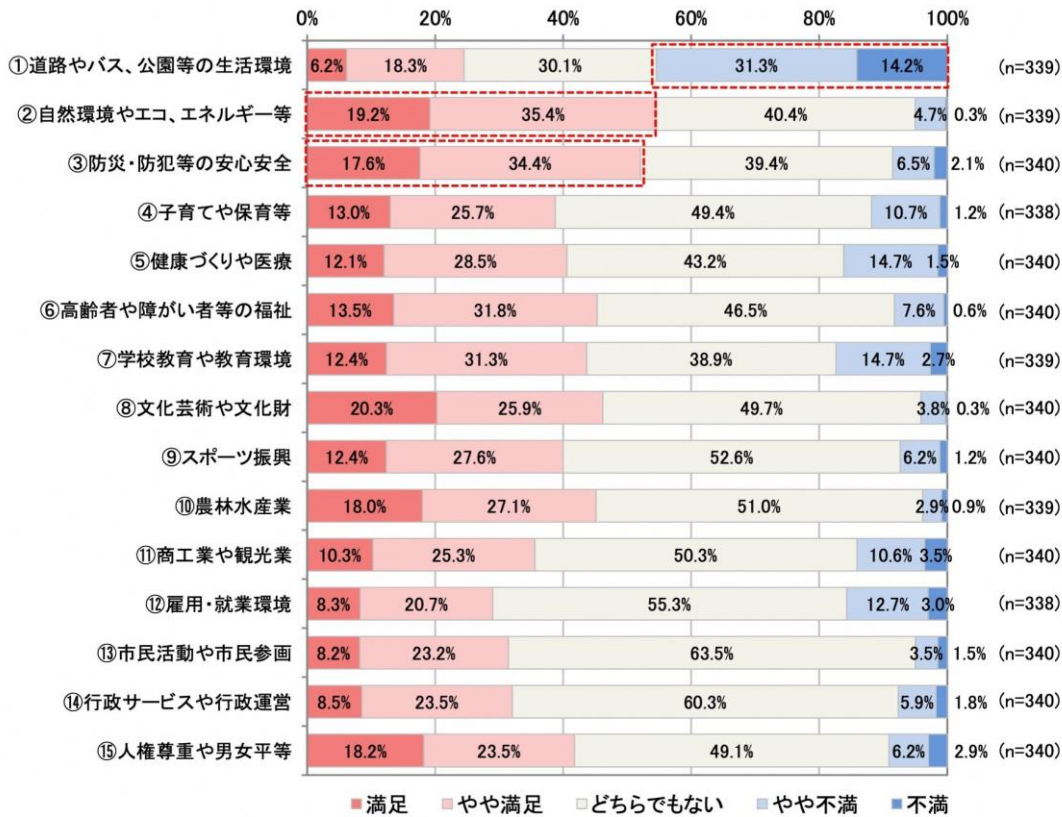
佐渡市の取り組みのうち、「自然環境やエコ、エネルギー等」の満足度が約55%で最も高く、次いで「防災・防犯等の安心安全」が約52%である。一方で、「道路やバス、公園等の生活環境」については、約46%の高校生が不満を感じている。

また、今後の重要度については、「道路やバス、公園等の生活環境」の重要度が約80%で最も高い。

特に「道路やバス、公園等の生活環境」は、現状の満足度が低く、今後の重要度が高い。

##### 【現状の満足度】

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	計
① 道路やバス、公園等の生活環境に関する事	21	62	102	106	48	339
② 自然環境やエコ、エネルギー等に関する事	65	120	137	16	1	339
③ 防災・防犯等の安心安全に関する事	60	117	134	22	7	340
④ 子育てや保育等に関する事	44	87	167	36	4	338
⑤ 健康づくりや医療に関する事	41	97	147	50	5	340
⑥ 高齢者や障がい者等の福祉に関する事	46	108	158	26	2	340
⑦ 学校教育や教育環境に関する事	42	106	132	50	9	339
⑧ 文化芸術や文化財に関する事	69	88	169	13	1	340
⑨ スポーツ振興に関する事	42	94	179	21	4	340
⑩ 農林水産業に関する事	61	92	173	10	3	339
⑪ 商工業や観光業に関する事	35	86	171	36	12	340
⑫ 雇用・就業環境に関する事	28	70	187	43	10	338
⑬ 市民活動や市民参画に関する事	28	79	216	12	5	340
⑭ 行政サービスや行政運営に関する事	29	80	205	20	6	340
⑮ 人権尊重や男女平等に関する事	62	80	167	21	10	340



問12. 佐渡市の将来やまちづくりについて、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

佐渡市の将来やまちづくりについて、36名の高校生から意見が述べられた。  
最も意見が多い項目は「公共交通」で、約31%の高校生が意見を述べている。次いで、約13%が「娯楽施設」に関する意見を述べている。

分類	件数	割合
公共交通	12	30.8%
娯楽施設	5	12.8%
観光振興	3	7.7%
自然環境	3	7.7%
学習環境	3	7.7%
商業施設	2	5.1%
就業環境	2	5.1%
医療体制	1	2.6%
まちづくり	4	10.3%
その他	4	10.3%
計	39	100.0%
回答者数	36	

※同一回答者の意見で複数の分類項目に当てはまる場合は、該当項目全てでカウントしている。

## 第5節

# ワークショップ結果



# 佐渡市高校生ワークショップ

『将来にわたって魅力的で、住み続けたい佐渡にするには？』



## 開催概要

対象	羽茂高等学校	佐渡高等学校	佐渡中等教育学校	佐渡総合高等学校
日時	令和3年2月22日(月) 13:45~15:35	令和3年2月24日(水) 16:00~17:30	令和3年2月25日(木) 15:20~17:00	令和3年2月26日(金) 15:10~16:30
参加者	2年生 25名(4班)	1・2年生 15名(3班)	4・5年生 12名(3班)	2年生 15名(3班)

## 意見交換の結果概要

分野	①佐渡の魅力とは？ 佐渡市の魅力について佐渡に住む理由である「強み」と島外に出て戻らない理由である「弱み」を出し合いました。	
	○強み（佐渡に住む理由）	▲弱み（島外に出て戻らない理由）
自然環境	自然 ●自然が豊かで美しい。 ●きれいな海と山が近く、自然に触れる機会が多い。 ・空気が澄んでいる。	
生活環境	ひと ●家族や友人がいる。 ●地域にやさしい人やおもしろい人が多い。 ●地域内や近所とのつながりが強い。	交通 ●島内の公共交通が不便（運賃、本数、地域格差など）。 ●移動手段が少ない。 ●島外への移動が不便（物流、予定などに影響がでる）。 ・道が悪く、移動しづらい。
	地域 ●生まれ育ったところなので、慣れている。 ●静かでのんびりしている。	買い物 ●お店の数や種類が少ない。 ●通販の送料が高く、輸送が遅い。 ・お店が集中している地域と少ない地域の差が大きい。 ・HPの更新が遅いなど情報が得づらい。
		娯楽 ●娯楽施設など若者が楽しめる場所が少ない。 ●できないことが多い（芸術鑑賞など）。
子育て医療福祉	子育て ・店や病院に子どもが遊べる場所がある。	子育て ・子どもが少なく、周りに同い年の友達がいない。
教育・仕事	仕事 ・施設の需要が高いため医療や福祉関係の就職がしやすい。	教育 ●大学や専門学校が少なく、学べる分野に限られる。 仕事 ●希望する職場・魅力的な企業が少ない（規模が小さい、最先端なことをしていない等）。
食	食 ●食べものが新鮮でおいしい（米、果物、牛肉、魚介、酒、水など）。 ・新鮮で質の良い食材が安く手に入る。	
観光・文化	文化 ●歴史的な建造物が多く、独自の歴史や文化を間近に感じられる。 ●祭りや伝統文化が大切にされている。	
	観光 ●トキなどの佐渡固有の生き物が多くいる。	

将来



### ③将来の島づくりに向けて、私ができること

各自で今できることや将来どのような人になりたいかなどを発表しました。

#### 情報発信

- SNS等で佐渡に関することを発信する。
- もっと佐渡を知って、島外の友人等に佐渡の魅力をPRする。
- ・民話など佐渡について語り継ぐ。

目的	佐渡市の新たなまちづくりの指針となる「佐渡市総合計画」を策定するにあたり、将来の佐渡市の主役となる高校生の皆さんから「将来にわたって魅力的で住み続けたいと思う島づくり」を進めるための考えやアイデアなどを寄せ合うこと。
内容	<p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐渡市の現状、移住・定住支援策</li> <li>・佐渡市高校生アンケート結果</li> </ul> <p>意見交換</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①佐渡の魅力とは？</li> <li>②住み続けたい佐渡にするには？</li> <li>③将来の島づくりに向けて、私ができること</li> </ol>



発表の様子（羽茂高等学校）



発表の様子（佐渡高等学校）

※各学校の中で同様の意見が複数でたものを掲載している。そのうち、複数の学校で共通する意見を●としている。

<b>②住み続けたい佐渡にするには？</b>	
佐渡市に住み続ける、将来戻ってくる人を増やすためのアイデアを出し合いました。	
<b>魅力向上策</b>	
美化活動	●観光地や海岸を清掃やポイ捨て防止を行い、きれいにする。
自然の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レジャーを充実させる（パラグライダーなど）。</li> <li>・イベントを行う（海や自然の中でできるもの）。</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>●島内を移動しやすくする（バスの本数・料金の見直し、電子決済化、タクシー利便性向上など）。</li> <li>●島外へ移動しやすくする（佐渡汽船の航路・本数・運賃の見直し、橋・トンネルの建設）。</li> <li>・車や除雪機を買うための補助金を出す。</li> </ul>
買い物	<ul style="list-style-type: none"> <li>●商業施設をつくる（飲食、ショッピングモール、アパレル、スポーツショップ、コンビニなど）。</li> <li>・商店街等の既存商業施設を利用しやすくする（まとめサイト等での情報発信、電子マネーの導入など）。</li> </ul>
娯楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>●若者向けの娯楽施設をつくる（映画館、スポーツ施設など）。</li> <li>●若い人向けのイベントをアンケート等で探し、開催する。</li> </ul>
子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>●親子で楽しめる場所をつくる（公園や運動施設、自然に触れられる場所など）。</li> <li>●公園を整備する（増設、遊具・トイレの整備）。</li> <li>・移住・定住者を増やす（I・Uターン支援、土地の安さのアピールなど）。</li> </ul>
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農業関係など学校の種類を増やす。</li> <li>・学校の統合をせず、少数教育を徹底、アピールする。</li> <li>・リモート環境を整備する。</li> </ul>
仕事	●リモート環境の整備などを行い、職種を増やす（IT、医療研究など）。
食	<ul style="list-style-type: none"> <li>●佐渡の特産品をアピールする（情報発信、加工商品の充実、全国チェーン店とのコラボ、フードイベントなど）。</li> <li>・郷土料理や佐渡の食材を使った料理（スイーツ、インスタ映え）を提供する店をつくる。</li> </ul>
文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島民が佐渡の歴史や特色を知る機会を増やす（授業、イベントなど）。</li> <li>・地域の祭りや行事を残す（男女の縛りをなくす、外部人材の協力など）。</li> <li>・空き家や佐渡ならではの歴史ある建物を活用する。</li> </ul>
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SNS や YouTube 等を利用して魅力を伝える（映えスポット、佐渡でしかできないこと、のんびりとした暮らしなど）。</li> <li>●島外や首都圏に佐渡をPRできる場所を作る（アンテナショップ、郷土料理店、観光案内など）。</li> <li>●若者や観光客、PR 大使等を通じて佐渡の魅力を発信する。</li> <li>・佐渡が題材となっているものをもっと発信する（本、ゲーム、ロケ地など）。</li> </ul>
イベント	●イベントの活発化や新たなイベントの開催を行う（アースセレブレーションのPR、音楽や食関連のイベントなど）。

今できること	将来できること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアに参加する（海岸清掃など）。</li> <li>・佐渡の魅力を伝えられるように、今から魅力を知っておく。</li> <li>・地域の行事に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●佐渡で働く（医療関係など）。</li> <li>・就職後に佐渡の発展に貢献する（名物の開発、施設をつくる、佐渡のアピールなど）。</li> <li>・ふるさと納税をする。</li> </ul>



# 佐渡市子育て世代ワークショップ

## 『子育てしやすい佐渡市にするには？』

【結果報告】



### 開催概要

目的	佐渡市の新たなまちづくりの指針となる「佐渡市総合計画」を策定するにあたり、子育てしやすい佐渡市にしていくため、子育て世代の皆様から、普段の生活で感じている子育てへの思いやアイデアなどを寄せ合うこと。
日時	令和3年2月7日(月) 10:00 ~ 11:30
会場	新穂行政サービスセンター 第2・3学習室
参加者	24名(4班) ※託児サービス利用8名

### 意見交換の結果概要

#### ①子育て支援策の評価

※( )は同様の意見の数、2件以上は太字で表示

佐渡市の子育てに関する取り組みについて「良いと思うこと」「不満に思うこと」を出し合いました。



施策	良いところ	不満なところ	
妊娠・出産	特定不妊治療費成	—	・対象年齢の上限を上げて欲しい。
	妊産婦医療費助成	・医療費助成制度は助かっている。	—
	妊婦健診・妊婦歯科健診	●無料であることに満足している。(2)	—
	妊婦訪問	●出産前産後の不安を解消してくれて心強い。(2)	—
	パパとママのためのマタニティセミナー	・出産に向けて準備できた。 ・夫婦間の会話のきっかけになり良かった。	・マタニティ期の交流の場があったら良い。 ・妊娠時からのパパへの指導を強化してほしい。 ・赤ちゃん教室がない。
出産	出産育児一時金	・出産育児一時金はありがたい。	—
	その他	—	・出産手段が少ない。 ・病院での仲間づくりができない。
医療・健康	子どもの医療費助成	●医療費助成は助かっている。(7)	・毎月定期的にいかないと負担が大きい。 ・母乳外来でも補助がほしい。
	1か月児健診	・無料であること。	—
	新生児訪問/赤ちゃん訪問	・新生児赤ちゃん訪問最高です。	—
	予防接種	●医療費補助はありがたい。(2)	・対象年齢の拡充を。
子育て支援	その他	—	・島外への移動費を補助してほしい。
	児童手当	●ありがたい。(2)	・まとめてではなく数ヶ月に1回もらえるとよい。
	子育て支援センター	●充実している。(5) ・対応が良い。	・休日にやっていない。 ・昼食に利用できる場所がほしい。
	トキの島ファミリー・サポートセンター	・相談するととても親身で手厚い。	—
	子育てエンジョイカード	—	・物のサービスよりは割引の方がありがたい。 ・トキっ子カードに変えては？
	子ども若者相談センター	—	・子どもが自分で相談できる体制が必要。
	佐和田児童クラブ(遊戯室開放)	・開放が助かる。	・他の地域でも開放してもらいたい。
	児童館	・無料で利用できるのはありがたい。	・終了時間が早い。 ・飲食できるようにしてほしい。 ・より良い対応を。
その他	—	●子育て情報が少なく分かりにくい。(2) ●子育てや家事を手伝ってくれる人がほしい。(2) ・親子で交流できる場が少ない。 ・ひとり親家庭への支援が不十分。	
保育・教育	保育園	・第2子以降の3歳未満児無料借置。 ・希望の園に通わせやすい。	—
	特別保育(延長保育)	・延長保育・病後児保育はありがたい。	・延長保育の要件が厳しい(使用料がかかる)。
	特別保育(一時預かり保育)	—	・仕事時間の短縮支援や子どもが病気の時は休日が取りやすくする支援等がほしい。
	病後児保育	—	・病後児保育で意味があるか。
	学童保育(児童クラブ)	—	・人数が少ない地域には学童がない。 ・佐渡ならではのものがあると良い。
特別支援学校への補助制度、就学奨励	—	・障害児の教育・生活環境が整っていない。	
その他	・私たちの声を直接聞いてくれる場がある。 ・子育て支援に関するノウハウを共有できるような仕事を立ち上げたい。	●子どもの遊び場がない。(17) ●民間活動に対する支援・助成が少ない。(2) ・子ども連れで利用しやすい店が少ない。 ・病院、遊び場等へ行く公共交通の充実。	

## 開催概要

内容	説明
	・佐渡市の人口の推移・子育て支援策
	・子育て世代 WEB アンケート結果
	意見交換
	①子育て支援策の評価
	②もう1子の出生に向けたハードル
	③解決策を提案しよう



意見交換の様子



発表の様子

## 意見交換の結果概要

### ②もう1子の出産に向けたハードル、③その解決策

理想とする子どもの人数をかなえるための「課題」と「解決策」を子育ての3つの時期ごとに出し合いました。



主な課題	主な解決策	該当する時期		
		妊婦・出産期	乳幼児期	児童期～
1) 子育てにかかる経済的負担への不安がある	・不用品の寄附や一時的なグッズのレンタルができる体制をつくる。 ・出産祝金の配布や不用品フリマの開催等による経済的負担の軽減。 ・出産祝い等で商品券やファミサポ利用券を配布する。	●	●	●
2) 職場や家族などでの理解が得にくく、子育てと仕事の両立が難しい	・研修や制度により、子育てに対する企業の理解を深める。 ・職種や働き方の選択の幅を広げる。 ・臨時職員の増員等による人材確保。 ・学校で子育てに関する授業を行う。	●	●	●
3) ママ・パパ同士や地域での相談・協力がしにくい	・交流の場を設けて情報交換ができるようにする。 ・横のつながりをつくる活動へのサポートを行う。 ・地域コミュニティづくりのサポートを行う。 ・土日も気軽に相談に行ける場所を設ける。	●	●	●
4) 気軽に子どもを預けたり、家事の手伝いを頼める環境が不十分	・子育てや家事を手伝ってくれる人材バンク制度をつくる。 ・ごむしんネットやAsMamaなど、地域力を強化して子育てを支援する。 ・自主保育の促進。	●	●	●
5) 子どもが安全に遊べる場所が少ない	・自然とふれあえるイベント等の実施。 ・外部NPO（野外活動系）へ依頼し、保育園に取り込む。 ・放課後に遊べる場所を確保する（室内・室外それぞれで遊べる）。 ・遊具や絵本があり、体験活動や飲食ができる施設をつくる。 ・学校を拠点とした課外活動の実施。	●	●	●
6) 不妊治療の対象年齢が低い	・対象年齢の上限を最低でも45歳にする。	●		
7) 妊娠・出産中に上の子をみてくれる人が欲しい	・上の子を保育園に入れやすくする制度を設ける。 ・土日など上の子を見てもらえる場所を設ける。	●		
8) 出産環境の選択肢が少ない	・出産できる施設を増やす。 ・個人でやっている助産師の紹介。	●		
9) 産後のサービスが不十分	・産後ケアに重点を置いたサービスを提供する。 ・産後に過ごせる施設を設ける。 ・家事や育児の訪問サービスを行う。 ・赤ちゃん教室の実施。	●		
10) 病気等の緊急時に子どもを預けられる場所がない	・託児サービスやベビーシッター等かけこめる場所を設ける。		●	
11) 保育士等の人材が不足している	・保育を学ぶ学生への奨学金等のサポート。 ・保育関係者の所得向上。		●	
12) 進学時の学費や養育費が高い	・学費や養育費援助などの経済的支援を増やす。 ・奨学金に限らず大学費の援助を行う。			●
13) 教育環境の質が低下している	・ソフト的な支援による教育格差の解消。 ・塾などの学校以外における教育支援の実施。			●



各班のご意見

①子育て支援策の評価

※ ( ) は同じ班の中での同様の意見数

施策		良いところ/不満なところ	凡例：●A班 ■B班 ▼C班 ★D班
妊娠・出産	特定不妊治療費成	★不妊治療の年齢をもう少しあげてもよいと思う。	
	妊産婦医療費助成	●妊産婦・子どもの医療費助成制度。	
	妊婦健診・妊婦歯科健診	■妊婦健診、歯科検診が無料になっていることに満足。(2)	
	妊婦訪問	■妊婦訪問。 ▲講習会、健診、訪問など、出産前産後の不安を解消してくれて助かる(心強い)。	
	パパとママのためのマタニティセミナー	■パパ・ママセミナー良かったです。お風呂の入れ方とか、出産に向けて準備できた。 ★パパママのためのマタニティセミナーは夫婦間コミュニティ、会話のきっかけになり良かった。 ▲マタニティヨガなど、マタニティ期の交流の場があったら良い。 ★赤ちゃん教室がない(月1開催)。 ★パパは出産してから初めて、親としての気持ちになることがあるため、妊娠時からのパパへの指導を強化してほしい。	
	出産育児一時金	■出産育児一時金ありがとうございます。出産にこんなに費用が掛かるなんて、知りませんでした。	
	その他	■妊娠するための女性の体作りの指導。 ★出産の手段が少ない(助産院・自宅出産のニーズあり)。 ★妊娠時の病院での仲間作り。	
医療・健康	子どもの医療費助成	●子どもの医療費助成。(2) ■医療費の無料化等とても助かっています。気軽に受診できる。(2) ▲医療費助成が高卒までありがたい。 ★子どもの医療費助成助かっています。(2) ●子どもと同じ症状がある時は親も小児科で診察してほしい。 ▲母乳外来の金額高いので補助がほしい。 ■医療助成はありがたいが、毎月定期的にいかなければいけないと負担が大きい。無料の自治体もある。	
	1か月児健診	●1か月検診無料。	
	新生児訪問/赤ちゃん訪問	★新生児赤ちゃん訪問最高です。	
	予防接種	●インフル注射半額。 ▲医療費の補助(受診・予防接種)、フッ素助成がとてもありがたい(他市の人にうらやましがられた)。 ●なるべく年齢で無料になっていない子もいるので拡充を。	
	その他	★島外への移動費を補助してほしい。	
子育て支援	児童手当	★児童手当は日常生活に係る経済費用に役立つ。(2) ★児童手当がまとめてではなく1、2ヶ月に1回もらえるとよい。	
	子育て支援センター	●子育て支援センターが充実している。 ■子育て支援センター助かります。 ▲支援センターに先生がいてくれて行きやすくなった。 ▲支援センターが午後もあいていて利用できる。 ★子育て支援センターの対応がよく、充実している。(2) ●支援センターが休日にやっていない。 ★子育て支援センターの時間や利用を柔軟に対応してほしい(昼12:00~13:00は出ないといけなくて昼食食べてもいい所もあっていい)。	
	トキの島ファミリー・サポートセンター	●相談するととても親身で手厚い。核家族世帯にとって、子育て支援センター・ファミサポ・子ども若者相談センターがあるのは安心できる。	
	子育てエンジョイカード	▲内容をもう少し子どもの物(服代・食品代)への割引にして欲しい(サービスよりは3%でも5%でも良いので割引の方がありがたい)。 ★子育てエンジョイカードをトキっ子カードにかえては?	
	子ども若者相談センター	★子どもが自分で相談できる体制が必要。	
	佐和田児童クラブ(遊戯室開放)	★佐和田児童クラブの開放が助かる。 ★佐和田だけではなく、他の地域でも開放してもらいたい。	
	児童館	★児童館が無料で利用できるのはありがたい。 ●児童館終了時間が早い。 ★児童館の人数が少ない。 ★終業式や始業式などで子どもが早めに帰宅した場合、児童館で飲食できるようにしてほしい(臨時対応)。 ★子ども達がケンカした場合や問題を起こした場合に児童館スタッフが対応してくれないことがある。よりよい対応をしてほしい。	
	その他	■親子同士で交流できる場が少ない。 ■外遊びを促す活動とかあると交流できるし、子どもの体力造りにもつながり、新しい学びにもつながる。 ▲出産前後、子育てや家事を手伝ってくれる人が周りにいない人は大変!!(特に移住者)。 ★子育て情報をもっとわかりやすくしてほしい。 ★Uターン者への情報が少ない。 ★ひとり親家庭の支援ももっと充実させたほうがよい。 ★託児サービスやベビーシッターがほしい(できれば即日、沐浴とかも可)(1人親支援)。	
保育・教育	保育園	■保育園の第2子以降の3歳未満児無料措置。 ■保育園の空きがあり、複数から選んで希望の園に通わせやすい。 ■保育園は時間も長く満足している。給食も細かくケアしてくれている。 ★食材が豊かである(佐渡産)。 ★保育園では、少人数でも楽しそうに過ごしている。	
	特別保育(延長保育)	★延長保育・病後児保育はありがたい。 ★延長保育の要件が厳しい(使用料がかかる)。	
	特別保育(一時預かり保育)	▲預かり支援だけに力を入れるのではなく、仕事時間の短縮支援や子どもが病気の時は休日が取りやすくなる支援等がほしい。	
	病後児保育	●病後児保育で意味があるか。	
	学童保育(児童クラブ)	■地域により人数が少ないと学童がない(つくってもらえない)。 ■身近に遊ぶ友人在りない。(ほとんどが学童)。 ★学童保育など放課後の子ども達の時間をもっと有意義にしてほしい。 ★施設やイベントなどで佐渡ならではのものがあると良い。	
特別支援学校への補助制度、就学奨励	▲障害を持った子の教育・生活環境が整っていない。		
その他	遊ぶ場所の確保	■公園の遊具がないことは、今後いいことになっていくかも。最低限、水、トイレ、あずま屋があれば。 ●公園や外で遊べる所が少ない。整備されていない。(2) ●子どもの遊び場がない(休日・屋内)。 ■公園等整備されていない所がある。(3) ▲自然の環境を活かして遊べる広場、遊歩道、アスレチックなどが欲しい。 ▲未就学の子も遊べる場所がない(土日も利用できる室内公園のような施設)。 ▲公園の遊具の整備をして欲しい。(3) ▲放課後や休日など子ども同士で遊ぶことが難しい(近所に友人在りない、親の送迎が必要)。 ★小学生以上の遊び場が足りません。(2) ★冬季、雨の日に遊べる場がない。(2) ★身近に子どもの遊び場がない。	
	活動支援	★子育て支援に関するノウハウを共有できるような仕事を立ち上げたい。 ■自分たちで活動しようとしたときに、行政担当者が数年で代わり、引き継がれないことがある。言っていることが違うので、活動の弊害になる。もっと協力してほしい。 ■民間活動に対する支援・助成が少ない。	
	—	●今回のように私たちの声を直接聞いてくれる場がある。 ●親・子どもが忙しい(仕事・塾・スポーツ)。 ▲「子育てしやすい」だけでは何か足りないと思う。子どもが安心して育つ支援策が大切では。 ▲各お店に個室や座敷のあるところ、赤ちゃんのためのトイレ、授乳室が少ない。 ★転勤の人が住む地区で、人を地域にまぎこむことがない。 ★病院、遊び場、買い物、セミナーなど、何をしても現地までが遠く、移動に時間がかかる(公共交通なども充実させてほしい)。	



**各班のご意見**

**②もう1子の出産に向けたハードル、③その解決策** 凡例：★共通 ●～妊娠・出産期 ▲乳幼児期 ■児童期～

班	課題	解決策
A班	★経済的不安。 ★急な用事に加え、ちょっとした薬の受け取りなど、サポートセンターの事前予約が難しい。 ★社会の理解（配偶者、勤務先）。 ★夫婦だけでは難しい場面有り。コミュニティ、つながりを作る。 ★自分自身に気持ちの余裕もない。 ★公園や施設の集中。散在している。	・商品券。・不要品などを譲ってくれる（仲介）。・多子世帯に追加支援（費用、制度）。 ・LINEなどで気軽にベビーシッターやヘルパー（家事を含む）を頼める人材バンク制度・登録する場所。 — ・地域で助け合えるコミュニティ作りのきっかけ。 ・子育て世代の情報交換する場。屋内（公的施設）、屋外（公園）。 ・プレーパークを作る（支援員が常駐。親も体験活動やカフェ等があればリフレッシュ）。公園の内容の充実。
	★働きやすい職場がない（子育てしながら）。 ★仕事量・時間など、選択して持続可能にできる社会。 ★ワーク・ライフ・バランス。子育てと仕事を両立できるように全体的な理解。	・市が子育てしながらでも働きやすい場をつくってほしい。臨時職員などを増やしたり…。
	●妊娠・出産中上の子を見てくれる人がいない。 ●上の子を見る人物が欲しい…！（産後）。	・産後ケアを導入して欲しい（退院後、1ヶ月内で入院を延ばしたり相談できる制度）。 ・産後、上の子をみてくれる機会（土日など）。・妊娠中から上の子を保育園に入れられる制度。 ・上の子が3歳以下なら働いていなくても保育園に入れる。
	▲自宅保育する方にもう少し金銭的支援が欲しい。 ▲病児の対応。 ■高校卒業以降教育私費が日本は高い。	— — —
	★世の中の考え方、子どもが多いことを良い評価にして。 ★職場（仕事）での理解。残業やめよう。	・「子育てしよう！子どもと遊ぼう！」の雰囲気作り。・子育て世代、毎日ノーマル残業デー。
B班	★子育てを気軽に相談できる場があるといいと思います。 ★子育ての協力。	・ファミサポの発展形。どこでもいける、なんでも手伝う人を何人か。 ・お母さんお父さんの話を聞いてあげれる。相談アドバイスの場所。 ・土・日も気軽に行ける相談や雑談できる場所を設けて欲しい（平日勤務の人にも対応）。 ・自主保育はともいいです。
	★子育て用品を揃える費用や保管場所の負担がある。 ★教育費など子育てにかかる費用の問題。 ★経済的な具体的なイメージをもちやすくする。 ★いろいろな面での費用。	・新生児期に一時的に必要なグッズのレンタルができる（ベビーベッド、ベビーバス、パウンサーなど）。 ・出産前後に必要なグッズを最低限でも揃えてプレゼントする。 ・いらなくなったものを集めて、掲示板などで欲しい人を募る。バザー、寄付。 ・子ども若者相談センターで寄付受付、希望する人に渡す。
	★公民館など市営の施設を子育て世代が使用できるといい。 ●夫婦で相談。	・放課後の遊び場確保。 —
	—	・産後ケアに重点をおいたサービス（マッサージ、ヘアカット、そうじ、話し相手など）を無償or安価で提供し、不安を和らげリフレッシュさせてあげる。 ・産後1か月過ぎせる施設（韓国にあるサービス）。産後ケア充実で、熊本に実在していて、そのためにそこへ出産しに行く人もいる。佐渡市の環境を活かして売りにできるのでは。 ・パパママセミナーのその後につづく講座をひらく。・就学支援の職業を増やす（保育、看護以外で）。
	★経済的負担が未知すぎて不安。 ★子育て中のパパママが自由に集まれる場所が少ない（店、トイレ、会）。 ★屋間子育てをしているお父さんお母さんが、気軽に話せるサポートの存在のアピール不足。 ★子どもを自分で見たいと素直に言える環境（おじいちゃんおばあちゃん達にも理解してもらえよう何か…）。	・わかりやすい子どもの年齢に応じた必要内容（金額も含め）その補助。 ・実際に体験した人に話を聞く場を設ける。・交流の場を設ける。・集まれる場を設ける。 ・（お父さんバージョンも）NP（佐渡 Nobody's Perfect プログラム）がすごく心強く続けてほしい。 ・横のつながりをつくるような活動の場をサポートする。 ・教育の中で、子育てについて考えたりする授業があるといい（大人になる前にどう育てていくのか？など学ぶ）。
★ファミサポをもう少し安い料金で佐渡市負担。 ★仕事をしている人が、子どものために休みをとりやすいしくみをもっと確立して欲しい。 ★急な病気になる時に子の世話をしてくれる人がいない。	・ファミサポ利用券を市の出産祝いにする。 ・市の情勢で、各事業所で休暇を取りやすい制度をつくる。・会社の子育て環境の理解。 ・佐渡の職場全体に、休みをとりやすい仕組みをつくらたり、周知研修したりする（社長管理職など集めて）。 ・ちょっとした時にも、安心して子どもを預けられる環境。協力してもらえる。	
C班	★3人目に何百万というよりも、公園などの方（だれでも利用できる）に予算の配分。 ★友人同士の遊び、子どもが参加したい活動に親の送迎が必要。	・室内で遊べる場（新潟市を参考に→寺山公園？）（花とみどりの…というところではないのですが…）。 ・児童クラブがある。増やすだけでなく、子どもの成長、発達にも目を向けて。室外でも遊べる。 ・放課後、子ども達が子ども同士で遊べる場。佐渡の自然を活かして。 ・利用カードを作る→親子で遊ぶ（室内の大きなすべり台等の遊具、絵本を読めるところ、持ってきたご飯を食べられる）。 ・学校を拠点として、子どもだけで参加できる課外活動をつくる。 ・お父さん方の趣味を通じた親子教育など。
	●産前産後に協力している人がいない。 ●出産環境、選択肢が少ない。 ●出産できる場、選択肢が増えるといい。 ▲支援員さん（学校・保育園）保育士さん増員してない。 ■大学費用。	・産後、家事、赤ちゃんのお世話、訪問の無償サービス。 ・出産施設を他にも。もしくは佐渡病院でもっとフレキシブルな出産できるように。 ・個人でやっている助産師さんはいくつかあるので情報をとりやすくする（支援センターで、情報手に入る）。 ・学びに対してのサポート（奨学金など）や、給料UP。 ・補助の充実。
	★父親の子育て意識が薄い。 ★仕事選際の選択肢が少ない。	・職場への働きかけを行う（育児休業、育児有休等）。・佐渡でも暮らしていける職の幅広げる。 ・リモートワークやテレワークによる仕事選択を増やす。
	★子どもの遊び場が少ない。 ★外で遊ぶ場所が少ない。 ★子育てと仕事の両立が難しい。 ★休みやすい職場環境・人間関係をつくる。	・自然とふれあうと記憶に残りやすくなるため、自然とふれあうイベントがあるといい（子どもの思い出や、ふるさと・帰ってきたくなる佐渡となる。移住者にも魅力として伝えられる）。 ・外部NPO（野外活動系）への依頼し、保育園に取り込む。
	★身近に子育てを協力してくれる人がいない。 ●出産方法（無痛とか）の選択肢が少ない。 ●子育て環境をより充実させる。	・介護・福祉の仕事が多いのに求人が絶えないため、待遇を良くするなどの取り組みが必要。 ・職場での残業を禁止する等。・女性への就業支援を行う（働き方改革や意識改革など）。 ・普段使っている施設（児童館・小学校）内で子育ての協力に対応して欲しい。 ・こむしんネットやAsMamaなど、地域力を強化して子育てを支援する。 ・出産方法の選択肢を増やす。 ・赤ちゃん教室を実施する。・出産おめでとうBOXをプレゼントする。 ・出産祝金を配布する。・不要品等フリマの定期開催。
D班	●不妊治療の年齢が低い。 ▲買い物時や出かける際の一時保育（ハードル低めの）。	・せめて45歳にする！！ ・託児サービス、ベビーシッター、かけこめる場所があるとよい。
	■養育費などの経済的不安がある。 ■子どもの放課後の質が低下している。	・学費や養育費援助など、経済的支援を増やして欲しい。・小学生・中学生への資金を援助する。 ・子どものころからの平等人権の意識をつけさせる。・奨学金に限らず、大学費の援助を行う。 ・教育格差に対してソフト面の支援を行う。・塾などの、学校以外での教育支援を行う。 ・佐渡市の試みとして、市民の声を聞くような意見箱あってもよい。



## 第3章 統計データ

第1節 人口推移

第2節 経済・産業



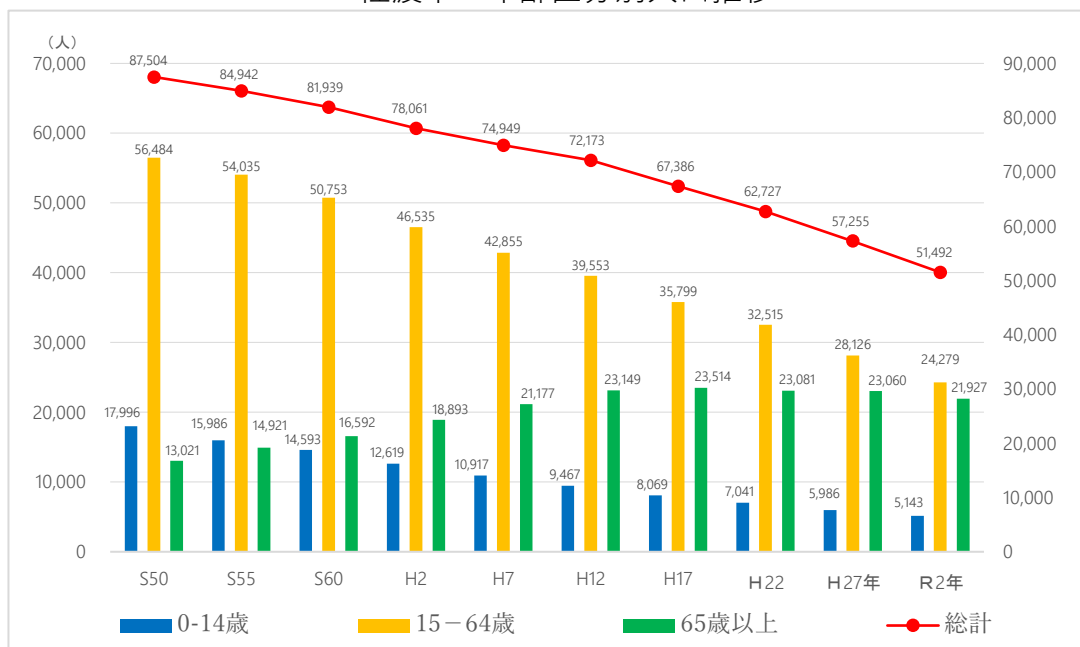


# 第1節

## 人口動態

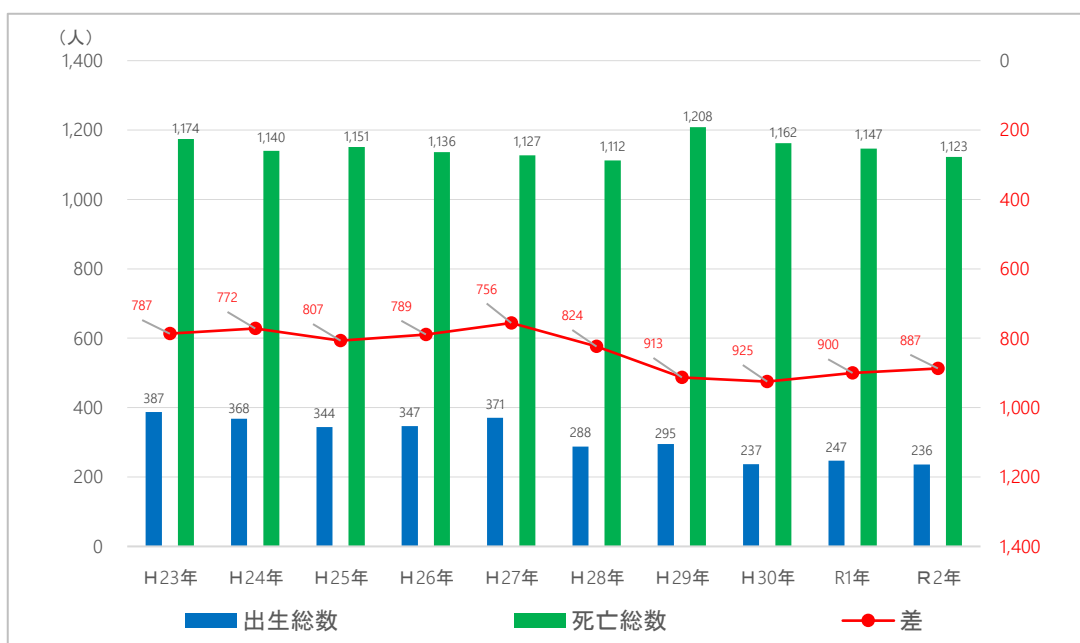
### 1 人口推移

佐渡市の年齢区分別人口推移



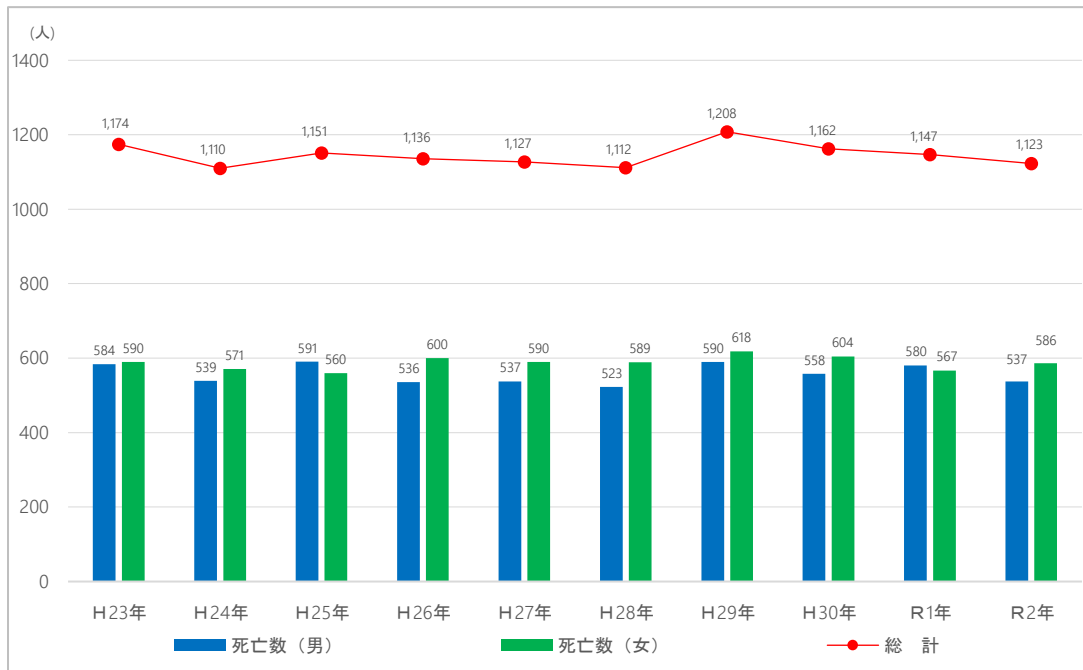
出典：国勢調査

自然動態（出生・死亡）の推移



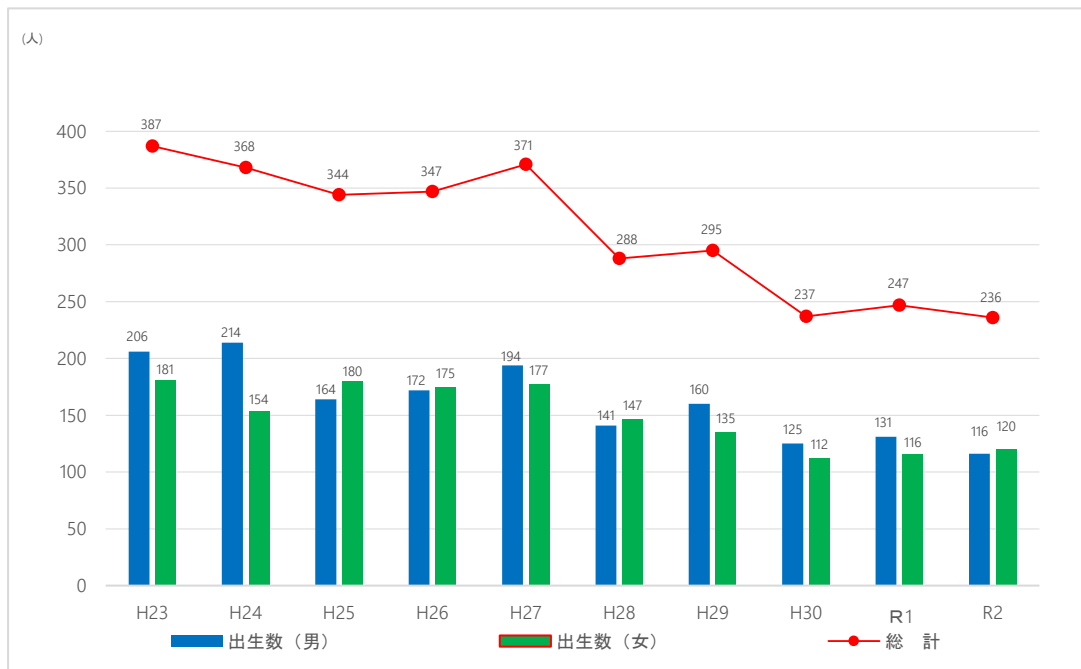
出典：新潟県人口移動

### 人口動態（死亡）の推移



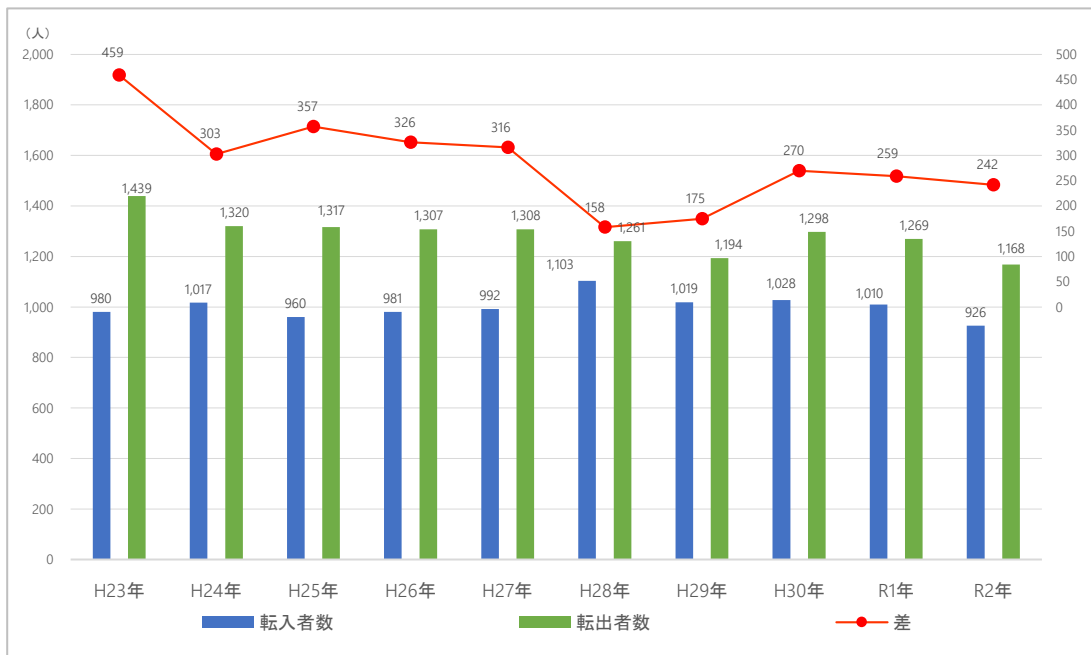
出典：新潟県人口移動

### 人口動態（出生）の総計



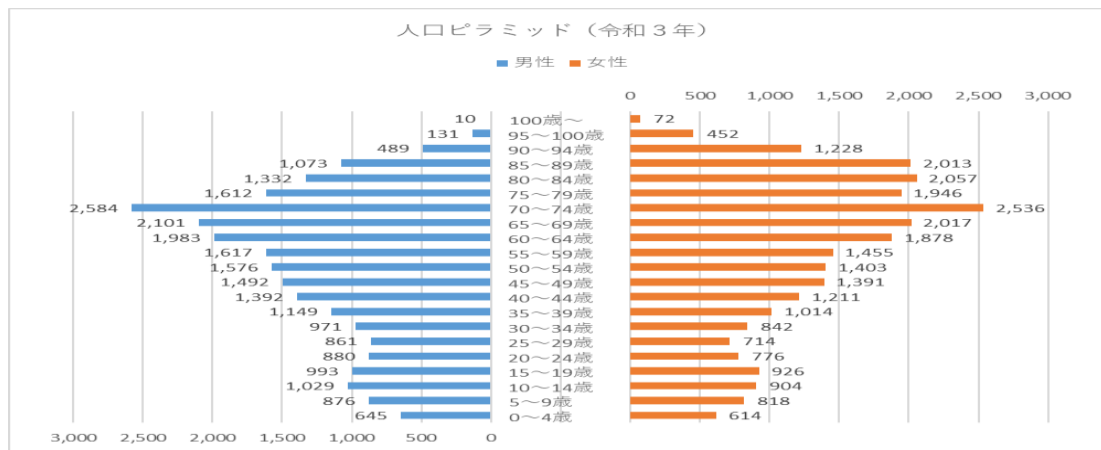
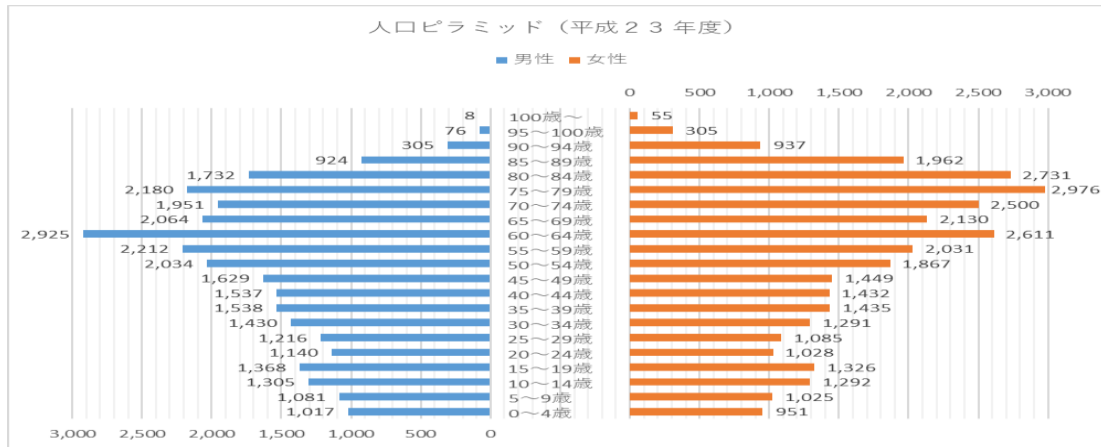
出典：新潟県人口移動

### 社会動態（転入・転出）の推移



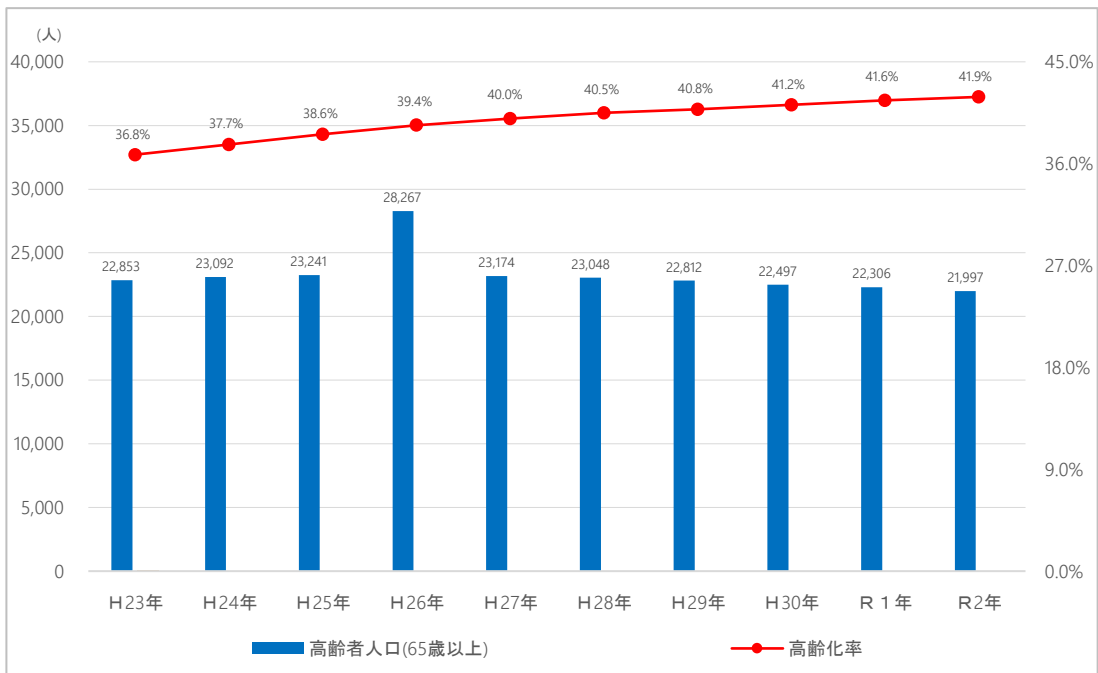
出典：新潟県人口移動

### 年齢構成 人口ピラミッド



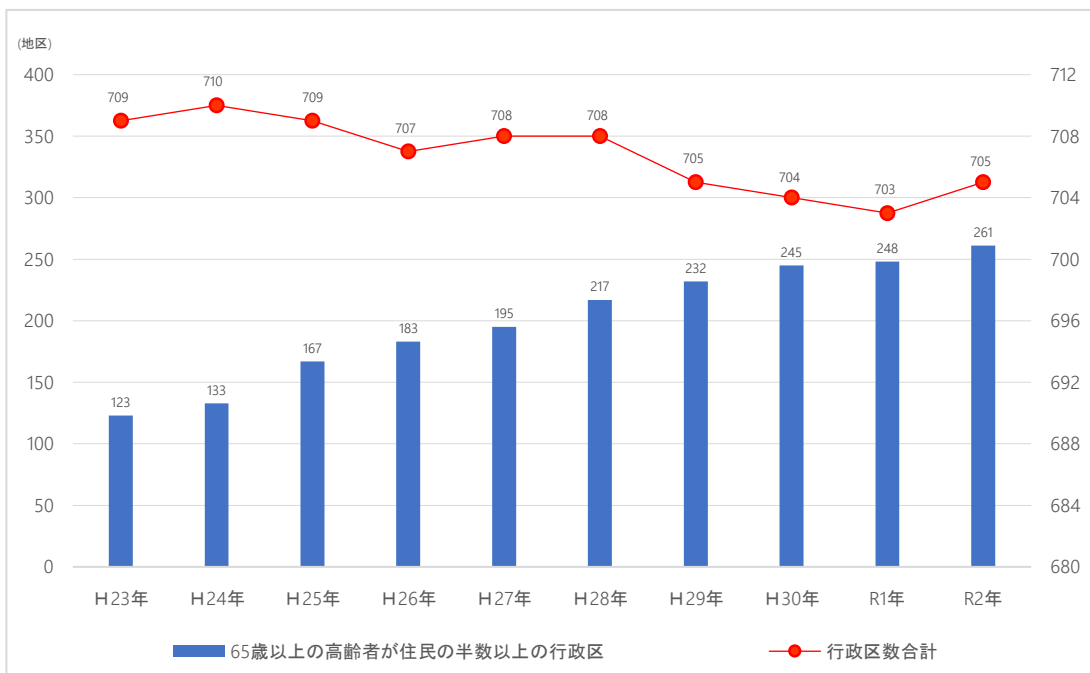
出典：佐渡市市民生活課

### 佐渡市の高齢人口と高齢化



出典：佐渡市市民生活課

### 65歳以上の高齢者が住民の半数以上の行政区

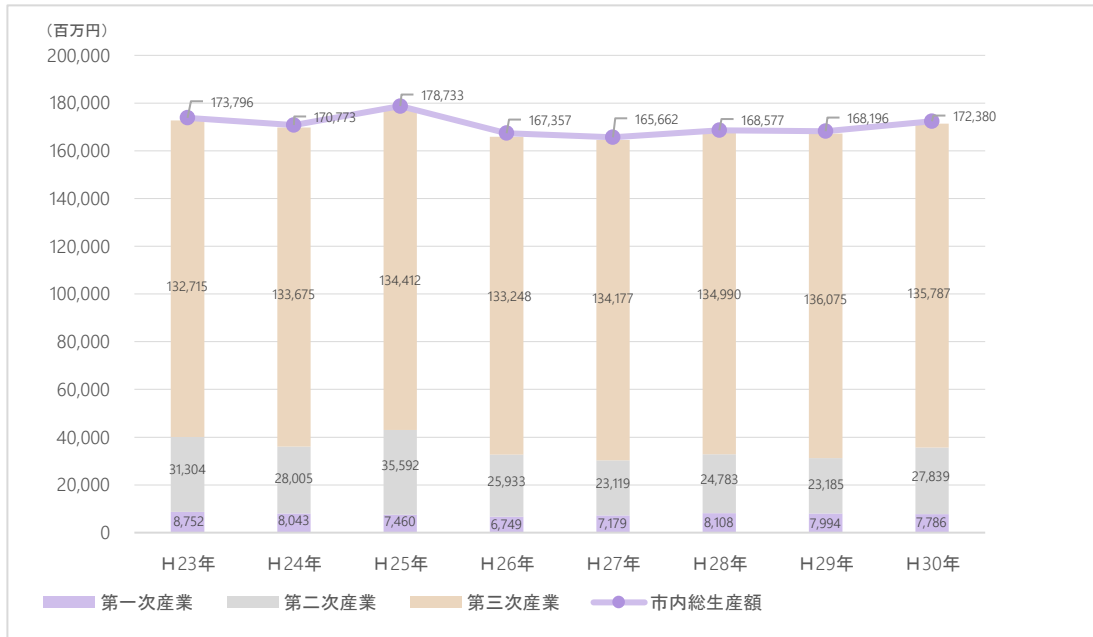


出典：佐渡市地域振興課



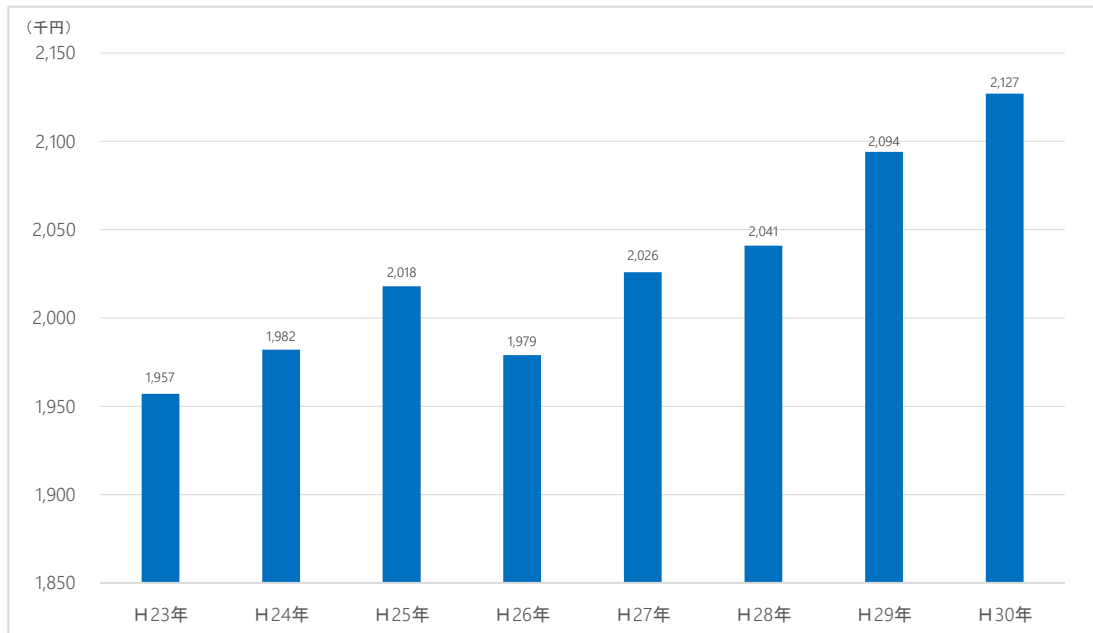
## 2 経済・産業

市内総生産額



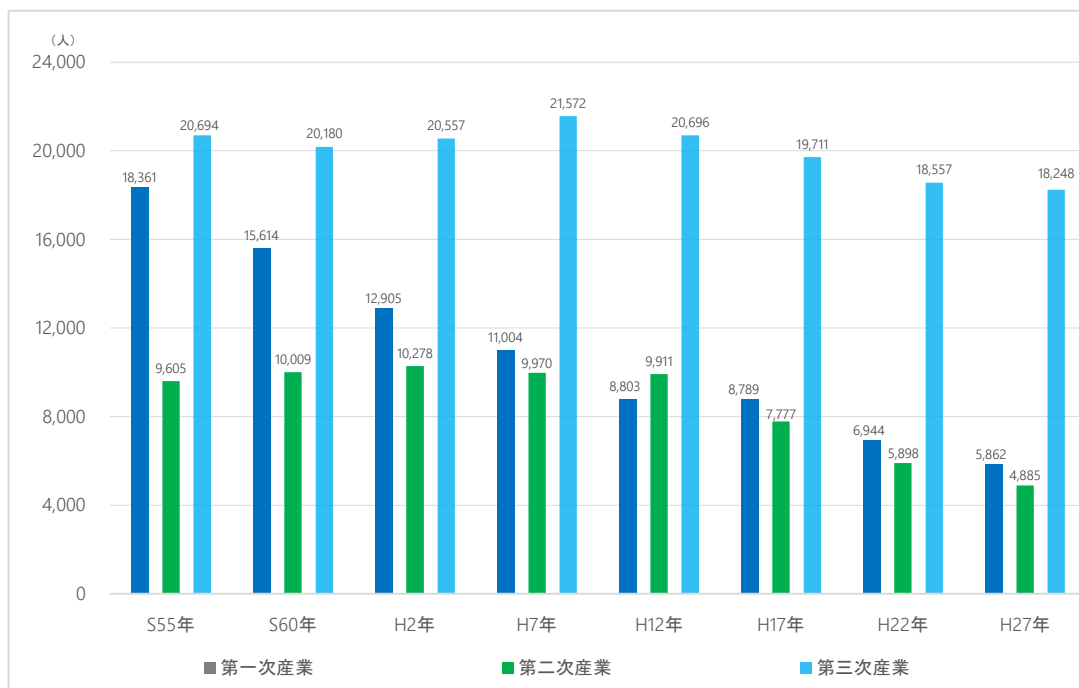
出典：新潟県市町村民経済計算

一人当たりの市民所得



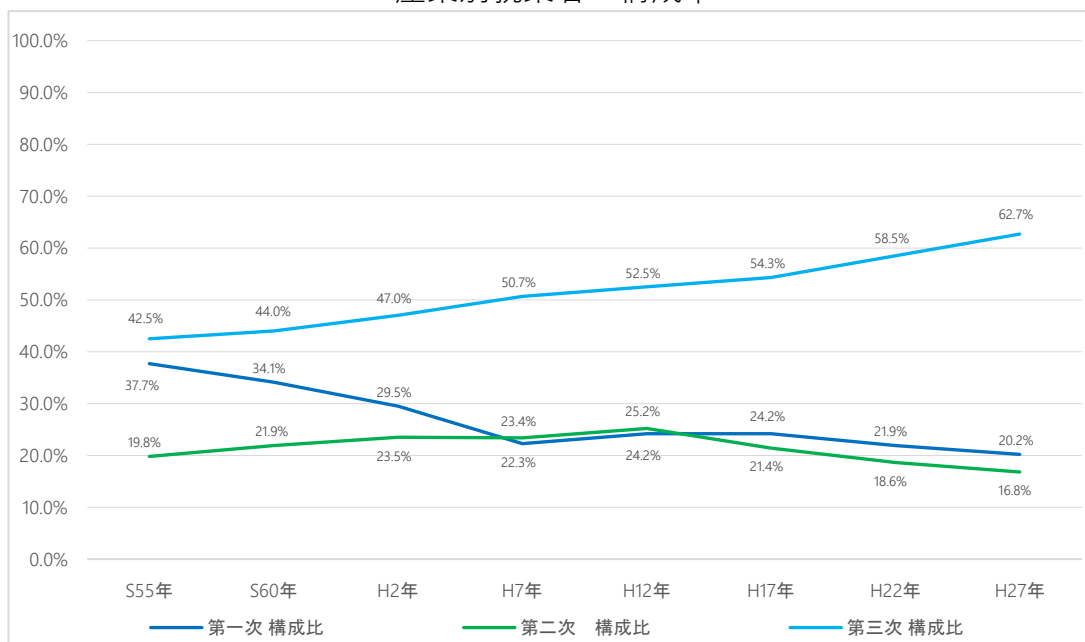
出典：新潟県市町村民経済計算

### 産業別就業者数



出典：国勢調査

### 産業別就業者の構成率



出典：国勢調査

# 佐渡市総合計画 資料編

令和4年3月

企画・編集：新潟県佐渡市企画課

発行者：新潟県佐渡市

〒952-1292 新潟県佐渡市千種 232

TEL：0259-63-3111（代表）